京城日報
其一

昭和四年を迎ふ

東の空は茜色、ちぎれ／＼の雲に紅さして曉の一天晴れ渡つた空には長閑に春風が吹いて、津々浦々に至るまで、平和の霞が棚曳いてゐる。早や江南の籬落には梅花綻びて、里の童が唄ふ聲にも歡びが溢れてゐる。

年は改まつた。御大禮後の第一年である。われ等國民はこの平和と幸福とに充ち滿ちたる、昭和四年の新しい歩調を今しも開始せんとするのである。何もかもが新らしく若々しくなり、生活のすべてに清新の氣が充ち溢れなければならない。

夫れ美しき彫刻は瑕瑾のない大理石より求めらる。われ等の建國は古くして、國體の精華は愈々發揚され、五十鈴川の流れは清くして千古に澄む。白扇さかさまに懸けたる如き富嶽は、千秋にその麗容を聳ふ。發しては萬朶の櫻となり、凝つては百錬の鐵となる。誰れか此の聖天子の國に生を享くるとの幸福なるを諷はざる者やはある。思はざる者やはある。仰げば　皇室の御隆昌は、年と共にいよ／＼加はり　皇威八紘に輝く。聖恩の鴻洪きを拜し奉つては、ひたすら恐懼感激に堪へない次第である。伏して思ふに義は君臣の如く、情は父子の如しとか、畏くも　皇室と國民との、極めて親しき關係にあることを思ふては、更に國民は忠誠を勵み、以て鴻恩の萬一を期するの覺悟がなくてはならぬ。近年世相の推移に伴ひ、國民の士氣やゝもすれば緊張を缺くの嫌ひあるを恐る。士氣の振起は國家興隆の源である。われ等は、茲に新年を迎ふるに當り、清新潑剌たる士氣を鼓舞振興して、以て純眞なる男性的の勇氣と、公正なる堅實味を他まで發揮し、最善を盡して直往邁進したいものである。多幸なるべき、昭和四の新年を祝すると共に、聊かわれ等の希望を述ぶる次第である。

瑞氣漲る明けの此のあした
晴れやかな宮中御儀
御大禮後最初の御年
又實に宮城移御最初の新年

四方拜の御儀

【東京電話】己巳の元旦、旭光は燦と輝いた柔かき朝霧につゝまれた大内山の曙は瑞氣をこめて麗かに晴れた。常緑の老松は、清楚な濠に浮かぶ水鳥の幾群れにゆるゝ金波銀波の中に濃き影をおとして天皇、皇后兩陛下御即位大禮後初めての御年、宮城に移御あらせられて又最初の御新年の朝は八千萬赤子、なべて赤誠の[illegible]の[illegible]に[illegible]祝と讃辭のまことをさゝぐるなかに、森然として明ける。

いとも目出度きこの朝　天皇、皇后兩陛下は猶まだ深く曉闇なほ漂ふ中に御離床遊ばされ、御淨心の御身お清ましになつて、[illegible]いふに綾綺殿に出御になる、かくて　陛下にはこゝにて御俗服の[illegible]侍從等御介添へに奉仕するまゝに、神々しき黄櫨染の御袍にお召しかへ遊ばされ、神嘉殿への出御にと御手水を執らせ給ふて、御笏、御劔、御[illegible]作持の侍從等を前後に從へられつゝ、九條[illegible]長の御先導にて御拜の御座に進ませられる。陛下の御拜あらせらるゝ神嘉殿南庭は、夜半のうちに御座の装備を終つて、正殿中央に設へられた屛のうちには、香り高き薫煙を吹き燻らせ、御屛風二雙は玉座御座を圍つて、大古ながらのしきまに二基の燈籠脂燭の灯たゆたうゆれて神殿はひし／＼と迫る。かゝるうちを陛下は御座に着御の御時陛下には、いとも神々しき御姿にて、伊勢神宮、畝傍山陵、伏見桃山御陵、多摩御陵を初め天地四方なる天神地祇を御遙拜遊ばされ、畏くもしばしを御默禱に御過ごさせ、國家の安泰萬民の多幸の御祈念を凝らし給ふ。この御儀御畏く濟まれて、東天紅の空高く曉の光のねくらを離れる頃、この年の朝の大空の中に高らかに響き渡つて、[illegible]かしき朝を迎へるのである。なほ四方拜の儀に先立ち、午前五時賢所、皇靈殿、神殿は一日祭の御儀を申しあげ、御[illegible]を供進、掌典長祝詞を奏し奉ると、四方拜の儀を濟まさせられた陛下には内裝束莊の神さびた御殿の中に御拜、御玉串を奉ぜられて賢所三殿に御拜禮になる。

歳旦祭の御儀

この御潔齋所三殿の在ます御殿のほとりは淸く浄めを終り、松、榊の常磐木の緑鮮明した中に御殿の御扉は近づいて神々しき限り。午前[illegible]二十分、[illegible]內掌典[illegible]代[illegible]服に[illegible]賢所に参入し、御儀に移るを待ち奉るうち、いと雅びた[illegible]の[illegible]音とゞろ／＼と[illegible]渡つて、掌典部[illegible]しく神殿に参進し、御扉に續いて海のもの山のもの、御饌を供し奉り、[illegible]年の初めの御祭祀の御[illegible]を祝詞に奏し、[illegible]天皇陛下御代拜の侍從は衣冠[illegible]

を[illegible]御代拜申しあげて退下、皇后陛下御代拜[illegible]ゆかしき[illegible]を[illegible]あゆみを止めた[illegible]侍從は[illegible]嚴かなる御代拜申しあげて退下し六時を過ぐる頃御儀を終らる。」

[illegible]御風になびかせつゝ綾綺殿を出らる白の御衣に身も心も潔められた高木[illegible]は一瞬——、二瞬——、御笏の音はおごそかな響きを奏へるしきまの中を、宮雅の[illegible]も[illegible]と歩みを止めた[illegible]侍從は[illegible]

晴の御膳

かくて朝の御儀二つを濟まさせられた　天皇陛下には午前七時半より御[illegible]五つ衣つけた[illegible]長は、御[illegible]の間の北口に、その他の女官は何れも東、西、南の各口に控えて、大[illegible]の御[illegible]ひまるらす御膳の[illegible]を女官達は恭しくうけて[illegible]二[illegible]に上り、[illegible]の前に進めまいらす。やがて[illegible]の　陛下には御[illegible]『ひしはなびら』を[illegible]召され、[illegible]もあらせず御箸を立てさせ給ふて入御、とゝに年の初めの御箸も[illegible]き御[illegible]の儀を終へられ[illegible]に入御遊ばさるるが　陛下には初めて皇后陛下[illegible]を[illegible]へられた御親子水入らずにて限りなきよろこびのうちに目出度き年の[illegible]の御祝膳の御[illegible]を擧ばされるのである

玉歩を正殿に進め

さ[illegible]させられる。秩父宮殿下以下各皇族殿下は、天皇陛下の御後方に、同妃殿下も[illegible]皇后陛下の御後ろに[illegible]して、かくて[illegible]以下宮中[illegible]、[illegible]一[illegible]の[illegible]、[illegible]、[illegible]二十七[illegible]の[illegible]に[illegible]御[illegible]あらせらる。[illegible]なる御間は、シャンデリア[illegible]と[illegible]渡り色とり／＼の大[illegible]またはの[illegible]、雅びた[illegible]の[illegible]を添へて[illegible]御代を[illegible]ぐにふさわしきめでたき[illegible]である。陛下は式部官の[illegible]に[illegible]御前に参進する[illegible]の拜賀を受けさせられて入御、[illegible]は光[illegible]あることの日の朝賀式に

いたく感激

して[illegible]する。なほこの日[illegible]十一時五分には宮内[illegible]官、同[illegible]を、十一時半には[illegible]の各國[illegible]夫人一同の拜賀を受けさせられる。

年頭の祝詞

をうけさせられ、やがて、天皇陛下は[illegible]式大元帥[illegible]に大[illegible]位[illegible]を[illegible]め、その他[illegible]の[illegible]しき[illegible]を[illegible]め[illegible]の[illegible]、一木宮相の[illegible]、伊[illegible]式部長官、一木[illegible]、奈良侍從武官長[illegible]前行、[illegible]

父宮、高松宮兩殿下を初め奉り、東久邇宮各[illegible]、伏見宮、久邇宮、梨本宮、閑院宮[illegible]、同妃殿下の[illegible]らせられ、一時をへだてゝ東郷、山本兩大將、[illegible]、田中首相[illegible]倉富樞府議長、親任官、[illegible]、[illegible]、[illegible]、水野の各[illegible]が自動車、馬車或は[illegible]をつらねて大禮服又は正裝の姿も[illegible]かしく、それ／＼夫人を同伴して參內、[illegible]殿下は[illegible]一、二の間に、その他は西溜の間、[illegible]の間にて、拜賀の時を待ち奉る。七時[illegible]御[illegible]を[illegible]ましになり、年のはじめの[illegible]の御[illegible]を[illegible]へさせられた[illegible]殿下を初め各皇族、同妃殿下に[illegible]

伊勢神宮の歳旦祭

【宇治山田電話】[illegible]大神宮も御[illegible]になつてわけて[illegible]き新春を迎へた神都伊勢神宮では、輝かしき大御代[illegible]のため大御饌[illegible]の御祭典を元旦[illegible]執行される。この朝三時より[illegible]大宮司以下神宮[illegible]、[illegible]を[illegible]ませ、三時より瑞垣御門前に[illegible]を從いて祭典の[illegible]をなし、四時[illegible]、[illegible]小宮司以下[illegible]の[illegible]太鼓を[illegible]いて、内宮[illegible]から[illegible]をうけ、[illegible]を[illegible]するの[illegible]あつて再び[illegible]を[illegible]へて[illegible]より[illegible]入、[illegible]の[illegible]に大御前に神饌に御酒を奉ると、大宮司は恭しく御代萬歳を[illegible]する祝詞を奏し、一同拜禮、次いで三[illegible]の[illegible]を[illegible]し、撤饌の上退下、こゝに内宮[illegible]祭を終り、午前九時から外宮において同じ御儀次第で御祭典が行はれる。

輝かしき朝賀の御式
御代萬歳を壽いで宮城前
遙拜の民草引きも切らず
顯官揚々と參內

【東京電話】宮城二重橋正門は八時といふに大一文字に開け放たる。今日ぞ目出たき新年拜賀の日である。新春の陽うるはしく照映ゆる中を、往き交ふ人の顏は歡喜と希望に[illegible]きわたり、御代萬歲を[illegible]いで、宮城遙拜の民草は朝まだきより二重橋前に[illegible]も切らない。

宮城前廣場

九時四十分頃になると[illegible]の[illegible]利にわだちの音も晴れ／＼と、秩[illegible]

[illegible]殿下供奉、皇后陛下は純白うるわしきマント、ド、クールの御[illegible]に[illegible]一[illegible]を[illegible]ひさせ給ふた御[illegible]、[illegible]々として御後ろに長々垂れさせられたトレーンをは[illegible]ビロードの上衣、[illegible]の[illegible]化[illegible]、[illegible]エナメルの[illegible]を[illegible]つたお[illegible]の[illegible]の如き[illegible]した[illegible]の公達に[illegible]させられ、[illegible]皇后宮太夫の[illegible]、御後には[illegible]官長、女官[illegible]して、天皇陛下に[illegible]かせ給ひ十時十分

文運隆昌

—田中首相筆—

新年の劈頭に際し
内閣總理大臣　田中義一

曠古の大禮は滯りなくすまさせられ新に光輝ある年を迎へるに方り、謹て　上陛下の御繁榮を壽ぎ奉り、下忠良なる國民の益々壯健ならんことを祈るものである。

◇

顧れば昨昭和三年は即位禮を中心として國民精神の最高潮に達した年であつた。新年動もすれば不純思想や腐敗的風潮の侵入に對し警戒すべきものあるは爭はれぬ處であつたが、大禮を中心として現示された我國古有の精神は我國古有の美風が燦然として中外に輝き、建國の精神の益々昂揚せられつゝあることを證明したのである。此の決心の事實が國民の希望を新にし、其の愛國的活動を刺戟して益々國家の隆盛を期待せしむるものであるは、甚だ愉快である。併しながら茲に國民の戒心を要するのは、世界共通の不安である。不純思想は今後に於ても間隙に乘じて侵入せんと試みるであらう。之に備へるためには當局者の施設よろしきを得なければならぬのは勿論であるが、互に國民としては大禮に際して示した愛國的精神を益々發揮せしむる事は更に緊要である。以上の如き準備と心がけを基調として國民が協力一致するならば、帝國の前途は洋々春の海の如く希望に輝き、滿帆の風をはらんで昭和新政の理想に向つて船出するの觀がある。現内閣成立以來の大使命であつた昭和の大禮は滯りなくすませられた。現内閣の政策的準備時代は無事に經過した。本昭和四年は何等後顧の憂ひなく、一路昭和新政の具體化に向つて邁進すべき年であると確信して、重大なる使命の前に責任を感ずるものである。

◇

希望に滿ちた新年を迎ふに際し、所懷の一端を國民諸君に告げ相共に帝國の前途を祝福したいと思ふ。

昭和四年を迎へて
山梨總督談

瑞氣溯るうちに昭和四年の芽出たき春を迎へ、乾坤新にして、國民齊しく太平をしみ、昭代を頌するは、洵に欣悦の極みである。惟ふに、改元後春を迎ふること茲に三度　聖上陛下登極の際の勅語の中に拜する日進日新の聖猷は如實に顯現し、朝鮮の國運は益昌旺に趨き、大稜威は一層光輝を放ち、四方同胞の喜を傳へるのである。畏くも　聖上陛下におかせられては、昨秋即位の大禮を行はせらるゝに際し、勅語を賜ひ、國家統治の大綱を明にせられ、以て臣民の格遵すべき大道を示し、又汎く國交の親和を[illegible]び、切に人類の福祉を冀はせたまふたのである。聖旨[illegible]、[illegible]、洵に恐懼感激に堪へざる次第で、吾等臣民[illegible]以て聖旨を對揚し、[illegible]を[illegible]ひ、一層國運の昌隆に貢獻せねばならぬのである。

不肖朝鮮總督の大命を拜してより半歳、夙夜其の重任を曠しうせんことを恐れ、時運に鑑み、文化の振興並に經濟の發達を目標として措置勵行しつゝある。而して之が計畫に付ては、主として緒を開きたるも、而も其の變改すべきは之を變改し、新規計畫を要するものは、先後緩急を考慮して之が創立遂行に努めて居るのである。即ち既定の産米、[illegible]、鐵道等に關する計畫の遂行は勿論、河港の修築、著作の增殖、[illegible]業の新規事業を企畫し、又初等教育の普及、師範教育の刷新、警察機關の擴充、教科書の改善等に付ては一段の努力を拂ひ、更に小作慣習の改善、小農の保護、夫役の制限、署附の制限、職業紹介事業の開始、公益質屋の創設及細民小住宅建設に對する補助等、凡そ福利の增進と民衆生活の安定とに關しては、最善を盡さんことを期して居る。

取り分け内鮮の融合協調は、所謂楽櫃一家共存共榮の道に鑑み最も切要なる事で、畏くも即位の大禮當日紫宸殿の儀に於て賜はりたる勅語の中にも、『[illegible]民心ノ和會ヲ致シ』と仰せられたのである。吾等は謹みて大御心を體し奉り、一層意を此に留め、内鮮和衷提携に於て遺憾なきを期し、以て聖明に對へ奉り、併合の精神に副はんことを冀ふものである。

[illegible]民忠忱の發露たる大典記念事業の創始は多く本年に屬するのであるが、若し本事業の成績にして良好ならざるに於ては、洵に恐多いことであるから、之が施設經營に關しては、當初より周密なる注意と充分の努力とを拂ひ、以て萬全を期せねばならぬ。

尙本秋は、朝鮮博覽會を京城に開催することとなつて居る。本事業の趣旨は更めて申すまでもなく半島統治の實績を明かにすると共に、鮮內の事情を中外に紹介せんとするのであるが、本事業の如きは、官民の協戮に俟たなければ其の功を全うし難いのであるから、官民共同、良好なる成績を齎さんことを望んで已まぬ。

海天遠く隔たる此の地に在りて無邊の聖恩に浴し、年頭に當りて二千萬同胞と共に椒酒を献げ、謹みて聖壽の無疆を祈り奉る。

年頭の感懷及希望
池上政務總監談

乾坤一轉、茲に光輝ある昭和四年を迎へ、我が同胞と共に和樂して聖代の春を謳ぐことは、最も欣幸とする所である。

私は乏しきを現職に承け、朝鮮に赴任してより日猶淺いが、茲に匆々再び新春を迎へ、亦多少の感慨なきを得ぬのである。顧ふに總督府始政以來茲に廿年、此の間官民の協戮に依り、半島の庶績次第に舉がりつゝあることは、中外の齊しく認むる所である。私は總督を補佐して朝鮮統治の重に當り、二千萬民衆をして治平の慶に浴らしめ、以て上下の信託に負かざらんことを期し、努めて實地視察を遂げ、又親しく官民多數に就いて所說を聽取し、各般施設を考慮し、從の小作慣習の改善、小農に對する生業資金の貸付初等教育の普及、師範教育の刷新、教科書の改訂等の如き、當面須急の施設は取敢へず之を斷じたる次第である。尙明年度に於ては、稅制の整[illegible]、水產及畜產の市場並に森、要塞諸作物の改良增殖の如き、職業紹介事業の開始、公益質屋の創設小住宅建築の獎勵補助の如き、簡易生命保險の實施の國勢調査の準備並に朝鮮博覽會の開催等の如き新規且重要なる施設多く、洵に今年は多事多忙の年であるから、一段の官民協調努力を要するのである。

尙茲に一般の留意を乞はざるべからざるは、客歲の旱害及水害の復舊並に之が救濟に關する事項である。旱魃及洪水は固より天災であつて、人力の如何ともする能はざる所であるが、一面民衆に對する試錬であるとの見解を以て之に善處し、趨避百圖の工夫をせられたいものである。

茲に曆が改まると共に人心の新なる時を機とし、一二感懷と希望とを述べ、以て自他の警醒に資する次第である。

秩父宮同妃兩殿下

申上ぐるも畏き 御繁劇な御日常

拜しまつる雲上の事ども

今年は殊に意義深き御新年

◇…岡本侍従謹話

◇…御意義は一層

◇…一時間内外を

◇…皇后陛下にも

◇…分けて御手許

◇皇后陛下

春光都在五雲中

天山人（署名）

◇…山梨總督筆

年頭所懷

朝鮮軍司令官　金谷範三

懷しの朝鮮

名士の年頭所感

隔世の感切なる朝鮮

益々隆昌と繁榮を祈る

元本府政務總監　水野錬太郎

朝鮮統治と言論の力

京城日報の前途を祝福

元本府總務局長　伯爵　兒玉秀雄

謹賀新年

京城日報　社員一同

小選擧區制の還元で 新黨と提携するか

政友會幹部の意嚮

◇…内政問題

對策

是非

照宮さま

政友有志 近東會組織

三項の申合せ

蔣介石氏から 奉天側に謝電

國民政府からも同樣

小寺氏床次氏訪問

獨逸大使着任

新任フォレッチ博士

鮮米格付改正

◇…商工省より認可

朝鮮米格付の改正要點

交渉開始

米支仲裁條約

基礎案提出さる

電話押收に ロシヤ抗議

支那官憲に

◇…人…

茶話

本日朝刊廿頁

謹賀新年

釜山運送組合

釜山旅館組合

釜山府綠町　貸座敷營業組合

釜山　釜山米穀證券信託株式會社

教育掛圖　理化器械　樂器運動具　書籍文具　釜山本町驛前　三宅琢造商店　電話一一七〇番

釜山倉友會　朝鮮興業株式會社倉庫　釜山共同倉庫株式會社　大池商店倉庫部　朝鮮商業銀行倉庫部

釜山府辨天町一丁目　丁子屋洋服店　電話三六番　振替口座釜山三六番

釜山　石炭商組合

釜山大倉町　旭金庫　釜山營業所　原定一郎

釜山南濱町　八橋寫眞館　電八八三番

釜山富平町　キッコーヤマ醸造元　山根醤油醸造場

釜山　西條鐵工所　西條利八

釜山　釜山陶磁器商組合

材木商　セメント　釜山榮町二ノ三二　村井綱藏

白亞の大殿堂を中心に 大規模な朝鮮博覽會

總經費二百萬圓、敷地七萬餘坪

輝やかしき昭和四年の秋

二百萬圓の總費を投じ七萬坪の會場を設け百五十萬の觀客を吸收しようといふ今秋の朝鮮博覽會は何と言つても朝鮮に於ける本年行事中の最大なるものであらねばならぬ、總督府は昨年四月十萬圓の豫算を計上して準備行爲に入り早くも内外各地に向つて宣傳を開始し進め特設館の設備先なども決定し大體のプランは出來上つた、今年の四月、年度替りと共に百萬圓の博覽會に對する本府豫算が愈よ支出期に入り、會場に當てられてゐる景福宮には一時に數千の人夫が入つて七千坪の本館と、それに附屬する幾多の特設館の建築に着手されるであらう、斯くて本年九月十二日より十月三十一日までの五十日間京城はこの博覽會を中心に百五十萬の人が雜沓し全く歡樂の一大樂園と化するであらう、この大計畫遂行の年を迎へるに當り、その概要を描いて見やう

會場

會場は景福宮およびその前の勤政殿を中心にして、約十萬坪を宮内に一般陳列館の集團區域となり門外は關係建物の集團地となつてゐる、光化門は會場の正門となり、出品館は

産業北館	九百坪
產業南館	九百坪
各道審勢館	四百坪
内地商業館	千坪
教育館	二百坪
米の館	二百坪
社會經濟館	三百坪
朝鮮電氣館	五百坪
交通土木建築館	五百坪
衞生參考館	三百坪
陸海軍館	四百坪
美術館	三百坪
水族館	百五十坪
審勢館	三百坪
パノラマ館	百五十坪

その他の建物には

演藝館	三百坪
野外演藝館	五十坪
活動寫眞館	百五十坪
事務局	三百坪
郵便局、警察局、切符賣場、官衙出張所その他	二百坪

また既設建物の利用も相當考慮されてゐて式場、迎賓館、接待所、食堂、演藝場および賣店等は慶會樓、勤政殿その他の既設建物を利用することになつて[illegible]

夜間開場は見合せか

その他本館附屬の特設館を利用することになつてゐる外各地の特設館、即ち關西、東京、大阪、名古屋、京都、福岡、山口、九州、臺灣、滿洲等から申込を受けてゐる

その他本博覽會を行ふに當り[illegible]の如き計畫をたて、それに向つて着々進みつゝあるが夜間開場の問題は大分考究された模様であるが、警備や經費の關係からこれはなさぬことになつた、これがためイルミネーションによる見物客は餘り期待されなくなつた

觀覽料金

大人	一人に付	三十錢
小人	同	十五錢
軍人	同	二十錢

團體見物（十人以上にして引率者ある場合）一人に付二十錢、學生々徒（廿人以上にして引率者ある場合）一人に付十五錢、一般團體（三十人以上）一人に付二十錢

本府はこの入場者百萬人を見込み

協贊會

その入場料收入は三十二萬五千圓を計上してゐる

（一）各道に道協贊會を設置せしむることとなり道を主體として殆んど各道とも組織を終つてゐる

（二）京城に京城協贊會を設置し各道協贊會の中心となることとなり既にこれが豫算の編成も終つてゐる

事務費	三九三、五三〇圓
建物費	二三二、〇〇〇
陳列裝飾費	二八〇、〇八〇
補助費	一一七、五〇〇

にして建物費には右の外京城府から二十五萬圓を寄附され合計四十七萬一千圓となりこれによつて陳列館六千六百坪、野外演藝館、活動寫眞館、事務所その他七百餘坪合計七千三百坪を新築することとなつてゐる、補助費十一萬七千五百圓は共進會へ與へるもので內五萬圓は必ず支出することになつてゐるが他の六萬七千五百圓は入場人員が豫定の百萬人分即ち二十二萬五千圓の收入を突破した場合を豫想したもので六萬七千五百圓は三十萬人分を見込んだものである、事務費三十九萬三千九百三十圓は事務に要する各種の經費にして消耗品等もあるが最も多いのは人件費で、この中には事務

治安取締の苦心

[illegible]百人分が含まれてゐるから開設前後は京城の失業者を[illegible]この博覽會に吸收しても尚は足らぬ位であらうといはれ全く京城からこの博覽會は不景氣を退散するものと見られてゐる

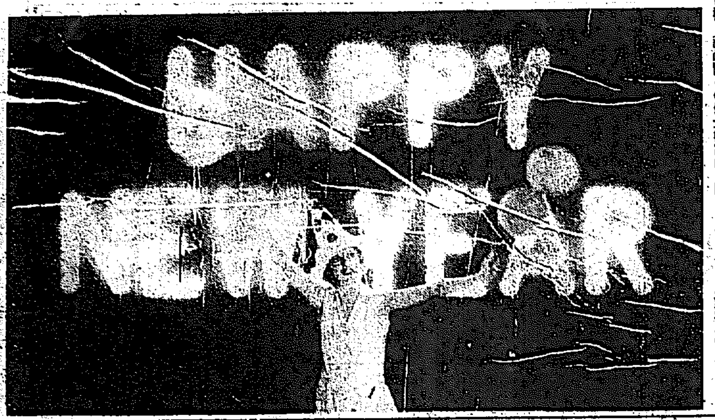
何分この大博覽會を中心に百五十萬の人間が僅五十日の間に京城を中心に集まるので治安の任にある警察局の苦心も一通りでない、朝鮮の今日を廣く一般に示し又外各地の人々その他の文化を一堂に集め、世界の文化を七千坪の建物に[illegible]

收めることの記錄は[illegible]のためのみならず世界的にも意義のあることであるから萬一にもこの博覽會を機會に人心を攪亂するが如き行動があつては一大事と警務局では期間開設期間に取締り警戒に終了せしむべく努力することになつてゐる、これがため直接警戒の任に當たる警官は府内一千の警官では十余日期し得ないので警務局では全鮮各道から京城の地理に明るい警官千名を選拔して開期中京城に駐在せしめ警戒に當たることになつてゐる、この經費四萬四千四百二十五圓を本府は明年度豫算に

[illegible]

本府見學者で頭痛

[illegible]



おめでたう！ 映畫界の人氣女優テイマツカホイ嬢が電氣サインで

これは素晴らしい 朝鮮博見物未來記

[illegible]

東洋一の大廳舍たる總督府は碧空を

[illegible]

朝鮮風の青丹の門が立つてゐる

[illegible]

本府の教育方針を或は圖解に

[illegible]

水滸き中に蓮の葉の浮かぶ六泡

[illegible]

池の中には花壇を設けてある

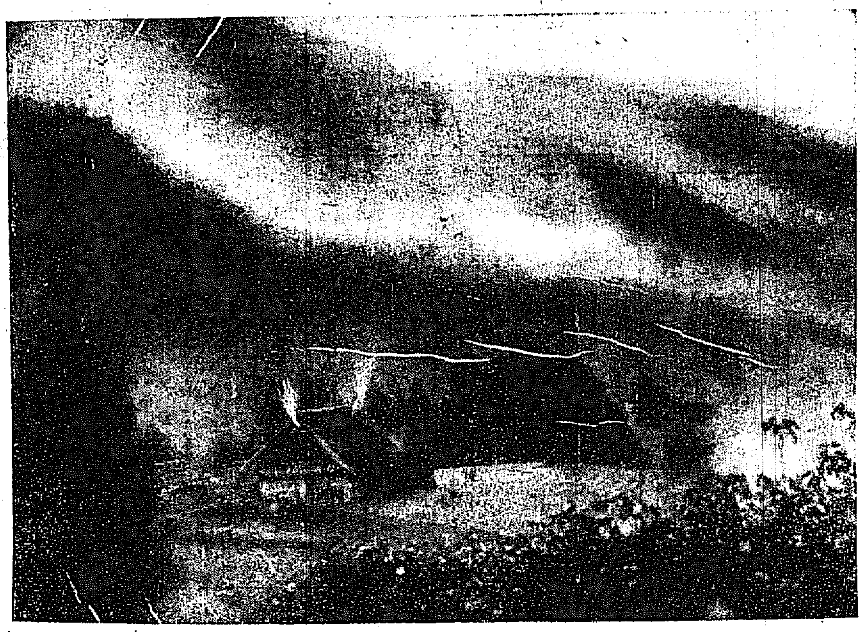
[illegible]

特設館の裏にも花壇が輝いて居る

[illegible]

子供の國を本河の汽車が馳つて

[illegible]



田家の朝 ………

期間

九月十二日より十月三十一日まで五十日間

本府の豫算は百餘萬圓

本府では昭和三年度豫算に[illegible]

土地使用料

（1）土地使用料

イ、官廳、公共團體又はこれに準ずるものの特設館は土地使用料を徴收せず

ロ、民間特設館、賣店、飲食店等の興行に要する土地は、この場合に於ては協贊會に無償にて京城協贊會に於て徴收してもよいことになつてゐる

（2）館内の場所使用料、出品を容易ならしめるため使用料を徴收せぬことになつてゐる

（3）陳列戸棚及びケース等の使用料、各出品者の負擔でこれを特殊なものについては協贊會が負擔することになつて[illegible]

雪に明ける お正月

氣温も暖い

大晦日の三十一日は朝からの大雪で寒しい雪景を見せたが午後になつて雪雲は漸次切れてうらゝかな大陽の日ざしが雪に照り映えて、京城測候所に元日からの天候を聞くと、二日頃までは晴れて雪もなく氣温も餘り降らずに零下六七度程度であるから却つて暖いさうで今年の正月は全く天候に惠まれ大いに御正月氣分が味へることであらうと

法制局長宅別邸に 持兇器强盜

夫人を脅して逃走

【東京電話】二十九日夜十一時頃[illegible]

市内各局とも 約三割の增加

御大典明け第一年の年賀郵便の取扱

年賀郵便の特別取扱ひは二十九日までで締切つたが京城本局の引受けは百四十萬四千通にして昨年より二割方增加し、京城市内各局の合計は二百二十萬三千通で昨年より二割六分五厘の增加である、一方配達は廿九日までの到着京城本局七十七萬三千通にして昨年より二割一分[illegible]增加し、京城市内各局の到着は百七十三萬二千通で昨年より二割四分七厘の增加である、このやうに郵便も配達も增加したことは昨年は諒闇明けで年賀郵便の取扱ひが非常に少かつたことが一つと又今年は御大典後第一年の新年だといふので一般に祝賀氣分があり、それから景氣がよくなつたことなども擧げられてゐる、京城市内各局ではかく增加した年賀郵便の取扱ひに臨時事務員、臨時配達夫を使用して大多忙を極めてゐるが元日の配達の如きは各局共數百名の配達が配達にとゝのへ一齊に配達に向ふことになつてゐる

年賀郵便 八千萬枚

東京の取扱數

【東京電話】年賀郵便特別取扱ひは二十九日で締切つたが東京遞信局管内の總數七千九百四十一萬八千百十一枚で昨年に比し二割五分七厘方の增加である

大邱の火事

三中井裏から

【大邱特電】卅一日午前[illegible]

湯んじんに

[illegible]

あすの天氣（1）

高氣壓は支那中部から西海に掘り仁川沖と濟州島附近には低氣壓があつて東に進んでゐる爲半島は一般に曇つて中部以南の西岸には雪又は雨が降つてゐる支那の高氣壓はだんだん朝鮮に押出して來たから明日は天氣が良いそして少し寒くなる

豫報	氣溫
晴一時曇	卅一日正午 零下〇・三（度）／三十日最低 零下二・二（度）

賀正

羽田調帶株式會社總代理店

蒲田商店

（本店）東京

出張所 大阪・門司・札幌・名古屋・大連・京城・奉天

蒲田喜[illegible]

保險は文明の尺度

個人的には貯蓄に勝つた父　國家的には社會政策

東京丸の内

社長 大谷嘉兵衛

常磐生命保險株式會社

專務取締役 關本英作

常務取締役 吉田榮右

支部及出張所 東京、大阪、名古屋、京都、神戸、松江、岡山、廣島、高知、福岡、鹿兒島、臺北、金澤、仙臺、秋田、新潟、札幌、京城、大連

代理店全國各地に參千餘箇所

謹賀新年

咸南長津三巨面 李天培、李春夏、崔明植、韓元普

咸南長津郵便局 職員一同

咸南長津邑内 田原商店

咸興[illegible] 新豐釀酒所

咸興[illegible] 淵野食糧品店

咸興本町 中川鐵治

咸興[illegible] 原田呉服店

咸興[illegible] 宇佐天眞堂

咸興[illegible] 松村榮三郎

咸興大和町 時寶堂

咸興郡廳 職員一同

咸南豐山邑内 寺戸商會 昭和館

大興電氣株式會社 咸興支店

咸南北青邑内 共興株式會社々員 方義錫

咸南新興郡松興里 朝鮮水電株式會社醫院 岡元濟二 外 職員一同

演藝案内

浪花館
迎へる春の大興行は大阪より
若手花形揃大一座
元日より晝夜二回

京龍館
新春第一週 一月元旦より四日まで晝夜二回興行
現代劇 **愛の町** 全八卷
大岡政談 第三篇

中央館
マキノ社
三十一日封切新春特別番組
パラマウント社
空中の卷 七卷
浪人街 十五卷

東亞倶樂部
武俠關東嵐 十卷
現代劇 **戀を知る** 七卷

大正館
人の世の姿 十卷
高杉晉作 九卷

鎭南浦府 瀨沼白陽

平安南道立平壤慈惠醫院 鎭南浦分院

鎭南浦遞友會

鎭南浦 松林誠一郎

鎭南浦 結城常次郎

鎭南浦倉庫株式會社

鎭南浦內地人 貸座敷組合

鎭南浦 象山運送店

鎭南浦 果物同業組合

鎭南浦府 運送店組合

鎭南浦府 土岐自動車部 電話五〇五

鎭南浦 商盛會

鎭南浦 生牛移出株式會社

鎭南浦 石川榮漁組

鎭南浦警察署長 沖德五郎

鎭南浦龍井町 有田自轉車商會 有田章三 長電話五三番

鎭南浦三和町 仁田材木商會

鎭南浦龍井町 合名會社 大和醬油釀造場 電話二四十番

鎭南浦府 合資會社 青木組

鎭南浦稅關支署 中村勉三

鎭南浦府 河村商會

鎭南浦土木建築協會
會員一同

鎭南浦學校組合議員（イロハ順）
秦恕夫
原田金助
李鍾燮
岡名脩二
岡部平一
大浦秋吉
內藤理三郎
中藤鐵藏
柳原龜一
松岡杉三郎

鎭南浦芝山里 小西芝山園
同 高橋珍果園
同府外 小柳農園
同龍井里 中田農園

久原鑛業株式會社 鎭南浦製錬所

鎭南浦電氣株式會社

鎭南浦公立學校 職員一同

鎭南浦土曜會

鎭南浦 鈴木種一

鎭南浦 柳原釀造所 藤本釀造所

鎭南浦三和町五十九 鎭南浦果實株式會社

滿洲製粉株式會社 鎭南浦工場

鎭南浦府廳 池田魁

鎭南浦精米組合

朝鮮鎭南浦龍井町八番地 西崎鶴太郎

平壤府旭町 櫻旅館 電話長一二七番

平壤化粧品組合
廣島本店
廣島支店
夏川支店
清水商店
荒木洋品店
平野小間物店
盛昌洋行

平壤府大和町 雜貨 桑田信助商店 電話一六一三番

平壤府南門町 メリヤス タオル 雜貨 諸 大野邦雄商店 電話八七二番

平壤府泉町（旭座通り）⑧ランドリー
同泉町 ⑧質店
同大和町（マーケット入口）⑧洋服部

平壤府大和町 文具 印刷 書籍商 脇阪文鮮堂 脇阪彦之助 電話一三〇番

大同警察署 職員一同

平壤府横口町 竹中化學工業所 電話八二八番

鐵道局平壤保線事務所 中村富藏 外職員一同

平壤府南門町 諸印刷 藤野活版所 主 藤野磯雄

滿鐵平壤販賣所 坪田享

平壤府大和町 杵屋御苦郎次

平壤府南門町 久保鑛業部

朝鮮醤油元賣捌會社 平壤總支店 永谷重治

平壤府橫口町 玉井商會 玉井俊一 電話七六番

合資會社井上商會 土木建築請負 井上定夫
葬儀部 法典社 附屬品販賣部
陶器部 香樂園 平壤府横町 電話三〇番

平壤府大和町 塚本齒科醫院 院主 塚本券司

平壤府柳町 柳町郵便所 所長 藤川常市

平壤府幸町四〇 司法代書人 稻垣多嘉一 電話一二九三番

平壤府柳町 村松襯絹所 元朝鮮部 中小入絹 袖絹 所主 横內弘勝 電話一〇七三番

平壤府賞町 刀骨世 御篤器 玩古堂 江浪芳太郎

平壤府本町 カスミシトロン金鵄サイダー 白十字葡萄酒製造元 朝鮮飲料合資會社

平壤宿屋業組合

平壤府旭町四番地 司法代書人 吉野勝太郎 電話六二六番

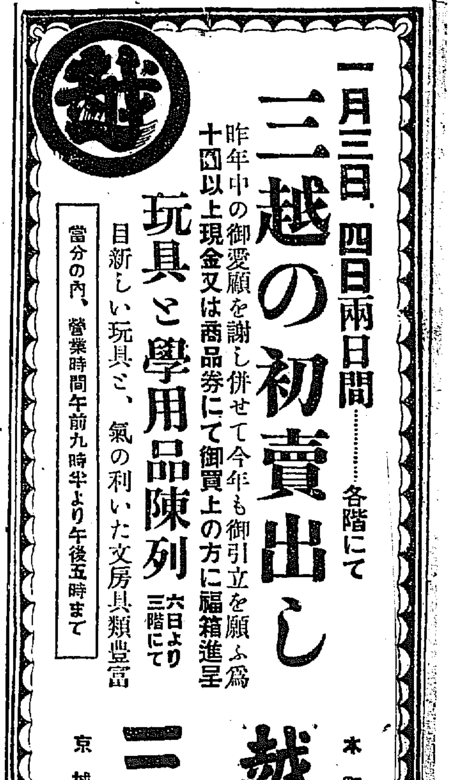
平壤府黄金町 料亭 玉屋 電話二四一番

平壤辯護士會

平壤府本町 金物商 長富一之助商店 電話六一四番

平壤府曙町 平壤券番

平壤瑞宗通り 鐵道諸官衙御用達 和洋建具指物 請負 合資 久保田商店 電話一〇一八番



安東挽材株式會社

安東縣 滿洲鑛山藥株式會社

安東縣市場通六丁目 横濱堂本店 電話二二一番

安東縣市場通 仲買人 原田市松

安東縣六丁目 北田材木店

安東縣市場通四丁目 諸材料部 石本三造 電話二九三番

安東縣 日韓組運送店 松本清豐

安東縣市場前 重枝洋行 電話二六七番

安東縣市場通四丁目 文榮堂書店 電話三七・七一八番 振替口座京城二二八七番

安東縣新市街 富久壽美旅館

滿洲安東縣市場通八丁目 精美館印刷所 電話四一五番

安東縣市場通四丁目三番地 滿洲商會自轉車部 田村里次

安東縣市場通六丁目 大山堂本店 大山正穗

新義州地方法院長 菊地太惣治

新義州地方法院檢事正 新藤寛三郎

新義州警察署長 古市金彌

平安北道 新義州警察署長 菅野芳松

安東縣 料理店 由良之助

安東縣金行集會所

平壤公立中等學校長一同

平壤府濱町 土木建築請負 矢野武一 電話七五八番

平壤材木商組合

平壤府大和町 片倉殖產株式會社 平壤營業部
鎭南浦三和町 同 鎭南浦出張所
沙里院西里 同 沙里院出張所
新安州驛前 同 新安州出張所
平壤府旭町 平南自動車商會
陽德郡新邑 株式會社 陽德溫泉九龍閣

平壤吳服商組合
（イロハ順）
本田屋吳服店
吉本吳服店
丸橋吳服店
丸京吳服店
三中井吳服店

義州郡廳

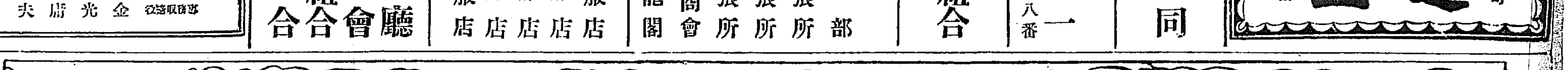
義州郡農會

義州郡畜產同業組合

義州郡森林組合

一、生存分配金附、積立配當金附、保險者負擔附（一名三倍保險）の保險あり
大正生命保險株式會社
日本教育生命保險株式會社
新日本火災海上保險株式會社
二、殺傷、組織共全保險社に於て並を要せず削除す
三、一般火災保險何れも取扱

本社 東京市麴町區有樂町二丁目
社長 柳金光
專務取締役 原光
〔 〕 義廣
〔 〕 光夫



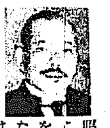
財界の前途

金解禁はどうなる？

財界の基本は良好となる

金解禁の準備をなせ

大藏大臣 三土忠造



昭和の新政が……こゝに第四年を迎ふるに當り、昨秋行はせられたる即位の大禮の後を受けて國民の意氣は自らあがり、我經濟界の前途も更に一層の刷新を期待せしむるものがあります。

財界の整理も漸く進捗し財界の基礎は著しく良好となつたのであります。……金輸出解禁の如きはそのいちじるしきものでありましてこれが解決については各方面の準備を要しますが、國際貸借の改善の直接不可分の關係あることは申すまでもありません。昨年は一昨年に比し輸入超過額を増加しましたとは申せ……

遺憾で ありますが、……國際貸借の狀況は二ヶ年にわたりいちじるしく改善せられたのを認むるのであります。本年は官民更に一層の努力を以て内は國内産業の振興を計り外は對外貿易の伸長を期しこの趨勢をますます顯著ならしむることにつとめたいと考へます。

財界の前途

金解禁成否不明の前途は全く不明

……しかし乍ら金解禁は政府の勇斷を待つべきものにして財界自身これを如何ともすること能はざるものである。即ち政府が決心してこれを斷行する……

財界 は金融も經濟も總て金解禁の成否によつてこれを卜するの外なきに拘らず、解禁の成否不明なりとすれば財界の前途は全く不明といふの外はない。

金解禁が景氣を左右

日本興業銀行總裁 鈴木島吉

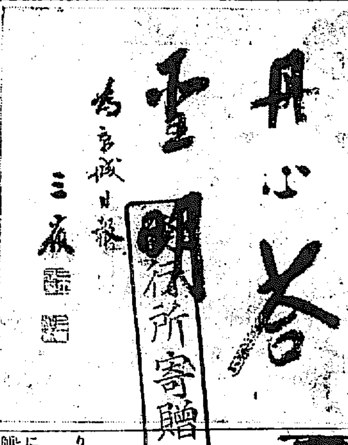
昭和三年の財界を回顧すれば先づ概して平穩……

銀行自身 の立場から……

是れ以上景氣はよくならぬ、併し惡くは勿論なるまい

朝鮮殖産銀行總裁 馬場鍈一

昭和四年の新春を迎ふるに際して、昨年中における財界を回顧すれば……



三土藏相揮毫

財界の回顧と其の前途

朝鮮銀行總裁 加藤敬三郎

我國の財界は大正九年に襲はれた……

「不景氣」 が相當深刻なりしため……

「金解禁」 問題を中心として各方面に……

「一時的」 の打撃を……

「朝鮮の」 財界……

財界の前途

「換算」 ……

「金利」 ……

大組織 ……

「資金」 ……

「景氣」 ……

「減收を」 ……

「要する」 ……

「活況」 ……

かぞへ年御五つのお正月を迎へられた

おかわいらしい照宮さま

新年雜感

小波 鄭申錫

妖鬼流血錄 （121）

長谷川伸 作
木村哲二 伊藤幾久造 畫

年の瀬の渦 (1)

謹賀新年

【いろは順】

合資會社 間組

西本組

西松組

合資會社 堀内組

陣内組

東亞土木企業株式會社

合資會社 朝鮮有馬組

大倉土木株式會社

渡邊組

鹿島組

合資會社 谷口組

多田工務所

津田組

合資會社 長門組

楠見組

株式會社 松本組

小寺組

後藤工業合資會社

合名會社 阿川組

荒井組

宮川組

柴田組

合名會社 盛陽組

議會の切拔け如何？

今期議會は現内閣として初めての長期議會である。政府は如何なる秘策を以てこれに臨まんとするか？抑も反對黨は如何なる策戰を以て肉薄せんとするか？今期議會は曰く自作農創設、曰く對支外交、曰く地租營業收益税委讓等々と重大論題枚擧に遑あらず、樂觀論者はその切拔け必然なりといふが、悲觀論者はその難事なるを說く。今期議會の大論戰は蓋し近來稀有なるものあるだけに、その結果は如何樣になるか？甚だ興味あり注目すべき事である。

今期議會は結局無事

議論は相當賑ふならんが無事切拔だけは間違ない

政友會總務 秦豐助

對支問題については昨年御大典中における一新會との提携成立並に床次竹二郎氏との聯盟により、恐らく本問題のため政府が難局に逢着せねばならぬやうな事態に逢着するやうなことはあるまい。しかして内政問題に關して何といつても我黨年來の主張たる地租および營業收益税委讓といふ税制上の大改革案を基礎として編成された明年度豫算案を

中心に 幾多の問題が提起せられ反對黨の脫退も豫ひこゝに攻擊の戰を集中する事とならうから與黨の總裁を通じて相當にぎやかな論戰が演ぜられるであらう。しかし明年度豫算案は財界の現狀その他を顧慮して努めて緊縮方針を執り將來の財政計畫の一層強固なるべきを旨として編成したが、それでも各省を通じ約一億三千余萬圓の新規事業を計上し得たのは大成功といふべきであつて、この點については反對黨といへども敢て反駁する余地はあるまい、又減税は昭和六年度から實施する

現政府 を支持する者が以上は對支問題だけに限定せられて…

無事に終ると見て間違はあるまい

政治教育の必要を痛感

實業同志會長 武藤山治

貴族院 において地租の…

在野黨 の…

既に底を見せた以上海運界も漸次好轉

朝鮮郵船社長 恩田銅吉

一般海運界は依然不振を極めて居るが、昭和二年度の…

＝鮮米＝ は昨秋約三百萬石の…

第三者 の如き立場にあつて一つの大きな仕事として之を眺め…

對支問題の爲內政問題で讓れ

新黨俱樂部 中西六三郎

今期議會の要問題は何といつても對支問題の解決と地租委讓に關する問題…

自身も 同樣に考へてゐる…

政府と 同樣に…

難問題續出して切拔けは疑問

民政黨總務 松田源治

貴族院 …

論鋒を 向けられ…

運命に あるのである…

朝鮮交通界の去年及び今年

自動車經營の利潤と監督

朝鮮自動車協會長 新田留次郎

＝三月＝ には朝鮮郵船長…

＝交通＝ は…

＝國家＝ の交通政策上…

＝持續＝ …

清風 惟馨 桂堂書

謹賀新年

平安北道 食堂會員一同

平安北道金融聯合會
平安北道各金融組合

新義州府職員一同

新義州郵便局 職員一同

平安北道 厚昌郡守 文慧觀
庶務主任 吉賀時之義
財務主任 添島一美
外職員一同

平安北道 宣川郡廳職員一同

平安北道 新義州道立醫院 職員一同

新義州中等學校長會（イロハ順）
大井利明
高木善人
諏訪原義衛

新義州 加藤鋕治郎

新義州 多田榮吉

平北新義州 中込精一

新義州 株式會社 鴨綠江輪船公司

平壤慈惠醫院職員一同

平安南道 安州無名會

平安南道 道廳食堂員一同

平壤 水曜會

平壤府廳員一同

小野田セメント製造株式會社 平壤支社

平壤府港町 國際運輸株式會社 平壤支店

平南价川郡前 价川營業所
平北江界邑内 江界營業所

平壤府平川里 山十製絲株式會社 平壤製絲所

大日本製糖株式會社 朝鮮支店 平壤府外船橋里

己巳新年紙上名刺交換會

朝鮮總督府專賣局　松本誠
京城電氣株式會社　[illegible]
南山町二ノ二六　山口太兵衛
京城株式現物取引市場　天日常次郎
朝鮮殖産銀行　[illegible]
赤木萬二郎
東洋拓殖株式會社　澤田豐丈
株式會社漢城銀行　[illegible]
株式會社三越京城出張所　[illegible]
京城郵便局　[illegible]
京城府　[illegible]

山口銀行京城支店　[illegible]耕平
京畿道々評議員　[illegible]
株式會社可部商會　今井[illegible]一
朝鮮殖産銀行　有賀光豐
朝鮮殖産銀行　[illegible]一
朝鮮殖産銀行　矢鍋永三郎
小田省吾
宮崎組本店　[illegible]
大日本麥酒株式會社京城支店　川村喜一
京城電氣株式會社　武者錬三
京城電氣株式會社　[illegible]重樹

不二興業株式會社　[illegible]
朝鮮火災海上保險株式會社　[illegible]
朝鮮商業銀行　[illegible]
三井物産株式會社京城支店　[illegible]
[illegible]
[illegible]文植
朝鮮總督府　松村松盛
朝鮮總督府　李軫鎬
朝鮮總督府　兒島高信
[illegible]
日本生命保險京城本部　[illegible]

帝國地方行政學會朝鮮本部　[illegible]
和田外科　[illegible]
朝鮮總督府　林[illegible]
田中半四郎
朝鮮鐵道株式會社　[illegible]
朝鮮總督府　田中三雄
第一銀行京城支店　[illegible]
不二興業株式會社　[illegible]
朝鮮總督府　[illegible]
朝鮮總督府　[illegible]
山口[illegible]造

朝鮮總督府遞信局　山本犀藏
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
戒能義重
高陽郡崇仁面敦岩里四二　平山政十
曾田篤一郎
立石良雄
十八銀行京城支店　[illegible]一
朝鮮土地改良株式會社　[illegible]一

恭賀新年

京城府龍山漢兵町停留場前 名物まさご饅頭 榮太樓 主 伊 電話龍山九七三番

龍山小學校前 鯨吉京染呉服店 電話龍山三五一番

京城府岡崎町九七 小澤混凝土工業所 電話龍山八五二番

京城府太平通二ノ二〇 田端善吉 電話本局一八〇二番

京城府長谷川町 山田家畜病院

京城府岡崎町七一 東京 鹽瀨 電話龍山七五〇番

京城府元町二 鐵道省指定 土木建築請負 丸三組商會 電話龍山五六一番

龍山元町二 コマヤ呉服店 電話龍山二六三番

龍山驛前 鐵道局御指定 日の本旅館 電話龍山(長)七一二番

京城府明治町一丁目 日本活動寫眞株式會社京城出張所 關千經 電本二九二二番

京城府新町 うどんや風一夜漬朝鮮代理店 生そば 霞月 電本一四九三番

昭德生命保險株式會社京城支部 米澤豐成 電本二三九二番

東邦火災保險株式會社 朝鮮支部

豐國火災保險株式會社京城出張所 神孫子源太郎 電本一七二〇番

京城本町五丁目三六 末廣屋京染店 電話本局一九〇八番

世界金剛石 時計 貴金屬商 京城本町二ノ二(明治町通り) 土橋金光堂 電本一五二二番

時代の要求に伴ふ新設備 京城府長谷川町一〇 門田製版所 電話本局三一三〇番

京城府本町二丁目 木島時計店 電本一三九番

京城府本町三丁目 御料理 望戸力一商店 電話本局一八〇五

京城府本町二丁目 岩見屋呉服店 電本[illegible]番

京城本町二丁目 村上寫眞館 電話本局四二番

京城府本町三丁目 藤富國太郎

京城府本町四丁目 和洋家具 鏡 小島商店 電本二六三五番

京城府本町二丁目一八 黒川精肉店 電話本局九六四番

京城府永樂町 各種パン和洋菓子製造元 ㋙神戸屋 電話本局二一〇五番

京城府本町三丁目 石川物産商會 電本一八八四番

京城府大和町 下田洋服店 電話本局三七六二 振替口座九九九五

京城府黄金町一丁目 岩田寫眞館 電話本局五三三番

京城府本町二丁目 木島時計店 電話本局一三九番

京城府旭町一丁目 澤井舗 電話本局二六六九番

板硝子商 三田政治郎商店 京城府本町二丁目一九

平野眞

京城府南大門通三丁目 食料品海産物問屋 吉川太市郎商店 電話本局二四一七番 二二二番

西崎源太郎 京城太平通二丁目 電話本局二三七番

京城府本町二丁目 北内紙店 電話本局一一五二番

鎬木與四次郎

京城府太平通一丁目 金川食堂 電話光化門一四四四番

京城府南大門通三丁目 南大門食堂 寺澤藤三郎 電話本局四〇六四番

吉谷山陽堂 京城府明治町 電話本局一四三五番

佐々木聚古堂 京城南山町三ノ一三 電話本局三八九四番

京城府元町一丁目 朝鮮製綿株式會社 電話龍山一二六番

土木建築請負業 白坂組 組主 白坂七雄 電話龍山二〇七番

合資會社 清水組京城支店

本券番

京城府本町三丁目 造花、花環、装飾請負 アサヒ商會 電話本局三三六一番

南滿洲鐵道株式會社 京城販賣所

齋藤合名會社 豐國製粉株式會社

京城府黄金町一丁目 合資會社 泰明商會 京城出張所 電話本局三三〇一番

京城府元町一丁目 クームヒン株式會社 電話龍山三七〇・四二四番

京城府本町三丁目 カフエー白蝶 電話本局二六二五番

京城府本町一丁目 合資會社 山岸天佑堂

京城府南山町二丁目 京城美術倶樂部 電本一三六〇番

京城府明治町二丁目(取引所前) 西洋御料理 菊水 電本三六八六

京城府本町二丁目 化粧品商 中村商會 和洋結髪美顔術 整容部 電話本局三六五番

京城府本町五丁目 愛知畜産京城支店 蘭谷牛乳消毒場 電本三四〇六 二三七六番

大福海上火災保險株式會社 京城出張所

京城府旭町三丁目十三番地 小貫俊男

京城府長谷川町一二 森永製品 京城販賣所 電本四九六 二〇〇九番

京城府旭町三丁目 髪結 佐藤はつ 電本三五五七

京城府本町三丁目 洋菓子卸商 フタミルーム 電本二一〇一番

京城府本町四丁目 三好野 電話本局一六九七番

京城府明治町一丁目 滿鮮歯科商會 川村竹四郎 電本二八四九番

京城府黄金町一丁目 堀田鐵工所 電話本局一五七八番

京城府明治町通本町入口 むすめや造花店 電話本局二三一七番

茂山營林署 共樂會一同

平北中江鎭專賣局派出所 正司高助 洪龍陶

平北中江鎭 和氣義雄

平北中江鎭 雜貨商 松本健次郎 電話八番

平北中江鎭洞口市 和洋雜貨 玉合興

平北中江鎭洞口市 綢緞布商 永利東

平北中江鎭通關所 塚本稔

平北中江鎭 中元洋服店 店主 延士俊

平北中江鎭 支那料理 王春耕 電話二六番

平北中江鎭洞口市 豆油醤造業 可柏 華興東 電話四五番

平北中江鎭 智妙寺 今井光映

平北中江鎭 支那料理店 劉文先 電話五番

平北中江鎭 税關出張所 職員一同

茂山公立小學校長 中島喜久造

茂山公立小學校長 西山亥太郎

白頭山特産 本場ツルチユク果汁 セイント本舗 木下商會

平北中江鎭 公立尋常高等小學校 職員一同

平北中江鎭 料理業 得月樓 石濟かん 電話二四番

平北中江鎭 憲兵分遣所 職員一同

平北中江鎭洞口市 鴨江酒類組合

平北中江鎭 公立普通學校 職員一同

平北中江鎭 大和旅館 館主 樽井熊太郎 電話七番

平北中江鎭營林署長 堀内源吉 外職員一同

京城帝國大學醫學部 附屬醫院長 早野龍三

日清生命保險株式會社 滿鮮支社長 高澤源三郎 京城府太平通二丁目 電話本局一四九六番

京城本町二丁目 鳥料理 喜久家 電本一三八三番

京城府林町一九〇番地 西川商會 電話光化門四〇番

京城府黄金町二丁目一九九 西洋料理 銀松亭 電本九五番

石炭貿易商 丸三商會 京城若草町三五 電話本局一八八〇番

社團法人 京城放送局 理事長 橘川克彦

京城府長谷川町 朝鮮製薬合資會社 電話本局一二〇九番

京城府本町三丁目 阿部薬店 電話本局四八七・四二六番

京城府永樂町二丁目一五 共濟無盡株式會社 共濟信託株式會社

京城府南大門通二丁目 堀井謄寫堂出張所 電話本局四〇二番

全鮮金融組合聯合會御用 京城府水下町四九 合資會社 松本印刷所 電話光化門六四一番

朝鮮計器株式會社 株式會社伊藤商行

京城府漢江通十一 吉田醫院 電話龍山四八番

彌生町貸座敷組合

京城府岡崎町 朝日石鹼株式會社

京城左官同業組合

京城飲食店組合

京城岡崎町三番地(龍山古市町停留所前) 口腔外科 矯正科 歯科一般 崎山歯科醫院 院長 東京歯科醫學士 崎山軍藏

京城府南大門通二丁目 大倉洋紙店 京城出張所 電話本局四九〇番

京城府太平通二丁目 印刷 株式會社 大海堂 電話本局二七六〇番

京城府南大門通り二 日本紙業株式會社 京城支店 電本四〇五・三一五・二二七〇番

京城府南山町二丁目 秋吉正夫 電話本局二四七番

京城府竹添町 煖房装置 杉山製作所 杉山久 電話光化門一八一・五四五番

日本赤十字社 朝鮮本部病院

京城日報　其三

開け行く朝鮮

豫定實施　相伴ふて進む
益々發達する鐵道
昭和四年における朝鮮の鐵道計畫とその施設

鐵道局長　大村卓一

……まことに慶幸に堪えない次第であるが、就中枕木は昭和二年度迄北海道に供給を仰ぎたるもの總數の約半數に及び、昨三年度は之を六分の一に迄激減するに至つたが更に本年は其全部を鮮產品に依り充當する譯で、又石炭も現に約半數は朝鮮炭を用ひて居るが咸鏡線全通の爲め咸北に於ける出炭增加により成るべく多く咸北炭を使用する積りである。其他セメントの總數約三分の二は現に鮮產品を用ひ爾餘の大小材料亦努めて自給自足の方針に則り將來益此趨勢を助長せんことを期して居る。

◇……斯の如くにして本年度における朝鮮鐵道は新線の延長にその他の施設に相當膨脹を輸むべきを豫想されるのであるがしかし……

◇……實行の……

◇……私設……

國有鐵道　三十七哩の買收……

鐵道郵便路線　九千七百哩
自動車路線四千三百里
對滿長距離電話の開通で　內地連絡電話の必要痛切

遞信局長　山本犀藏

一陽來復、ここに昭和四年を迎へ、……の萬歲と……のいや榮とを……祈り奉る

◇……

無線電信　の施設に付ても昨年鎭南浦無線電信局を開設して朝鮮西海岸方面に於ける無線電信設備は一先づ備つたが、東海岸方面に於る設備は未だ滿足すべき狀態に進んでゐない將來船舶に對して强制的に無線電信設備を爲さしめることにでもなるならば、是非共に無線電信……

航空事業……

郵便事業……

電信電話……

放送無電……

對滿電話……

山梨總督　池上總監

電氣料金　の問題は……價格の問題であり、……における生産原價の問題で……、今後一層留意を要する……であるが、……に朝鮮において……始政以來料金の認可制が布……この制度の運用には特に……料金については……して來たため電氣料金は漸……しつゝあつてこの點は遺……きことであると思ふ。……

洋々たる朝鮮の產業
―新施設の一般―

殖產局長　今村武志

〔一〕朝鮮產業……

一、小作制度の改善

二、田作物改良增殖計畫

三、畜牛增殖計畫

四、水產事業の開發

五、朝鮮博覽會の開催

六、金、石炭鑛業の發展

……之を要す……

消費者に滿足　差益の增加

專賣局長　松本誠

……朝鮮置籍　の船舶……は登簿船舶數八百十六隻……數七萬七百十八噸で年々……加して行く朝鮮の海運の……多望であると思ふ。

電氣事業　方面は……洵に發達著しく、過去一年……電氣事業の創設許可數……火力七件、水力一件で……旣設の電氣事業者に對し……區域の擴張を許可したも……十八件の多きに達した……許可件數の激增は電氣利……次第に村落にまで及びつ……ことの證左と見らる……

◇……豫算……

煙草……

人蔘……

◇……差益……

開墾干拓……

歷史的に記念すべき年か
竊に期待してゐる

土地改良部長　松村松盛

……本事業……

水利組合……

本年內……

西村陽吉氏元旦吟詠

元旦の……このあしたまる……相……

謹賀新年

平壤府外船橋里
朝鮮電氣興業株式會社

平壤府西門通一二
中本商店
電話五二一番

平壤府大和町
藤屋本店
電話九八〇番

同
藤屋支店
電話六一九番

平壤大和町
大同館本店

同
大同館支店

平安南道价川
洪鍾萬
渡部一助
玉井要
藏重誠
齋藤一郎
李京根
小川清藏
菊地秀雄
杉浦武雄

德川警察署
職員一同

平安南道八代町
西鮮造林會社

平壤大和町
伊藤佐七商店

平壤
瀧原化學工場
平壤支店

平壤府櫻町
株式會社　平壤魚市場
電話三三一番

平安南道
孟山邑內無名會

中和郡廳々員一同

平安南道江東邑
官公署員一同

社團法人　平南レース倶樂部

平壤府幸町
水谷組
電話二五番

平安南道平原郡
永柔邑內有志一同

平安南道
順川警察署職員一同

平壤警察署々員一同

書の春

書の春　[illegible]道

――原法相筆――

病現象の減少を心懸けよ

法務局長 松寺竹雄

聖化四海にあまねく山川草木ことごとく恩澤をこうむらぬものなき君が代の春、瑞氣盈ち溢れ國威いよいよさかんなる時に當り、こゝに昭和十四年の新春を迎ふることを得て謹賀新年の意を表しますと共に、上下協心戮力奉公の誠を致し、ますます國運の隆昌を期することに努力することを要するはまことに國民當面の緊要事といはねばならぬ。◇

行政犯罪、賭博及富籤に關する罪、詐欺横領の罪、文書及印章偽造の罪、詐欺、横領罪、治安維持法に關する罪等は逐年増加の傾向を有し、其の他の犯罪に付ても餘り減少を見ないのである。犯罪は年一年と悪化し、社會の進歩と共に複雜巧妙となつて來たのである。又民事々件に付之を觀るに大正十四年一、七八一、五六四件、大正十五年一、九五七、六九二件、昭和元年一、[illegible]件、昭和二年二、二一六、七四五件にして、其の中第一審

民事訴訟事件 は大正十四年六四、二四四件、大正十五年昭和元年六六七、〇七五件、昭和二年六九、五三二件であつて人事、金錢、土地建物等に關する事件は年を逐ふて増加の傾向を示し、其の他借地、借家、小作關係、船舶、米穀等に關する訴訟事件も著しき減少を示さない、又其の質に於て極めて複雜なるもの多きを占むる様になつて來たのである。

◇……**過去** 三年間に徴するも右の通りであつて、これを數年前または遡くさかのぼつて創設當時に比すれば實に著しく增加の趨勢を示し、殊においても悪化を示してゐる、その原因としては一概に論ずることを得ないが、精神心の頽廢、經濟界の不況と失業者の増加並にこれに伴ふ生活の困難、近代思想の影響、家族制度の崩壞等による[illegible]の様に考へられる。

民刑訴訟事件の存在は或程度まで已を得ざるものとするも、斯の如きは社會的現象として正常なるものでなく全く病的のものと云はざるを得ない。勿論

社會の病的現象 は疾病が一般人類より離脱することを得ざると同じ様に到底根絶することを得ないのであるが、疾病が或程度までは人類の努力に依つて豫防し得ると同じく民刑訴訟事件の病的増加も或程度までは國民各自の自省自戒に依つて防止し得べきものと信ずる。

今上陛下におかせられて踐祚の大詔に際し下し給へる勅語に「内ハ即チ教化ヲ醇厚ニシ愈民心ノ和會ヲ致シ益國運ノ隆昌ヲ進メムコトヲ念ヒ」と

◇……**宣示** し給ひ、更に「爾有衆其レ心ヲ協ヘ力ヲ戮セ私ヲ忘レ公ニ奉ジ」と宣示し給はりたる次第であつて、一般臣民の如き自省自戒をも御觀へに相成りたる聖旨を拜察して恐懼感激の至りに堪へない次第であるが、この非常時局に直面しわれわれ國民は極力相戒め、相扶け、協力一致相譲り和親を計るの心がけたいと思ふのである。

のでありますが、近年著しくその影を潜め、昨年の如きは思想の林立およびプロペラ的思想事件を除いては殆ど其種の犯人を見ないのでありまして、被害程度も微温として皆無に近い狀態となつたのであります。

更に又鮮内各地に於ても數年來一部不平分子の秘密結社を組織し不穩を企て、共産主義の實現運動を計つたものがありましたが、[illegible]の檢擧を見たので、目的の貫徹は至難であるのみならず、彼等は或は一時の感情に驅られ或は他人の煽動によつて目的の果敢の結果も有の罪に問はれ[illegible]の者もありましたので、[illegible]

◇……**青年は** 思慮未だ定まらず、この種の事件は往々にして[illegible]

年に取扱はれつゝあるは慶賀に堪へないのであります。

◇……**範圍を** [illegible]

◇……**衛生上** [illegible]

官民一致協力を切に望む

警務局長 淺利三朗

昭和十四年の元旦を迎へ、更始一新、瑞氣みなぎりたる日出づる日本の隆昌を見るに[illegible]を深く認識し益々國防努力の感を深くするのであります。顧て鮮内治安の狀況を見ますると、近年治安の良化に伴ひ、統治二十年の治績に照らしても稀に見る良好の事態を見るに至りましたことは、一般の國民はもとより、あるいは國體觀念の一層の徹底と共に昨秋京城において擧行せられたる[illegible]の御大典に際しては、國民こぞつて[illegible]上において[illegible]もさしたる事故の發生を見なかつたことは偏に

◇……**御稜威** の然らしむるところでありましてひたすら感激に堪へないのであります。一般國民諸氏の協力に負ふ所亦尠少ならざるものあるを信ずるのであります。

つぎに國境地方は數年前までは匪賊頻に出沒して鮮内の治安を[illegible]することも一再にとどまらなかつた[illegible]

破邪顯正

昭和十四新春　一成

――宇垣大將筆――

朝鮮電氣「事業の將來」

京電社長 武者鍊三

曠古の御大典もつゝがなく執り行はせられ、國運文武の光輝をいたゞけるわれ等臣民の新たなる新年にむくひたてまつるの時節に昭和四年に際せなければならぬ。始政以來、正に二十年の歳月を閲したるわが朝鮮も時代進運の歯車よろしきを得たる結果、人文日に月に進み、年來朝鮮統治上の一大問題となつてゐた電氣の開發も着々として實施せられ、殊に最近においては[illegible]

十數の長時日を要したる、電氣事業は[illegible]三百九十六マイルの送電線も遂に昨秋全部完成し、これがためたゞに北鮮のみならず

◇……**全鮮** の電氣事業は一躍新時期に入つた觀で、今後北鮮電源の開拓に努力せらるゝに至るべきは甚だ明かなことである。この時にあたり、今秋、朝鮮總督府は統制のドに朝鮮電氣事業を統制せられひろく内外にその電氣の進歩を紹介し併せて電氣の開發に貢獻せしむる處あらんとするの企は、誠に時宜に適せるものと申すべきである。

ひるがへつて朝鮮の電氣事業を見るにこれまた最近數年來にいちぢるしき進歩の跡を見せてゐる。これは一面朝鮮の産業進歩の跡を示すもので誠に喜ぶべきである。即ちこれを十年前と最近の數字に比較するに

	發電力	投資額	需用家數
大正七年末	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昭和十三年上期	[illegible]	[illegible]	[illegible]
比較	七五倍	三五倍	三倍

しかしながら、これを內地の電氣事業の總發電力三百二十萬「キロワツト」投資額三十二億余圓といふに比較すれば非常なる隔たりといふも過言である。朝鮮の電氣事業の普及狀態の如きその

◇……**全部** を舉げて一名古屋市のそれに匹敵する位に過ぎぬ。けれどもたゞこれだけを以て朝鮮の電氣事業は微弱なりとして輕視さるべきものではない。われくとして大いに注意しなければならぬ事は朝鮮にはその國土の豊富に水力および石炭の如き動力資源が豊富にして、必ずや朝鮮の電氣が將來、電氣事業に飛躍せられて以て、今までとは異なる面から、一大進歩を見るの時機が來るであらうといふことである。即ち、新電源等に開發せられつゝある如く、鴨緑江水力の豊富なる、出力二百二十萬馬力、石炭埋藏量十數億噸と稱せられつゝある。この豊富なる資源を背景として電氣化、工業化は漸く盛にならんとしつゝある。殊に化學工業の電化、電氣化等も愈々盛んに行はるゝことであらう。その點においては朝鮮の電氣は全く今までの面目を改めなければならぬ時期に到達するのである。すでに今日その躍進の一例として咸興における朝鮮窒素肥料株式會社の十八萬「キロワツト」の發電所もその

◇……**一部** 約五萬「キロワツト」は今や殆ど完成しその電力は本年夏頃よりは總て朝鮮窒素肥料會社工場で人造肥料製造に使用することとなつてゐるのである。この種の事業の投資額および發電力を加へるときは朝鮮の電氣事業は資本金一億八千八百余萬圓、發電力卅九萬七千余「キロワツト」に達するのである。かくの如き大水力地點が陸續的に開發せられつゝある朝鮮においては內地の所謂電力の飢饉を踏まぬやう、將來遠ある資源の充實に努められなければならない。今後內地電氣事業の發展計畫は續々資金の調達によつて[illegible]

資額三十二億余圓はお互ひに銀行の結果二十萬にも三千萬にも無限な形態せる投資額を多く含み居るので、あつて、その[illegible]統制ある經營方策がたてられてゐたならばその二割五分即ち、約七八億圓は節約可能なりしといはれてゐる。これは國家經濟からいつても重大な[illegible]である。されば朝鮮においてもこの點に

◇……**留意** せられて、本年度事業には特にこの[illegible]も計上せられるやうに、妥當なる統制の樹立せらるゝも近きにあると信ずるのであるが、將來この種事業の計畫者は勿論、われくのみに當るものにありても再び內地の轍をふまざるやう特に資金に乏しき朝鮮においては總ての資金を經濟的に使用して朝鮮のための經濟的な電力開發とその普及に努力精進しなければならぬと思ふ

教育の普及充實へ

學務局長 李軫鎬

恭しく惟るに今上陛下踐祚の御儀を終させ給ひ、[illegible]御心を用ひて國體の精華を闡明し臣民を導き給ひしこと[illegible]

◇……つらくわが半島の現狀を考ふるに、明治大帝の御宇、日韓併合の際、明治天皇の内外に宣示し給ひし御趣旨とその偉業を繼承あらせられたる、大正天皇の御詔にも東洋の和平を確保し、半島住民の康福はいよいよ増進せしめんとする御趣旨を拜承したる[illegible]

惟ふに本年は京城帝國大學が其の第一回卒業生を社會に送り出すの年にして、これにより現行教育令による教育制度が下初等教育より上大學に到る迄完全に實施されたりと認むべき年たり。即ち明治四十四年初めて朝鮮教育令[illegible]

◇

この重大なる時期に際し新下の教育問題はもとより一にして足らざる[illegible]

止まないのであります。何れの方面の行政施設も同様であります。單に官の施設と努力のみを以てしては到底所期の目的を達することは困難でありますから、我が警察においても所謂民衆警察の本領に基いて官民の協力一致に依り時代の進運に副はんことを期したい次第であります

ひろく家庭の教育は[illegible]

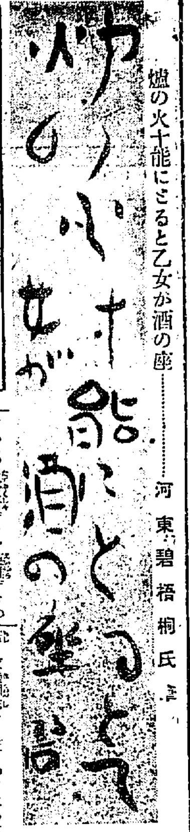
恭賀新年

海州中町 山上醫院 電話[illegible]
海州上町 高橋果樹園
土木建築請負業 迫口萬太郎 電話[illegible]
官衙御用達 鈴木金港堂 電話[illegible]
佐藤佳藏商店 電話五一番
村田小間物舖 電話一六〇番
海州北本町 杉森鐵工所
合名會社 西鮮精米所 電話二四五番
日新病院 朴[illegible]行 電話七八番
海州公立高等小學校 職員一同
竹田屋酒店 電話[illegible]
朝日醫院 醫師 裴秉斗 電話[illegible]
中央醫院 醫師 金潤玉 產婆 三浦イツエ
宇山道友會賣店 電話二七〇番
土木建築請負業 三上材木店 電話一〇五番
殖產銀行海州支店 永松統治

海州警察署 職員一同
海州府門外 辯護士 藤田幸二 電話一四一番
海州西門外 飯村農場
海州齒科院 電話二二一番
土木建築請負業 林慶助 電話[illegible]
楢崎金物店 電話二二三番
ペンキ商 海州北本町 丸屋商店
土木建築請負業 工藤金平
楢崎組海州出張所 電話一〇九番
度量衡及雜貨 中島茂三郎商店 電話一〇二番
海州醫院 韓宗洙 電話一五九番
河村商店 電話[illegible]
横山呉服店 電話一一番
海州本町 豊島雜貨店 電話一二番
眼鏡時計商 萬計三商店
蓄音器商 秋山優 電話二四九番
井川洋服店 電話二三六番
海州北旭町 紺田果樹園
和洋酒食料品雜貨 田邊眞一商店 電話二七番
精肉商 海州中町 片岡與五郎 電話一六九番
和洋菓子商 賞美堂 電話二五四番
國際通運株式會社 海州荷扱所 電話二二七番

樋口金物店 電話二六一番
海州無盡株式會社
海州南旭町 下中豊店
海州金融組合
平安北道立 義州醫院
義州郵便局
義州郡守 李明煥
副長 野本甚作
義州 池田商行
義州警察署 職員一同
新義州地方法院義州出張所 坂上輝夫
平安南道成川金融組合 大西捨松
平壤府明治町 三根旅館 電話[illegible]
平壤府南門町 アサヒ商會 電話[illegible]
平壤府大和町 江口支店 電話[illegible]
平壤府本町三二 株式會社 中平組 電話五四七・九七番

大邱金曜會
共榮自動車株式會社
慶北道廳 面事務所職員一同
慶北消防組頭 土居圓龜衛
慶北興海小學校 加納正雄
慶北尙州 米穀商組合
慶北聞慶 藤原久平
大邱 支那料理 群芳閣
大邱 土木建築工友會
大邱府村上町 弘中商會
佐藤金庫大邱支店 武田百藏
大邱東門本町 八木平安堂
慶北金泉郡廳 各産業團體 職員一同
大邱府大和町 米穀商 芳德商會 電話 長一七九・一八〇・四五三・二二六七
慶北 盈德官公吏一同
平安南道 成川公立普通學校 職員一同
平壤府壽町 大橋恒藏
新義州常盤町三 請負業 吉野組
新義州府本町四 表谷木材合資會社 電話長一四五番



爐の火十能にこると乙女か酒の座　……河東碧梧桐氏筆

内容的轉換期の現文壇

新居格

（一）

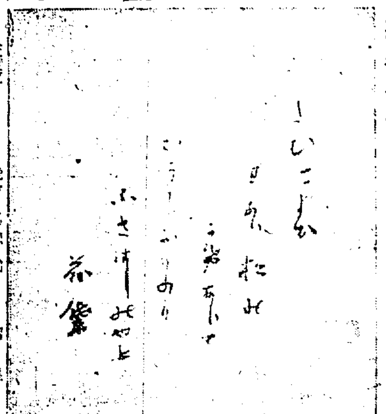
現在我國の文壇はいかなる狀態にあるか、それを論評するのが本稿の目的である。

まづいふが、我國の文壇も漸く大衆に觸接して來た、その尤も顯著なる原因は圓本の流行にはいたいしてゐる。從來の文壇作品は文壇又は準行本（多くすつて二三千部）によつて讀者に接してゐただからその讀者の範圍は從つて狹小だつた。しかるに圓本の流行は文壇作品の讀者をいちじるしくひろげたといへる。目下のところでは、圓本に押されて單行本は出版され難い狀態の下にある。しかしそれ……

田家の朝

白田亞浪

炉にふん込んでお屠蘇いたゞきにけり
山の中元朝の狼の啼する
餅の匂ひ元日の窓となりゆきぬ
初日照る枯生の畑は虫も出て
屠蘇の醉さます芒の枯れ殘り
枯草の庭にて羽子を聞いてゐる
元日の習還き枯草の家なり
　巳の歳といふに八またの大蛇を思ひ出でて
元日の夜ばなし出雲神話など
子供らよめでたがられて屁ずる
竹の間に初空の照らうつろひつ



田山花袋氏筆

……

恭賀新年

湖南線裡里　窪田好助	裡里旅館組合	裡里農林學校　職員一同	湖南線裡里　裡里木材商組合	湖南線裡里　今井精米所　電話二七番

全北任實郡任實面城街里　朴容萬	全北南原郡雲峰面　公醫　李仲珪	全北南原郡雲峰面西川里　朴定圭	全北任實郡任實面城街里　朴容碩	裡里材木商組合

淳昌郡淳昌面　申致述	淳昌郡淳昌面佳南里二七九　權炳默	全南潭陽　植田壽松	全北淳昌郵便所　江口舜一	淳昌郡淳昌面南溪里　永興商店主　朴進圭	淳昌　公醫　李海東	淳昌郡淳昌面淳化里　鞠眞晩	潭陽郡潭陽面客舍里二五　田在爀	潭陽郡潭陽面川邊里三〇番地　金城醫院　尹敬晧	淳昌面長　林麟周	光州郡光州面城底里一六四　權炳楚	全南潭陽　岡田廣志	淳昌邑內　林秉浩	淳昌郡淳昌面淳化里　直員　權炳憲	淳昌郡淳昌面淳化里　金東植	水北面長　高宗奎	潭陽面長　鄭湧寅
淳昌郡八德面長安里五五二　金仁性																

迎日漁業組合

慶北浦項本町　建築材料一切　磯部材木店　電話一一〇番
尾山材木店を繼承致しました相變りませず御引立を願ひます

慶北浦項仲町　爲仁堂病院　公醫　水上秀夫　電話四八番

慶北浦項本町　ノーリツ號ナイト號　慶北代理店　中村自轉車店　電話三〇番　振替釜三八六番

慶尚北道浦項仲町　各種印刷　啓文社印刷所　電話一〇六番

慶北浦項本町　雜貨商　山中伊三郎　電話一〇二番

浦項川口　梅本修　電話五十七番

慶北浦項仲町　和洋菓子　宇治銘茶　出雲屋　山陰特約　糀谷商店　電話一六八番

慶北浦項本町　藥料　森内文平

慶北浦項幸町　藥料　志方市衛

浦項青年團長　德山鎭象

慶北浦項幸町　迎日邑主　山本勇太郎　電話五一番

浦項本町　村田太陽堂書店　電話二一三番　振替釜三七九番

浦項　菓子商　山中秀月堂　電話一五番

慶北浦項前　米穀商　川口琴惠商店　電話一五七番

浦項公立尋常高等小學校　職員一同

慶尚北道水産試驗場　親睦會一同

浦項南濱町　田中貢

慶北浦項仲町　食料品　雜貨商　山崎永七　電話六十六番

慶北浦項　㊥蓮商店　石油株式會社特約店

慶北浦項　御料理仕出し　荒尾德一郎　電話一四五番

朝鮮慶北浦項港　米穀雜貨　船具漁具　原田商店　電話五六番

慶尚北道浦項港　迎日興業株式會社　電話五拾九番　振替口座京城七〇八二番

浦項本町二丁目　糖粉　雜貨商　合名會社　大上商店　電話二六〇番

朝鮮慶北浦項　株式會社　福島商店　電話一一五番　振京三八六番

釜山酒造組合
大典正宗　石橋酒造場
總督　井手酒造場
寒牡丹　原田酒造場
濱鶴　濱田酒造場
鶴林　西田酒造場
富久鶴正宗　永武酒造場
惣富士　村崎酒造場
蝶正宗　五反田酒造場
彌生　遠藤酒造場
松乃色　三好酒造場
大正櫻　清水酒造場
井筒不正宗　平井酒造場

超越セル馬山銘酒
朝鮮ノ灘

京城電氣株式會社
馬山支店
鎭海支店

鮮産代表
優良清酒

カタボンシ
馬山　原田酒造場　電話一四〇番

馬山府元町　朝鮮殖産銀行馬山支店
同本町二丁目　馬山派出所

馬山府元町一九九番地　株式會社　澤山兄弟商會出張所

於各共進會
最優等賞受領

イツヒラマサムネ
釀造元
馬山　平井酒造場

舊馬山　慶南精米所　清水儀一

鎭海　御旅館　松芳旅館

馬山府上南洞九六　馬山繰棉工場　同製綿部

京城府岡崎町六
相澤啓治
電話龍山一〇六六番

新龍山三角地
商友會

京城府太平通二丁目
大陸自動車
電話本局三〇〇八番

京城府明治町一丁目
御料理 末廣
電話本局一六六二番

京城府寺町
料亭 松華
電話龍山三二八番 九九二番

京城府南大門通三丁目
高瀨合名會社
京城支店
電話本局三三八番 三九番

林田金次郎

京城府本町四丁目
電料 ラヂオ商 河浪商會
電話本局一二三八番

京城府本町三ノ三〇
堀運送社
電話本局一九三二番

京城府太平通二丁目(電停前)
生そば 御料理 蓮玉支店
電本七八〇番

大日本人造肥料株式會社
京城出張所
京城府黄金町二丁目

㊉豐國セメント株式會社
京城營業所
主任 吉川宇造

京城煉瓦共同販賣所
京城府黄金町二丁目

朝鮮製絲協會

京城質商組合

朝鮮運輸計算株式會社
京城府古市町
電話本局一八八二番

京城酒類卸商組合

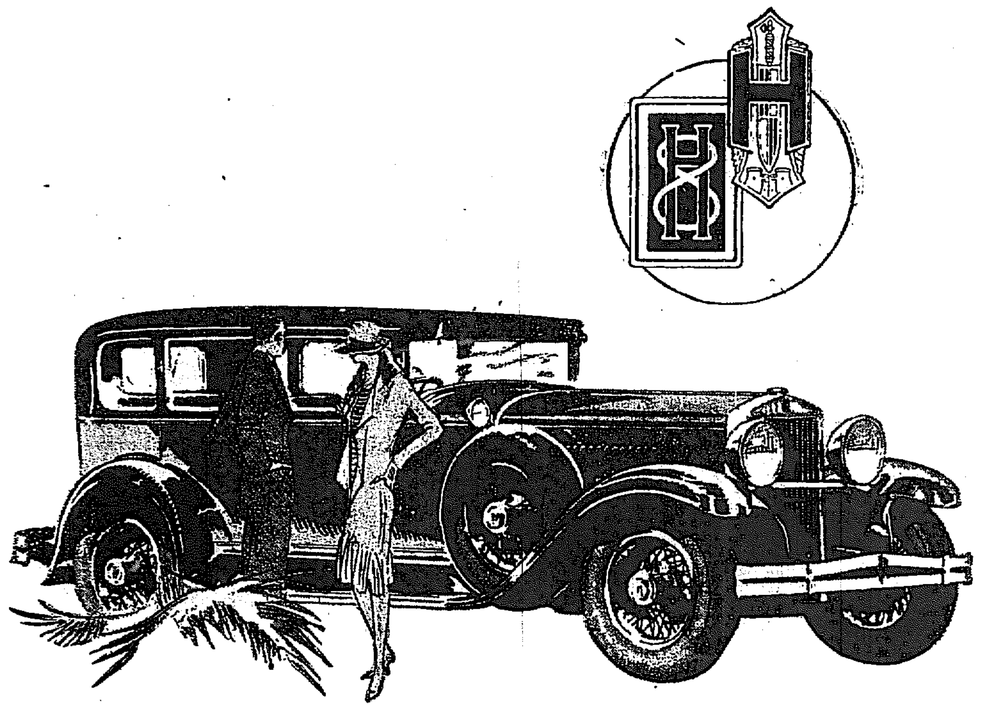
三井合名會社朝鮮農林事務所

京城醫師會

早川看板店
京城府黄金町三丁目

國際通運株式會社京城支店
支店長 竹井三郎

謹賀新年



ハップに召して常にハッピーなれ

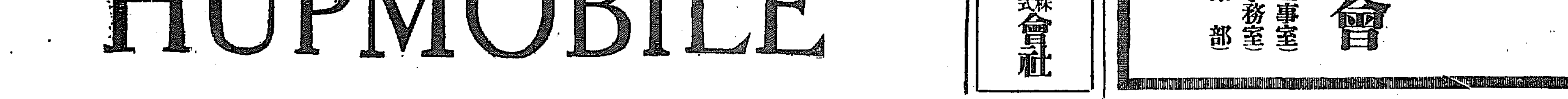
總代理店
京城黄金町四丁目角
日本自動車株式會社京城出張所
電話本局 一三〇一番 長三四二九番(自動車部) 三八四〇番(タイヤー部)
本社 東京赤坂 創立明治卅七年

HUPMOBILE

社團法人 朝鮮土木建築協會
電話 本局長一、〇八三(二階理事室)
本局長七 三五(階下事務室)
本局 二四六七(娯樂部)

東京火災保險株式會社
京城支店

京城穀物信託株式會社



京城日報 其四

映畫の魅力
素晴らしい宣傳力と人氣俳優の偉力

美しきマノン、レスコオその姿、ひと目、見しよりファビアンの胸はふるへぬ容の夜の灯火のごとく。」

それは最近ワーナー・ブラザース映作の名畫「マノン、レスコオー」のために、日本の詩人西條八十氏がものした詩の一節である。まことに、ドロレス・コステロ嬢の扮した美しいマノン、それからジョン・バリモア氏の演じた雄々しい騎士ファビアンの容姿に胸のふるへを感じたものは、全世界のモボ、モガ達であつた。映畫のもつみ力、これを誰が拒び得やう。それは時に思想にやうに人間の生活を變化し、またいに戰禍のやうな慘禍の…

時間を持合せない、さては近頃二代目ヴァレンチノとうたはるゝメトロ、ゴールドウインのラモン、ナヴァロ氏主演「紅百合」や「ベン・ハー」が如何に世界中のフラッパーどもを有頂天ならしめたかを紹介する暇がない。私はまた「チャプリン氏」について殊に一言するの必要を見ない。それから先達つてポーラ、ネグリ嬢が落馬して負傷したとのパリ電報を耳にして自分の女房の負傷以上に驚いた贔屓の多かつたに事實に驚異するさを演技の生命とするエミール、ヤニングス氏、水晶のやうな澄さ…

長い、いはゆるトルコ帽をその代りとして彼等に歐米帽を與へたのである。映畫はまた支那人の頭からぶたのシッポをやうな辮髪を除かねばやまぬ彼等はまんなかゝらピタリと分ける事がよりハイカラだとやうになつた、支那の豐體をひがめるであらう西歐人の熱度露はす他洋人や男女の接吻がの人々から離く離遠されんとゝある傾向は一體どこから來であらうか。

△　△　△

南米ブラジルでは昨今カリフォルニア式のバンガロー式が大流行それはハリウッドの映畫によつて宣傳された事實を見のがしてはならないそれから世界各國において水泳のプールが大概カリフォルニア式であることも不思議でそれについておもひ當たるのから二三年前の事、ロスアンゼルスの避暑地パデナの一富豪が宏壯な豪華なプールを映畫の中に出して來たことがあつた、するとその映畫を見てプールが馬鹿に流行つたといふフランスの一貌…

したローマンスから非常なるセンセイションをまき起こした米國映畫界の由田〔ママ〕十郎ジョン、バリモアと、映畫界稀有の美女ドロレス、コステロの結婚式は十一月廿四日ハリウッドに近い花嫁コステロの邸宅で擧行した旨を報じてある。實際、米國大統領クーリッヂ氏や國務長官ケロッグ氏の名よりも「海の野獸」や「ドン、ファン」を通じてバリモア氏の名が、それから「人生サーカス」や「百萬ドルの入札」を通じてコステロ嬢の名が如何により多く世界男女の間になじみ深いものとなつて居るであらう。そしてどの名畫にも夫婦役をつとめて來た二人の結婚がいかに興味多いニュースとして報ぜられて居る事であらうか。しかしそれは單に彼等二人の場合には限らないのである

△　△　△

私はここに映畫的魅力が男女を結ばせねばやまないパラマウントの人氣女優クララ、バウ嬢がいかに世界の映畫ファンから崇拜され、歡迎されつつあるかを説明すべき…

近い所で歐州大戰中田中義一閣下の名士達よりも遙にポピュラーであり、かつ映畫の與ふる一種の魅力を通じて世界の人心を支配しつゝある事實を誰が否定し得やうぞ。

△　△　△

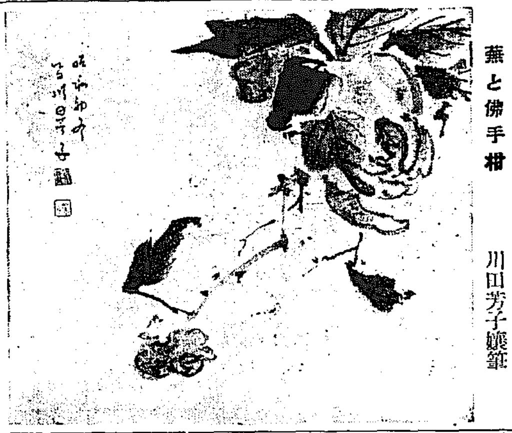
近い所で…の名を知らぬ子供達もかつて先生から日本で一番偉い人物の名を問はれて「尾上松之助」と答へた話は知られて「目玉の松ちゃん」は彼等の間に人氣があり、現在では阪東妻三郎よりも好かれてゐる少年がザラにある。そしていはゆるチャンバラ即ち劍戟が如何なる影響を彼等の頭腦に與へたかは教育者の解釋にお任せしやう、私は今さき述べたあのスクリーンの上に現れた總ての場景がいかに世界を通じて人類の日常生活の上に影響し、かつ支配したかについて少しく説述することを許されたい。

希臘に出來たモダーン床の由來

映畫はトルコ人の頭からあの…

○―マノン・レスコオの一場面

映畫は生ける型錄



薔薇と佛手柑　川田芳子孃筆

…には俳優の服や演技から影響を感ずる場合が多い。そして、いはゆる寸分の隙もない世紀紳士の間にパラマウントのアドルフ、マンヂュー氏の人氣が高いのも不思議なものである。かしこくも…

機關である。その思想、言語、風俗習慣を到る所に運んで行く。キネマを見る人々は其れによつて生けるカタログを提供されるワケである。從つて世界各國の生活様式は變化する。勿論或る意味に於て經濟にもなるであらう。其の善悪を取捨するの明を必要とするが、更によき物に對する要求を刺戟し人類全般の進歩に貢獻する事實を見逃がしてはならない。

發聲映畫の文化史的價値

映畫のもつみ力は今や誰一人として疑ふ者がない、それは嘲笑的にして馴染なるがゆえに或は誇大だしく評ばれ、或は機械にのみはれるそれは近代人のデリケートな官能を強烈に刺戟するがゆえに精神的光明の中裡に思潮的解禁が人間生活…

と述べてゐる。まことに映畫は一時的に精神的方面において世界中の生けるカタログである。殊に東洋の婦人達は西歐の映畫を通じて如何に思想的に開放されたか、これが隨に取る方面から如何に映畫がのろはれたか、それにも拘らず映畫は世界を通じておそろしい人類を呼びその魅力は人間生活を統一し支配せんとしてゐるのである

…に接觸しその溫情を受けることも出來得るであらう。工場主は各地の部下に最も有力なる命令を與へ、商店主は遠方の顧客に對し販賣品が最も巧妙なる廣告を行ふことの出來る。教會は國に精神界大立物をスクリーンの上に拉し來り其の雄辯と相俟つて偉大なる人格を髣髴せしめ十分に信徒を導くことも可能である。殊にトーキーの歷史的偉力は將來歷史のレコードを造り出し得ることであらう。若し今日の青年が彼のアブラハム、リンコルンのゲッティスブルグに於ける名演説を再び傾聽することが出來るとしたら其の結果は如何であらうか。吾々はトーキーに依つてさうしたレコードを作ることが出來る。そうして未來の人類は現代並に來るべき時代の偉大なる人物に直接接觸し得るのである。惟ふに古代と近代文明の根本的差違は通信機關の有無にあるや論を俟たずして明かである。而も如何の最大目的は遠距離に在る人間を接觸せしむることに存ずるのではあるまいか。して見るとトーキーは實に最上の通信機關と云はねばならない。何となれば偉大なる藝術家、教育家、宗教家乃至政治家のインスピレーションは彼等が亡いでもの出らるゝ場所から世界の隅々までも傳へられ、同時に未來永劫の世界の隅々までこれを移して將來の人類により高き文化と教養を提供することが出來るからである」

…見に角トーキーが世界の映畫界に非常な革命をもたらすことは論をまたないが、これによつて世界を驚かす映畫の魅力も又更に大に増加されることは餘りに明かな事實であらねばならない。

◇　◇　◇

…最後にニューヨークエヂソン會社の最近米國入ジョン、オッターソン氏が最近米國映畫界の大立物を歡迎した席上、トーキーの未來について演説し、その文化史的價値を暗示した項目を譯出してこの稿を終りたいと思ふ。

「將來の政治運動、商品の廣告、教育の普及及び各宗教の傳道方法はトーキーの發達によつて一變されることを要に譬つて置く。たとへば政治運動において民主黨大統領候補スミス氏は共和黨のフーヴァー氏と共にトーキーを利用する時、今日の如く各種の選舉旅行に多大の時日と勞力を費す必要がない。彼等はスクリーンを通じて米國全土に意見を發表し得るであらう、また學生達は居ながらにして世界の名士…

…ジョンソン、ラクエル、メラー、ユーマン、ハインクマリオン。メリー、ガートルード・ローレンス等々である。

巳年生れの映畫女優
マキノの部

寫眞（上から）河上君榮、住の江田鶴子、生野初子、水谷園子、市川春衛

河上君榮

出生地　【愛媛縣今治市小路】
舞臺經驗　ナシ
映畫經歷　日活を經て現在
處女映畫　日活作品「虚無僧」
自信ある役　悲劇のヒロイン

住の江田鶴子

好きな相手役　谷崎十郎
尊敬する人　牧野省三
趣味道樂　日本舞踊
好物　甘藷　お壽司
未來の希望　スターになりたし
宣傳部附記　ニックネーム「甘質丹」新春上映とその役名―「加賀見山」の沖の江。「笹大臣士」花代
出生地　京都市夷川油小路
舞臺經驗　ナシ
映畫經歷　マキノ御室撮影所
入社、處女出演…

生野初子

處女出演映畫　「どんど燒」（マキノ作品）
自信ある役　若へ中
好きな相手役　芝居させて下さる人
尊敬する人　九條武子
趣味　三味線、日本舞踊
好物　香ばしき物
未來の希望　良き夫を求めたし
宣傳部附記　ニックネーム「若者」新春上映とその役名―「加賀見山」花笑。
出生地　久留米市日吉町
舞臺經驗　十三才の時…

水谷園子

市川春衛

新年文藝　一口噺

課題「蛇」

一等

京城黄金町三ノ三三四　宮崎　笑坊

甲「辯天様は蛇の化身だそうだ」
乙（投作）「ハヽ、アそれで不忍池で蛙の聲を聞いてゐるんだな」

二等

京城明治町一ノ五四　金光大明人

甲「テメー用心しねーと蛇見た様な彼女たよ」
乙「そうだら卷きついて離さねいや」
甲「くそ撲ぐるぞ」

三等

黄海道載寧郡三江面青山里　平岡　丘陽

五つの弟「兄ちゃんへビを出してごらん」
兄「なに蛇を出せつて」
五つの弟「でも兄ちゃんは走る時へビーをよく出すとお友達がいつてたぢやないの」

佳作

京城本町二ノ三　池邊方　奧村　鶴舞

物識り帝國へ一蛇を投げ込んだ暴れ者があつたとよ」
村の若者「驚く事はねえ俺が家の馬の脚にはいつも蛇がからみ着いて困ら」

京城櫻井町二の一八一　石井　初雨

稍々足らぬと定評のあるA曰く「最蛇で何のことだい？」
同僚のB曰く「例へば君の妻君が歌子さんの聲をしてゐるとするよ、すると君が得意になつて歌子さのことをしやべつて燒かれるが如しさ」
A曰く「これは恐れ入つたね、その歌子と言ふのが君の妻君と似てるるよ」
「つとく」

謹賀新年

海州公立第二普通學校　職員一同

黄海道立師範學校　職員一同

海州北本町　筑紫旅館　電話一八番

萬代龍助商店　電話二九番

海州電氣株式會社　電話一六六番

海州南本町　海雲堂寫眞館　主張　致遠

海州公立高等女學校　職員一同

海州公立第一普通學校　同　公立工業補習學校　職員一同

海州面職員一同

海州郡廳　職員一同

朝鮮煙草元賣捌會社　海州支店

海州南本町　海州食堂　電話一五二番

海州南本町　料理店　一山　電話一四番

指物洋家具　河野松吉　電話一七九番

海州南本町　笹屋旅館　電話一三番

海州北本町　料理店　福乃家　電話二四番

黄海道立海州醫院　職員一同

黄海道種苗所　職員一同

海州南本町　織居自動車部　電話一三一番

海州刑務所　職員一同

黄海道農會　職員一同

延安溫州水利組合　安岡莊藏

黄海道金融組合聯合會

海州中町　垣内購買會　電話二六五番

黄海道々友會

海州郵便局　職員一同

黄海道金融組合　理事一同

黄海道廳　食堂員一同

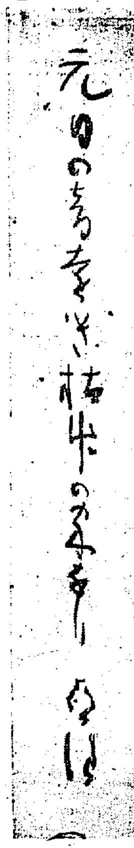
黄海道土木協會

海州北本町　寺尾組松田寛　電話一〇八番

池田寫眞館　電話一七九番

一山内藝妓連　一助、金彌、一駒、琴代、菊蝶、琴次、春駒、豆千代、仲居たね、とみ、ひさ

福乃家内藝妓連　力松、茶良子、玉吉、富勇、愛長、たつ奴、ゝ一、小福、濱子、松丸、おもちや



元日の音遠き枯草の家なり

臼田亞浪氏筆

新春氣焰錄

田山花袋

時代は移る

時代は、つねに動いてゐる。世間では谷崎潤一郎とか、久米正雄とか、まだ騒いでゐるが、ホントウの文壇の勢力は、もう若い人達に移つてゐる。

横光利一とか、十一谷義三郎、或は大衆物などといふ人が、めきめき頭をもたげて來た。

みな相當に勉強してゐる。淵ッぺらな通俗物などを書いて滿足してはゐない。眞劍な創作的良心を以て、力作を發表してゐる。

その作品を通して見ると、何となく底力がある。その底力に、池寛君はをされてゐる形だ。

同じ時代にたい頭して來た人でも谷崎潤一郎などといふ人は、別だん大衆にもこびず、節を守つて、自分の信ずる途に精進してゐるところが面白い。作品もいよいよ洗練されて、何等かの新味がないものはない。例へば東京朝日に出してゐる『蓼喰ふ蟲』なども、みがかれた作品である。現れて來る人物の描寫や、第一題材などにフレッシュなところがある。

文壇にこゝろざす若人達は、勉強しなければ駄目だ。

宣傳は面白くない

まだ一般的には新米のチャンバラ式の作物が歡迎されてはをる。また、そんな通俗の流行ものを書けば、高い原稿料を取る事も出來やう。

しかし、それが文藝作品として價値があるか、どうかといふ事になれば別ものである。いくら大きな名前で宣傳されても、心ある者から見れば、おのづから、判斷がつく。

ホントウの作家は、世間の評判なンて、そんな問題とはしてゐない。

自分が創作欲に刺戟されて、作するところを書くのである。他人が、どう見やうと、それはこつちの問題でない。

もし、自分の作品を、自分で宣傳する者があつたら、それは醜態すべきものである。私は營利を主眼としてゐる者でも、自分で自分を宣傳するやうな人は嫌ひだ。

××社の××君見たいに自分の社から、自分の成功談をかいた讀物を出して宣傳させるなどといふ、あんな態を見ると、その人がいやになる。

貧乏は恥辱だ

勿論、人めいくに、個性の異るごとく人生觀も、社會觀も違ふのであるから、私は別だん左樣な人々に文句をいふ必要を認めない。自分は自分の信ずるところに生きればよいのである。

けれども、數ら生活のためにでも、私は自分の良心にそむいた仕事はしたくない。

世間には、流行ものに筆をそめたら、忽ち成金になる事が出來るなどと、雜誌にいふものもある。然し、われわれに取つては金は第二である。作家としての良心を保つ事が第一である。

また世間には、貧乏を看板にしてゐる作家なども少くない。『食ふに困るから、何でもやる』と、よくいふが、聞きなぐりをやられたり、ゴマ化しをやられたら、讀者の方で迷惑するであらう。第一『相當の年になつて、食ふに困る』なンていふ事は、はづべきものである。ひそかに方法を講じて、他人に苦しいところなどは見せたくないものである。

先達て、讀賣新聞へ行つたときにも或る人が『先生はよく談話を作られるがこれを書いてもらつては何うですか』と勸めてくれたが、私は『へたな物をうつてまで生活費を働く必要もない』といつて斷つた。自分の生きて行く道はチヤンとある。わき道にそれる必要もない。

兎に角、貧乏を看板にするなンて事は面白くない。

歡迎は有難迷惑

旅行して、一番困る事は、無暗に歡迎される事だ。また新聞記者などの包圍をうけることだ。

旅行は非常にありがたいが、旅行して靜かに考へる時を奪はれる事が最も惜い。滿洲や朝鮮旅行などでも、いたるところで、歡迎攻めに會ふことは、言ふに言はれぬ苦しい事である。旅は自由に、自然にまかせて歩きたいものである。――談――

新年文藝

俳句

題『雜煮』　臼田亞浪先生選

一等　京城大和町二ノ二九　庄司鶴仙

雜煮腹えんがはの日によひにけり

二等の一　咸興工業學校探鑛冶部內　砥上榮寺樓

雜煮祝ふ子繭ホに臑れやめず

二等の二　京城大和町二丁目官舍　赤松松女

雜煮膳いつもながらの二人きり

三等の一　京城龍山池洞　柳田鹿鳴

雜煮腹雪を蹴上げて門出づる

三等の二　清津內務省土木出張所內　巴　冬城

雜煮祝ふやかぎろひ明くる海見えて

三等の三　京城太平通片倉生命內　名取岳水

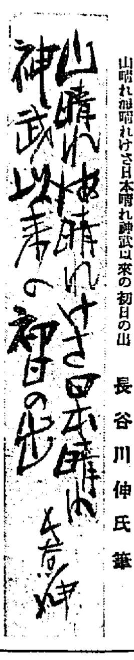
雪の窓ひそやかに雜煮とりけり

三等の四　釜山府廳內務係　野口白茄

雜煮の陽氣の障子に籠る幸思ふ

佳句

雜煮腹のどかにのぼる山のお日　釜山　勝田くに
雜煮腹あたたかくあがりたり　同　野口白茄
雜煮腹ぬくとき汐の聲聞きぬ　同
雜煮祝ぐや朔となる灯の滲み切つて
まどかなり初の灯かげにほぐ雜煮　同　風間掬山
お雜煮や足らひし心いだきつゝ　金堤　國宗淺女
雜煮祝ふどの子も眼まろくて　京城　中川痒留
雜煮餅嚙くに忙しき耳かも　同　寺田光春

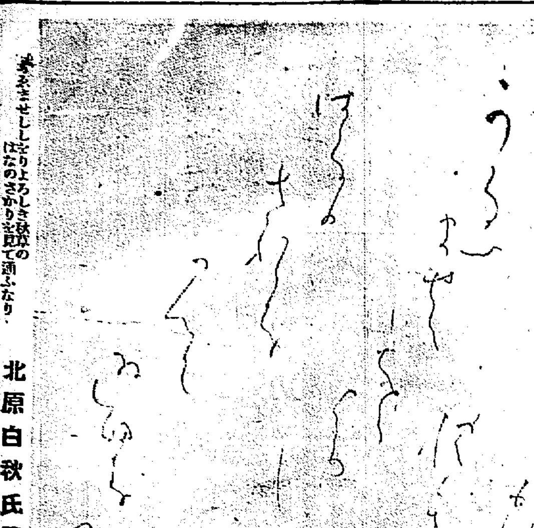


山晴れ瀨晴れけさ日本晴れ神武以來の初日の出

長谷川伸氏筆

雜煮祝ふや草のなぞへにしまく雪　清津　巴　冬城
雪さらく雜煮の箸に降りかかり　瑞興　酒井映波
雜煮の卓小鳥が鳴いて日ざしよく　京城　小川サダ女
風渡める雜煮の椀に山見えて　同　阿部波津代
堅氷く雜煮の膳につきにけり　仁川　岸本以棧
旅の雜煮ひとり風きゝにけり　京城　酒井波奈子
お雜煮祝ひ晴戸幾りに端りたり

雜煮祝ふ夫婦の膳も十とせ越し　京城　赤松鳴潮
雜煮の窓お日がさして來し　同　赤松松女
顏の皺氣にする夫の雜煮かな　同
部屋がきちんと掃かれし中の雜煮かな　同　齋藤東仙
子と二人數䉤の餅を數へ炊く　同
移り住む荷も解かざるに雜煮かな　同　荒本銀糸
父似母似みな子で雜煮たべてゐる　同　宮武北留
血の流れ靜かに雜煮箸をとる
落付きし雜煮の膳や夜勤衆　瑞興　酒井ゑい波
お雜煮や表を商る七味賣
朝雜煮雪吹きつける窓硝子　京城　有賀流東
雜煮腹子が帶解いてゐたりけり　同　小川サダ女
朝の化粧終へて雜煮の親となる　同　堀田鹿鳴
母も子も亡くて雜煮をかぶりけり　釜山　勝田くに
鷄の喧嘩見てゐて雜煮腹すきぬ　京城　石火
子等の顏そろへて雜煮あたゝかき　京城　瑞山道夫
曲にしみる今日の寒さや雜煮餅　同　阿部波津代
雪の朝雜煮の背戸つみにけり　仁川　岸本正越
外は小雪の障子明りに雜煮かな　京城　酒井波奈子
雜煮祝へぼそゝろに母の偲ばれて　慶尚道　桃紅
雜煮祝ふ火の大椀のとろとろと　釜山　新井硯石
孫の顏雜煮の椀に隱れもす　春川　木內保樹
數へ子も來て雜煮の卓の賑はしき
老架や雜煮の餅の性よくて　龍山　照崎桃村
京の戸や雜煮の湯氣の明け籠り　京城　高井不左
お雜煮に居ならぶ子等よ大人びて　忠南　大賀明女
窓明り雜煮に並ぶ箸もなく　龍山　羽間辰誠
一餅數を妻に問はれし雜煮かな　全南　原　醇
雜煮餅父喉佛張り在はす　海州　和風女
山の物町の物雜煮うまかりし　京　高木金子
雜煮祝ふや幼兒も小さき膝まげて　京城　鶴友
膳の光りうれしも雜煮食ふ　京城　杉本蒋夫
雜煮餅は洛にからまるとろけざま　光州　原田貢三郎
御あかし冷えし雜煮にうつろへる　宣川　岩尾破舟
寺山房も招きて雜煮食ひにけり　池東　香茶
舟のゆく窓によりけり雜煮　釜山　侑
今朝の雜煮子樂しくなりにけり　光州　濱崎由太郎
雜煮腹あぐらして話りつきず　平安　星野越洲
幸祈る此心雜煮たべにけり　咸興　稻葉一蝶
雜煮焚く圍爐や軒の雪　金泉　小塚一抜
雜煮足る雪のしづれを聽きゐたり　同　松澤京二
雜煮腹ひたりて身離し凝まらんか　安東　海峯
關の春の醒む雜煮の座なりけり　仁川　河內木堂
お雜煮の湯氣おだやかに日が當る　清州　雙蝶
雜煮ぬくし椎ちゆんちゆん樹にきて　新幕　橫山時風
雜煮待つ間鉢草の寄さみてゐたり　京城　阿部榮
雜煮著しかと掘りし乳の兒よ　海州　片岡奧都子
朝の雜煮菜潤冷たく匂ひけり　京城　庄司鶴仙
雪さらく旅の雜煮のわびしくて　同　庄司信子
雜煮炊きながら日の出拜むなり　同　堀江信子
ねざめの窓紅しろく雜煮匂ひする　同　名取岳水
二番の兒雜煮のしびれ切らしたる　同　堀　慈劍
雜煮腹障子たくこもりたり　京城　阪部曉成
雜煮腹日かげを追ふて座を移す　同　原　栄峰
雜煮祝ふ朝の日のなごやかな　同
雪となる街や雜煮の湯氣白く　同　村田桃醉
雜煮祝ふやゆるき入舟とりもして　同　岩永沈汀
雜煮祝し湯氣に曇りし眼鏡拭く
お雜煮やはるけく掌祈り　同　松澤京二
同じ思ひにお雜煮祝ふ妻と我と
雜煮の湯氣にみあかし寒うなり　新幕　橫山時風
醉ひしれし舌に雜煮のうまかつし
雜煮たらひし浸逆へて眼をつぶる　元山　兵藤冷花
厨口に汐が流れてゐる雜煮
妹の袖抱きかかな雜煮膳
末の子の箸おぼつかな雜煮膳



うすあをせししりよろしき秋草のはなのさかりを見て通ふなり

北原白秋氏筆

新年文藝　童謠

一等　『ユキ』

平南江東小學校一年生　平山春子(七歲)

ふるふるゆきが
まつしろなゆきが
はなのようなゆきが
ふつてくる
がくからにいくのに
うれしいよ

二等　『僕』

京城西大門尋常小學校五年生　森　碩

ロウソクは燃へて短くなつて消えるとあたりは、みんな暗くなつて眠る。お姉さんの人形も、お兄さんの木も、僕の木の兵隊もみんな暗くなつて眠る。
たゞ時計は眠らない。
もつと大きくもつと速くひよくんだ。
僕の心は音はたてないが時計よりもせつせと勉強して、ロウソクのやうに消えて暗くなりはしない。

三等　『指』

平南江東小學校六年生　金三德(十三歲)

長いの太いの小さいの
仲よさゝうに指と指
ストーブに、
みんな默つてあたつてる
もしも口が利けたなら
どんな話をするだらうか。」

秀逸

瓜の晩　滋賀縣神崎郡村中小路　山田平一郎

今夜はお風がひどいので
小さな火鉢は寒いから
早う寢床へ入らうか
夢は誰でも溫かい
蒲團にすくみ思うこと
お庭の銀杏落ちるだろ
お山の栗も落ちるだろ
明日は天氣が良いだらう
父さま、母さま早うお起ね
みんな一つの部屋に寢て
ぐうぐういびきかく時は
栗も銀杏もおちるだろ

汽車　仁川公立尋常高等小學校　二學年二組　磯永秀雄

ぽつぽつぽつと
汽車が來た
雪のお山やトンネルを
通つておにもつ
つんで來た
昭和四年の元日と
僕らのお年を
つんで來た

雪　忠淸北道沃江公立尋常高等小學校　第六學年　長迫　巴

雪こんこんふつてきた
ちらちらふつてきた
はねくふつてきた
おどりくふつてきた
雪こんこんふつてきた。」

冬になつたんだな！　京城古市町三九　得井　溜弘

木がみんな
裸になつたな
雀が
チツトも來なくなつたな
煙突が灰色だな
冬になつたんだなー

天ぷら　京城東四軒町四八　大原和貞

おいもと魚の
天ぷらは
母さまつくつた
天ぷらよ
僕は一番
大好よ

仔犬　京城師範學校附屬普通學校　李　恒九

一、かぜも動かない
くものないそらの光が
だまつてゐる
こんもりしげつた
あかしやぼぷらの木の陰
小犬は
遠くからおつかけて來る
二、すみわたつたあをぞらに
お日樣はひよつこりと
笑つてゐる
あゝ氣持のよい秋
景色のよいもみじのこかげで
小犬は
寂にしそうに遊んでゐる

夕方　大田春日町一丁目　井上　勇

からすがないた
日が落ちた。
母ちやんごはんだいよ
ふろわいた。
おさうぢすんだ
皆寄つた。
たのしい夕飯
はじまりだ。

謹賀新年

仁川本町(電話七一四)　一心組
仁川龍里　沈宜淑
仁川宮町　西洋料理　東洋軒　電話五一九番
仁川宮町　青島茶店　電話七〇九番
仁川山手町　御料理　うろこ　電話六八番
仁川本町　株式會社　北島藥店　電話二三四八番
仁川本町　中華樓　電話四一五・九五七
仁川物産組合　電話四八
仁川寺町　藥種　芝モト　電話四一八番
仁川宮町　料理仕出　三福　電話一七八番
仁川海岸町　米穀商　松浪秀雄　電話一七〇
仁川山手町　土田文次郎　電話九五〇番
仁川支那町　中華商務總會　電話四四九
仁川松坂町　橫山要次郎　電話一〇七九
仁川仲町　原金旅館　電話三三
仁川海岸町　庄野支店　電話五四番

仁川支那町　仁川水產株式會社　電話二八六番
仁川府海岸町　木村組　電話三一番
仁川府新町　松画石油組合　電話七一五番
仁川府山手町二　梶谷寫眞館　電話八八二番
仁川府仲町　淺岡旅館　電話五三番
仁川府海岸町　回漕業　野口商會　電話二四番
仁川府京町　朝鮮鹽業株式會社　電話七七八番
仁川支那町　黃承壽
仁川府本町一丁目　運送業　大和組本店　電話三六八番
仁川　大和組支店
仁川府本町三丁目　原平次郎　電話三六六番
仁川艀船貨物取扱組合
仁川府本町二丁目　吉岡久　電話二二八番
仁川月尾島　遊園會社　電話七二〇
仁川府木材商組合

京城本町　平田百貨店　電話本局四四五〇番
平田旅館　電話本局四四五〇番
京城府黃金町二丁目　東京建物株式會社　京城支店
京城府南大門通一丁目　中山洋紙店　電話光化門一三四一番
朝鮮土地經營株式會社
京城齒科醫師會
京城府明治町二丁目　英國製エール毛糸全鮮一手販賣　セーウル毛糸店　電話本局二七九番　振替口座京城一三七三番
京城府大島町一番地　合資會社　福壽洋行　電話龍山一六四六・一七八番
京城府漢江通十三番地　天然氷製造元　灘屋　電話龍山六〇八番
練兵町　廉賣所一同
飯島寬一郎　朝鮮總督府
京城府明治町二ノ七二　パン菓子製造元　木村屋
京城府黃金町一丁目　合資會社　山岡時計材料店　電話本局二三四八番
マキノ映畫朝鮮總代理　京城府黃金町二ノ八八　サクラバ商會　京城出張所　電話本局長四〇六二
京城府本町一丁目　旅行用具　高木鞄店　電話本局一三四・二五四番
京城府黃金町二丁目　古河電氣工業株式會社　京城出張所
花園町公設市場
京城消防組

朝鮮京元線鐵原驛前　輸出入商　金剛商農社　電話一五五番　振替口座京城一四八五二番　電略號(コン)又(ハ)　滿洲粟、精白米、拔玄米、及雜穀
鐵原　旅館組合　山口屋　日之出旅館　九州屋
鐵原邑　長田洋服店　電話六五番
鐵原邑　御料理　柳屋　電話一四一番
江原道平昌郡　佐藤熊太
江原道平昌邑內　魯城館
江原道　伊地知幸吉
江原道寧越邑內　日用雜貨　野瀨商店
增田嘉一郎
藤原八十
江原道平昌邑內　平昌旅館
平昌營林署員一同
江原道　寧越警察署職員一同
江原平昌　地家清一
江原道寧越邑內　福田金之進
北青　文化株式會社　電話四四番
咸鏡線新北青驛前　咸南自動車商會
鐵原　中央倉庫運輸株式會社　社長　小宮山八郎
鐵原組運送店　店主　上坂宇八
鐵原　土曜會
田北齋豐
中村藤福
次虎孫
夫雄次豐
元山府本町三丁目　ブラク綿製造發賣元　湯澤綿行元山支店　電話八〇七番　主任　石原桂造　外社員一同　本店　廣島市愛宕町
日本共立火災保險株式會社　資本金五百萬圓　京城出張所　原錦吾　鮮內代理店所在地

え―竹　中村歌右衛門丈筆

歌舞伎研究に眞劍なドイツ

【雁次郎の渡歐に際して】

醫學博士　佐多愛彦

歐洲殊に日本の藝術は歐米各國で相當研究されてゐるやうですが、研究態度の最もまじめなのはなんといつてもドイツでせう。たとへば羽左衞門の觀方など日本では見拔ひにしてゐるうちにドイツでは焼き方、彩色などを研究してその色合から、持ち味から、一點から、名工福右衞門の作品と識別も違はないものを描き出してゐます。繪畫にしても徳川時代の影響を受けたいはゆる繪の繪が最近のドイツ繪畫を風靡してゐるやうで一流畫家の内には浮世繪のもつ獨特な味をひくために日本紙を使ひならしてゐる人すらある位です。こんな風ですから無論

日本固有の　歌舞伎劇などはドイツの人達にとつて殊にも研究したいものの一つに相違ありません。これは私の眼なる思想ではなく、現に私が昨年ドイツに遊んだとき、あちらの劇場經營者、劇作家、舞踊監督、一流俳優などから是非一度日本の歌舞伎劇をドイツの舞臺に上演さるやう取計つて貰ふと懇請されたのです。それでなくても私は何時か機會があれば我國の歌舞伎劇をドイツに紹介しやうと思つてゐた矢先ですから渡りに船と早速あちらの專門家と相談の上、具體的なプランを立てゝみました。その結果が昨年の十月やかましく傳へられた雁治郎の海外興行を生んだ譯で上演期および興行方法は脚本家のワルター・ブレーム博士の提案により、本年五月、ベルリンの五萬人劇場で華々しく蓋をあけフエストスピール劇場も借り出

一流俳優の　劇場ともいふべき新装の劇場に二三日間の日本歌舞伎デーとさしはさもうといふのです。この案はエタケルト博士の肝いりで演劇協會長のツオルフ博士も興行協會長のホルツキヌき氏も快く了解してくれた上、ベルリンの興行が済めばツイツナを振出しにしてハンブルグ、ドレスデン、ミユンヘン、フランクフルト、ケルンと主要都市の劇場係迄まで心配してくれました。たゞ問題は繪畫の一座で、雁治郎、鴈助を主體とする魁車、長三郎、扇雀の一座に合方、鳴り物、道具方背景畫家を入れて一行五十人、往復一ヶ月、興業期間一ヶ月、見物日數一ヶ月の三ヶ月として給料、旅費滯在費でざつと十五萬圓は見積らなければなりません。これをドイツ側が悦り引受けてくれゝば話は一も二もなく決するのですが問題なことにはドイツといふ國が

二十二の　劇場でなり立つてゐるだけに各土地々々の劇場人はあつても三ヶ月間を通じて保證する人が見當らないのです。で結局これはベルリンならベルリン、ミユンヘンならミユンヘンと興行地の代表者が舞臺で獨立して或る一流興行者が一時金を立て移ることになるでせう。そうなれば松竹の白井氏としても立派な經濟的後援劇團があることだから安心してドイツ行きの一座を仕立てることが出來る譯です。この經濟保證についてはゾルフ大使が極力盡力してくれることになつてゐますし國際問題としてドイツの劇場經營者も日本歌舞伎の興行價値を充分認めてゐるので話は間違なくまとまるはずです。一寸考へると經費が掛らないだけに自然興行の足もにぶり勝ちだらうと思はれますが、これは全然心配のないことで、寧い話が支那の梅蘭芳や梅蘭芳が

日本に來て　も斯れるやうな入りがあるやうにドイツでもイタリーやロシアの劇團に何時も大入りを見せてゐます。それに日本の歌舞伎の忠臣藏、朝顔日記、寺子屋などは向ふで幾通りにも翻譯されてゐるし昨年ハンブルグ大學教授のフローレンツ博士が譯した寺子屋をハンブルグの劇場に上したときなど、數日間大入を續けた位です。まして正眞正銘の日本の歌舞伎役者、それも日本の劇壇を代表する名優の演出に人氣が湧かぬ道理がありません。向ふでの出し物は、矢張り忠臣藏、寺子屋、朝顔日記、總若といつたものに何か新作を加へてそれを押し通すことになつてみますが、何しろ雁次郎もすでに七十の老齢ですからそのときの健康が許さない場合は羽左衞門を相手とする一座、これに萬一支障のあつた場合は新人錦之助一派と鴈二郎一座の陣容をとゝのへて臨いて

この機會は　劇藝術にはづさない積りです。かうして我國の藝術がいよ／＼この五月ドイツの空で絢爛たる大歌舞伎の舞臺面を描き出すとしてこれがドイツの劇壇へどう反映するか、どんな暗示を與へるか、こゝにわれ／＼は力コブを入れたいのです。昨今のドイツ劇壇は新ロマンチックのあとをうけていくつかの新らしい流派を掲げてゐます。ミユンヘンにおけるウエデキントのいはゆる惡魔自然主義をはじめ新古典主義、新價値主義、表現主義いづれも耽美、快樂の調子を恐ろしいまでに高めてゐるのです。然しこれも北歐劇壇の歐化藝術の影響を受けて徒らにうごめき續けるに過ぎないので結局は行き詰つてゐるの一語に盡きてゐます。即ち今のドイツの劇壇藝術は何か大きな轉機を欲してやまないのです。わが歌舞伎劇のドイツ進出こそ彼等にとつて何より大きな刺戟に相違ありません。

る幻想的演劇美といふ言葉はわが國の歌舞伎劇を見てはじめて肯けるものでドイツ新興劇壇の旗幟である怪奇、古典、端麗、表現などわが

歌舞伎劇　の舞臺藝術に外ならない　のです歌舞伎特有の女形にした處で假優の技巧によつてあくまでも理想化された女性の美的表現であり。荒事の男性、和事の姿態、時代物の型、所作事の舞踊いづれも新古典主義であり、表現主義であります。一例が『紙治』をだすとしても惡性に紙と白の屋模樣の御花に黄の下着、時持ち縞の節々帶に黒繻子一本落して淺黄の手拭に頬をつゝんだ紙治郎の治兵衛の出姿など、ドイツ新劇壇に大きなショックを與へ浮き世繪そつくりの幻想的表現味いひ換へれば新價値主義ですまして『時雨』の舞臺面における時平、松王、梅王の動靜、演技、衣裳すべてが怪奇であり表現主義であります更に荒事と世話物の二つの形式をぬれ場と殺し場の大きな手法で表現して行く藝術的な舞臺面にドイツの人々は未だかつて味はざる藝術的陶酔に浸ることでせう

耳そうじ……水谷八重子繪

新しき演劇へ

昭和四年への期待

左團次の渡露

左團次のロシア進出、羽左衛門の渡歐、松助の死、幸四郎の十八番問題、築地小劇場の新藥、等々と回顧すれば昨年の劇界は外面的に深い思ひ出の深い一年であつた。中でも左團次一座の渡露は豫てから企てゝゐて未だ實現出來なかつた問題であつたゞけに最もセンセイショナルな事件であつた。左團次の發傲的な態度や大谷松竹社長の骨折で、これが實行され、しかもロシアでは豫想外の人氣と歡迎を受け、歌舞伎劇の海外紹介の目的を最初に果すことが出來たのは、何といつても歌舞伎の誇りでもあり、わが劇界の大きな誇りでもあつた。

しかし、新しい組織の下に、新しい演劇を建設しつゝあるロシアの民衆で、左團次一座の歌舞伎から果してどんな印象を受け何を學んだであらうか。日本の歌舞伎が、その舞臺の上に現代の社會生活を少しでも反映してゐるであらうか。否、全くそんなことは問題にもされてゐない。相も變らず封建時代からの傳統をそのまゝ受いで、昔のまゝの脚本乃至はその演出を扱む以外、焼き直し物が全盛を極めてゐる。それならばロシ……のは何であつたらうか。いふまでもなくそれは劇の思想的内容よりも形に現れた様式美であつたに相違ない。さればこそ日本劇の左團次劇がロシヤにおいてあれほどの盛況と人氣を博し得たのである（寫眞は左團次）

歌舞伎の生命とその將來

長い間の傳統によつて磨きに磨かれ一つの完成された美を持つ様式これこそ我歌舞伎の眞の生命でなくてはならぬ。左團次を喝采したロシヤの民衆はこゝから何を學び彼等自身の演劇にそれをどう表現して行くか？これは頗る興味深い問題であると同時に、われ／＼としても歌舞伎のもつ固有の様式美を如何にして新しい演劇に取り入れて行くかといふことは今日以後の日本の演劇を語るものに取つて、重大な問題となるのでなければならぬ。この意味から云つて日本の歌舞伎がいつまでも千代萩や忠臣藏や近松ものにばかりくひついてゐなければならない理由は毛頭ない。まして幸四郎の十八番問題なぞは問題になるべき性質のものでさへないのである。

歌舞伎の飛躍

昨年のメモを繰つて見ても、いはゆる歌舞伎俳優に屬する人々のうちにこの點に目ざめて新しい方向を求めやうとする努力は容易に知ることが出來る。即ち猿之助一座の『吾輩は猫である』がそれだ。また羽左衛門は師匠團十郎として觀察條物『命辨明』を演じた。左團次には改作『博多小女郎浪枕』があつた。傳統を固守する中にのみ生命があると盲信して來た歌舞伎者にとつては非常な飛躍であつたといはねばなるまい。しかもこれ等の演劇は新しい大衆即ち觀客の支持を得て相當の成功を收めてゐるのではないか。この飛躍は昭和四年度において更に大きな期待を持つことが出來る。

澤正と築地小劇場

映畫の新劇と並んで一時興行界の大衆に君臨した澤正の立廻り劇も今日では隔世の感がある。時代を知るに鋭敏な彼、澤田正二郎は昨年度においても『うるさき人々』『白野辨十郎』『源氏物語』等々に絶えざる精進を續け更に今年への期待を持たせるに充分であつた。新劇の方では多年『東西文化の融合』としての役を努めて來た築地小劇場がその所生第一の上演として『國性爺合戰』を演出した。これは新劇團ばかりやつて來た築地が『新しい國劇』を開かんとする過程に入つた最初の試みであり、試みであつた。その効果は評するものによつてとりどりであつたが、あの古今東西の音樂を思ひきつて混用し、新舊演劇のあらゆる技巧を誇張つて取り入れ、しかも極めて面白く見せてくれたことはすくなくも未來を暗示するに足る試みであつた。ついで築地小劇場が演出した久保田萬太郎氏の『大寺學校』、里見弴氏の『たのむ』にもかつて見られなかつた忠實なる舞臺と熱烈な演技があり新劇の將來に多大の光明をなげるものであつた。

所謂新派の大合同

伊井、河合、喜多村、井上、花柳等のいはゆる新派劇も昨年はかなり印象の残る仕事をした。いつまでも『己が罪』を『ほとゝぎす』で時代離れのした涙を無智な、取り殘された觀客に強いてゐた時代は去つた。殊にこの新派の人々の大合同は昨年後半期の劇界にかなり希望をもたせたが、その出し物の選擇には困つた。たとへ興行主の下劣な趣味とそろばんだまからはじき出されたものであつたにせよあの『昭和忠臣藏』は何といふ情ない芝居であつたか。斬新な大合同の意氣も新時代への努力も、芝居そのものがあれでは、一切水の泡といふものだ。敢てこの苦言を呈して光明の途につかんとする新派大合同の前途に期待を持たう。

觀客の審判

さて以上述べ來たつたところによつて、昭和四年劇界がどんな方向を目指して、どんな進展を見せるかは、ほゞ見當がついたやうに思ふ。夜は明けたのだ。だが道は遠い。われ／＼觀客大衆はこの劇壇の前途に大きな興味と希望をつなぐと同時に、正しい批判と監視とを忘れてはならない。何ゆえならば今更いふまでもなく劇藝術を無視して劇壇は存立することが出來ないがゆえに、觀客の求むるところは直に舞臺に反映するからである。かくて觀客の無力は直に劇壇の無力となり、大衆の低級は直に舞臺の低級となることを思へばわれ／＼の苦言と誇りの爲めに、われ／＼はよき演劇を生まねばならない。よき演劇の存在はとりも直さずその國民の文化の誇りであることを深く肝に銘じて忘れてはならないのである。

恭賀新年

慶北果物組合長　大野庄三郎

慶尙北道 慶山警察署　中山郁之亮　外職員一同

慶北高靈警察署　愛友會

慶北高靈　久野逸三

慶北高靈公立普通學校 校長　豊川能夫　外職員一同

慶北金泉 小學校・普通學校　職員一同

慶北金泉 郡守　田代佐次郎

慶北金泉　高崎平吉

慶北金泉面長　笹猪之助

慶北金泉　中川自動車部

大阪商船馬山代理店 朝鮮郵船馬山代理店 株式會社釜山商船組　馬山支店　電話三四九番

馬山 銘酒 總督　井手酒造場

馬山府 銘酒 大典正宗　石橋酒造場

馬山本町一 材木商　材木店

馬山元町　松原早藏

馬山高等女學校　職員一同

馬山　望月旅館

馬山府本町三丁目 木材商　目加田商會

馬山郵便局　職員一同

慶尙南道立　馬山醫院

海軍御用 和洋菓子製造卸　相川商店　電話釜山三五一

御旅館　橘館

割烹　土井伊太郎

株式會社釜山商業銀行馬山支店長　平田友一

潭陽郡潭陽面南山里一五〇　鄭相鎬

潭陽驛前精米所　辛泰煥

淳昌郡八德面淸溪里三四四 參事　朴昌燮

淳昌 道評議員　金仁斗

潭陽郡潭陽面紙砧里一四六 中樞院議官　鄭容駿

潭陽郡潭陽面客舍里一三九　鞠龍鎬

潭陽郡潭陽面川邊里　金炳晙

淳昌郡茂林面栗陽里　李行元

淳昌郡淳昌面淳化里四五八 前主事　申升休

全北淳昌郡住南里　權炳逸

慶山郡廳職員一同　慶山郡各産業團體職員一同　慶山水利組合職員一同

醴泉各官公署職員組合會

全北任實郡任實面城隍里　晉在宣

湖南線裡里 タシロ食堂　田代林平　電話二五四番

裡里驛前　青木堂

全北南原郡雲峰面 雲成商店　朴鍾珍

全北南原郡雲峰面　朴仁蕉

全北任實郡任實面城隍里　晉在璜

全北任實郡邑内　晉在頎

全北任實郡内城隍里　金琮熙

全北淳昌郡淳昌面淳化里　申仁休

全北淳昌郡淳昌面淳化里 參議　金英武

全北南原郡雲峰面東川里　朴順祥

全北雲峰面　朴禧沃

裡里木曜會

裡里五月會

裡里醫師會

湖南線裡里榮町 各種自轉車並に附屬品卸小賣商　上岸自轉車店　上岸儀造

裡里三十日會

京城府明治町 東京 大阪　美粧倶樂部　田中なを　電話本局三七二七番

京城府西界洞一九四 土木建築請負業　當房組　組主 當房有次郎　電話龍山七八九番

朝鮮書籍印刷株式會社

謹賀新年

元山警察署 署員一同

元山府本町四丁目 岡崎スポーツ商會 電話三〇番

元山府旭町一丁目 株式會社 昭和商會 電話一二九番

元山府旭町一丁目 龜谷商店 電話一〇一番

元山府旭町二丁目 合資會社 村谷商店 長電話三四番

元山府本町一丁目 杉村正治商店 電話五〇九番

元山府仲町二丁目 明治屋 電話二五七番

清水勝美

元山仲町 つるや洋品店 電話二〇一番

酒長 元山本町

咸興刑務署元山支所 所員一同

元山本町三丁目 堺屋時計店 仲町 堺支店

德源郡廳 職員一同

元山稅關支署 署員一同

元山驛構内 水月待合所 電話六〇三番

元山府 小泉商店石炭部 小泉商店海産部

元山仲町二 毛利陶器店

元山府町四丁目 いろは自動車部 後藤今五郎

森井佐右衛門

元山府本町二丁目 御料理 五月 電話一五四番

古屋保貞

橘高鞆之祐

元山營林署 職員一同

元山輪業組合 元山本町四丁目 中尾商會 元山仲町二丁目 牧商會 元山本町二丁目 愛輪商會 元山本町四丁目 佐子商會 元山本町四丁目 藤本商會

元山旅館組合（いろは順） 花屋旅館 巴館 大東館 升元 丸金旅館 丸屋旅館 赤田屋旅館 愛知旅館 ゑひめ館 さつま旅館 世久家旅館 九州館 三河屋旅館

朝鮮銀行元山支店 殖産銀行元山支店 十八銀行元山支店 商業銀行元山支店 東洋拓殖株式會社元山支店 韓一銀行元山支店

元山府本町一丁目 木本芳輔商店

元山府洲洞六番地 木本精米所

元山泉町 御料理 ○よし本店 上田宗太郎 電話六二・一五〇番

元山府旭町三丁目 咸鏡南道機船手繰網組合 電話四五一番

元山府廳職員一同

元山畜産組合職員一同

元山公立商業學校 元山公立中學校 元山公立高等女學校 元山公立尋常高等小學校 元山公立第一普通學校 元山公立第二普通學校 元山公立尋常小學校 職員一同

元山無盡株式會社

元山商業會議所

朝鮮元山本町三丁目十九 飯山喜三郎

元山運送組合

元山郵便局 職員一同

國際通運株式會社元山支店 國際運輸株式會社元山支店 朝鮮郵船株式會社元山支店 元山酒造株式會社 元山倉庫株式會社 元山水産株式會社 元山水力電氣株式會社 朝鮮煙草元賣捌所元山支店

平康 小林丹藏

平康 竹崎自動車部

福溪營林署 職員一同

平康公立普通學校 職員一同

高城警察署 矢岡爲十郎

江原道高城郡公立小學校 職員一同

平康金融組合

京元線鐵原邑 鐵道醫院 黃衡老 電話五四番

京元線鐵原邑 藥種化粧品商 五島商店 電話一五〇番

京元線鐵原邑 食料品雜貨 中下商店 電話五八番

京元線鐵原邑 精米業 間瀨敬吉商店 電話一一五番

江原道高城郡鑑津 株式會社 角輪組漁撈本部

江原道洪川公立普通學校 古賀五一 同 南宮灼 同 洪川郡明德公立普通學校 林忠之 同 洪川郡瑞石公立普通學校 山原嘉一 同 洪川郡化村公立普通學校 小川紀六

江原道洪川郡廳 張永翰

江原道洪川郡廳 木下倩事 島田末吉 綾野熊藏

江原道洪川警察署 田中義次 清水千太郎 佐藤鶴松

江原道洪川郡 洪川郡廳 勸業係職員一同

京元線鐵原郡仲町 和洋紙文具商 關東印刷所 主 柳榮益 電話二一六番

京元線鐵原邑内 金剛印刷合名會社 電話四六番

京元線鐵原 李致善

江原道 高城郡廳 職員一同

金剛山 森安武

江原道洪川邑内 平位信義

江原道洪川郵便所 芥川敬三

江原道洪川金融組合 八木彦一

江原道洪川邑内 知識仁之助

江原道洪川森林保護區 藤原鐵司

江原道洪川邑内 洼田末松

江原道洪川 洪川旅館

慶北保寧金融組合 竹林規矩夫

慶北大東醫院長 崔宇煥

慶北 慶州警察署 東仲兵衛 外職員一同

慶尙北道 慶州郡廳 産業團體 職員一同

馬山 益雪旅館

馬山 長代商店

馬山府 上原作一商店

馬山 常盤旅館

魚常

鎭海 御料理 春の日

鎭海 醫師會

鎭海 福岡屋旅館 電話一八九番

鎭海 恒川忠助

鎭海 戌申會

三浪津 森田屋旅館

大邱 山根初太郎

大邱府 平櫛九一

慶尙北道 果物同業組合一同

大邱 布村重次郎

大邱府 鄭海鵬

大邱府 大八無盡株式會社

大邱府 岸寫眞館 電話五二八番

大邱 徐丙朝

大邱府 大一精米合資會社

大邱郵便局 職員一同

慶北達城郡廳 職員一同

大邱 黑川圓治

大邱醬油組合

大邱 坂本俊資

大邱府東本町六六 古賀煉炭所

大邱府 自慢家

大邱府 共同物産商會

大邱府東門町 黑川兼市

大邱府東城町 林辰商店

大邱府北内一九 高木昌治

大邱府元町一丁目 志村長平

大邱 ミカト食料品店 主 青木吉

慶北 湯本規矩

慶北高靈酒造株式會社

慶北 鄭雲爽

慶州 田中寫眞館

慶州醸造株式會社

慶州面事務所 職員一同

慶北慶州 崔義鐘

慶北興海面 職員一同

慶北興海 中村鶴吉

慶北 山岡旅館部 同自轉車部

慶北 服部商店

慶北九龍浦 鮮海漁業株式會社

慶北九龍浦 日鮮組出張所

慶北九龍浦 旭樓

慶北金泉郵便局長

慶北蠶種業組合

大邱穀物信託株式會社

大邱穀物株式會社

慶尙北道 金融組合聯合會

慶北善山十五日會

慶北永川官公吏一同

大邱府七星町 朝鮮麯子製造合名會社 電話長九八〇

慶尙北道々立 大邱醫院職員一同

大邱府東雲町 棟居酒店 電話八二四番

大邱府内 初等學校職員一同

大邱府東本町一丁目 酒類釀造業 片木屋酒店 電話五五一番

大邱無盡株式會社

大邱旅館組合

慶北漆谷郡廳 同、産業團體 職員一同

京城日報 其五

日本婦人の歩むべき道

高群逸枝

一

眼かな織物、きらめきのぼる太陽の光りの中から、とくに際立く唱へたことは、『婦人よ自覺せよ然して、婦人として自覺する前にまづ日本婦人として自覺せよ』といふことであります。

『領布ふらすも大和へ向きて。』と歌つた大狭手の昔から、『降るアメリカに袖はぬらさじ。』と言き殺して自殺してはてた維新の侠妓にいたるまで、『日本婦人』としてのある意味における自負心はもつてゐた。

然るに、封建時代が崩壊して、資本主義の時代に進入つてからといふものは、あらゆるものが國際的になり、世界的になつてきた。これは自然の勢ひであつて、否むべきでもなく、否まれもしないことであるが、その國際的、世界的趨勢に、いかなる意味が伴ふてゐたかといふと、西洋第一、歐米崇拜の意識であり、傾向であつた。

その結果として、わが國の婦人達——男子も——の間には、もはや日本婦人としての自負心などゝいふものは全く消えうせ、かへつてさういふことを、非國際的、非世界的な考へであるとし、歐米化をもつて現代婦人のあゆむべき道と考へてゐる風すら見らるゝやうになつてきた。

大衆作家の白井喬二氏が、『富士に立つ影』といふ小説を書いてゐられる。あの中に、お八重といふ女性が出てくる。その女性が西洋人の宅をたづねる。玄關の石段を上つて、玄關口の呼び鈴を押す。それだけ、職業的な動作が彼女には何か非常な高尚な行ひのやうに思はれ、何ともいへない誇らがましい氣持がされたと書いてある。呼び鈴を押したり、長椅子にもたれたり、洋食を喰たりすることを非常に立派な誇らかなことのやうに思つてゐるものがある。さういふ婦人達は、あらそふて西洋の習慣とか風俗を知らうとし、少しでも間違つた洋食のたべ方、洋服の着方などをすまいと心がけてゐる。

歐米人もまた、さうした日本婦人の心がけを當然だとし、間違つた洋服の着方や、洋食のたべ方を日本婦人がしてゐるのを見ると輕くいふ。

此の間、或る晩餐の席で、一人の可なり有名な西洋婦人が、同席の日本婦人に向つて一場の訓戒をしました、親愛なる日本婦人よ。と彼女は云つた。『あなたのフォークの使ひ方は、可なり珍らしいものであり、それにもまして、あなたのドレスの着方は非常なものであります。私はさう云ふことをなさるあなたを、あなた御自身のために、あまり好ましいことではあるまいと心配いたします』

此の日本婦人達は、この忠告を、直に受け入れたと見えて、眞つ赤になつて俯向いてゐる。そこで私はいつた。

『親愛なる西洋婦人よ。御忠告をありがとう。然し、あなたが日本食をなさるところを拜見すると、箸の使ひ方といふものは珍らしさを通り越して、寧ろ一つの喜劇であります。それにもまして、あなたのキモノの着方といふものはまたドレスの上にハッピイを羽織つた姿などといふものは、全く非常識そのものです。私もまた、あなたと共にさういふことをなさるあなたをあなた御自身のために、あまり好ましいことでないと心痛する次第ですが、然し、より國際的であり、より世界的である私どもとしては、さういふことのすべては、各人の自由であつて、それに對して、何か固定的な見方をする種族が、もしあるとするならば、それは、私ら自由人の目から眺めますと、全く氣の毒な封建時代の種族としか思はれません。』

私はかういつて、西洋婦人のブルジョア意識をわかつてやつた。實際、私どもが、西洋の食物を食べようと、支那、あるひは南洋の食物を食べようと、それは私共自身の自由であり、さういふ食物を、どういふ風に消こなさうと、それもまた全く私共の心次第であつて支那の食物だから、支那の習慣に從はねばならぬ、西洋の食物だから、フォークでたべねばならぬなどといふことはない。私は西洋の食物をはしでたべる。そのため彼等からわらはれる理由はない。好ましからぬことなどと忠告される必要はない。私は獨立的な、自主的な態度でのみ、あらゆるものをとり入れる。私は西洋婦人でもなければ支那婦人でもない。私は日本婦人であり、それでまた十分婦人である。

二

日本婦人のあゆむべき第一の道はすなはち日本婦人としての獨立的な、自主的な生活態度に始まる。

この際、これからの後の日本婦人が國際場裡における日本婦人としてよりよく進まねばならないことであります。

眞に獨立的、自主的な自覺に生きるものは、おのれをはづかしめもしないし、他の優れる正しさを認識して、それへつくことができる。のみならず、かへつてそれを世界的に主張することさへできる。私は日本婦人を氣の毒がつたり、あはれんだりしてゐた西洋婦人にむかつて『親愛なる西洋婦人よ。必要以上には御心配くださるな。それどころか、日本婦人が、自らの思想で、あなた方西洋婦人を克服する時がまいりはしないかと、私は思つてゐますよ』といふことを忘れない。

この頃、支那を見て歸つてくる人達、それも極めて保守的な人達までが『支那婦人は偉い』といふ。『とてもその進歩的な活躍さ、痛快さはたのもしい』といふ。支那婦人と向ふにゐる日本婦人とが何かの聯盟でいつしよになるやうな時、日本婦人はいつも支那婦人にリードされるし。その日本婦人の卑屈な樣子や、不活潑な動作、あるひはまた不認識とでもいはうか、その實際的な認識に缺如してはすこしの興味も、熱意ももつてゐないやうな風は、全く三大強國はおろか、五大強國の婦人とすらいはれない。はるかに支那婦人以下であることが一目でわかる、などといふ。

かういふ話をきくと一部のしかも有識階級の日本婦人達は少しもためらはず、それをそのまゝ受け入れる のみならず、己れ自ら卑屈にいはゆる活潑輕快であらうとする。それが文明國婦人たるゆゑんであると考へる。彼の女達のかうしたわるくいへば追隨的、よくいへば無批判的な態度は十分ほめてよいことかも知れない。然し一歩退いて『はたして、さうした意味で活發的であること、活潑で輕快であることなどが、直に優秀であり、その反對の性格が、たちどころに低劣であると斷定さるべきであらうか。』と考へて見ることもまた必要ではなからうか。

私は日本婦人に『負けぎらひ』であれとはいはないが、確かな思想と正しい自負心の根據によつて物ごとを批判し取捨するやうにとすゝめたい。

この意味において、私は寧ろ『光は東方より』といふことばの通り、東方婦人の日本婦人が、その傳統と環境によつて、潜在的に培ひ來つた『いまだ知られざる』然しその實私どもの中に確に伏在してゐる獨自のものを、世界的に輝かす時は今ではないかといふ氣がする。すべての西洋的、ヨーロッパ的、アメリカ的生活態度に追隨せず、日本婦人獨自の本質を深くほることによつてのみ、かへつて日本婦人は、より世界的、國際的でありうるのではなからうか。

私は日本の婦人に、西洋歴史や風俗にのみ熱中せず、今こそ新しい意味において、日本の歴史、殊に日本婦人に關する歴史を研究されるやうに希望する。

そこには、かの我まゝなアルテミス女神、多淫なヴイナス女神、ヂュノー女神などといふヨーロッパの女神の先祖達に比べて、遙に理智的な、優秀な女性の多くを見いだすであらう。支那には楊貴妃、西洋にはクレオパトラといふやうな、外國の多くの代表的な『絶世の美人』といふものに比べるときわが國の代表的な『絶世の美人』はどうであらうか。衣通姫、小野小町かうした女性達は、彼の國のそれに比べて、全く感情的ではない。主觀的ではない。

かういつたからとて、私は何も日本婦人に、特殊的な絶對性を認めるものではない。否、それを認めたとしても、さういふ性質は、地理的、もしくは自然的、社會的關係によつて生じたものと考へる人類の文明は西南部にはじまるその西南部の諸國は熱帶部である熱帶部にある人々が、より多く感情的であることは當然であり、それに反して、北方の寒冷な自然の中に住み、朝日夕日さわやかな國に生まれた日本女性が、より多く客觀的な智的な性質をめぐまれたことは、これまた當然といはねばならない。

三

ヨーロッパの男達は、貞淑と温順の女性を嫌つて、心臓の女性を求めつゞけた。その結果はどうであつたらうか。『女性といふものは本來性慾興味以外のものではない。さういふものに對して、われ〳〵は餘りに多くのものを求めずきたのだ。』と、ワイニンゲルやショペンハウエルをしていはせてゐる。然しもし彼等が日本女性を認識することが出來たならば、そこには彼等のあこがれのまとである心靈的な多くの女性を見いだしたであらう』

日本女性の特徴は客觀的であること、そして客觀と主觀とがすなほに結びついてゐることである』

高いところ、あるひは深いところ、世相をうち眺めてゐるやうな、それは悩ましやかな、といふ言葉が現すよりは、もつと超脱的なもの、それは夕日を受けた丘の上の一本の松のやうな、客觀的な姿だ。

狹井河ゆ、雲たちわたり、畝火山、木の葉さやぎぬ、風吹かんとす

といふ歌を口ずさむ私どもの胸には、蒼白い狹井河のほとりに、その夢の如くに住みわびる婦人の姿が想像される

八田の一本菅は獨居りとも大君し、よしと聞さば、獨居りとも

と歌つた婦人は、戀人のもとを遠くはなれて、八田の野に立ち枯たが、そこには何と多くの意味があることだらう。かういふ女性はわが國の歴史の中には、限りなく多い。彼女達は、決してたゞに寂しくのみ日を送つたのではなく、一抹の悲しい心、それが彼女達をして、世の中を客觀し諦觀させたのであつた。

この意味において日本婦人は、より多くそれを超越した世界に住んできた。といふものは、奈良朝から、平安朝、鎌倉、室町、戰國時代とくだるに從つて男性のみにくい武人や政治家等は婦人の前に、醜態を勝手に、殘虐的にあるひは利巧的にやりとりした。そこには人と人との、生々した、愛と愛との交渉がなく、したがつて戀の時代は消えて行つて、權謀の世界のみが、これに代つた。

それゆゑ、わが國の婦人は、戀愛の實現を十分備へてゐたにも拘らず、否、備へてゐたればこそ、古代をもたなかつた。

それかといつて、日本女性の心靈の美が失はれることはなかつたので、いよ〳〵かの女達は孤獨であり、あるひは又孤高であつた。

私達は、引田の赤猪子、小菅の閭、祇王祇女、靜御前などといふ多くの物語り——わが婦人達が、語りつぎ、語りつぎして心の糧としてゐる多くの物語りを思ひ出すそして、さうした女主人公の殆どすべてが、前にいつたやうな、孤高の世界に住んでゐる婦人達であることを思ひ出す。然も感傷的でなく心靈的な婦人であることを。

この心靈は古代においては、生々と、そして調和した國の婦人達を擁してをり、記紀や萬葉集などに見えるやうな、多くの朗かな文學を生んでゐる。そこに現れてゐる生活は、眞に生々とした自由なものであつて、唯物的な、主我的な押しの強さといつたやうな感情的な肉體的なものではない。

然し時代が進んで、社會環境が女性を壓迫しだしてくると、生々とした生活の代りに、孤高的なものとなつてくる。たとへば平安朝の文學はどうであるか。平安朝文化と、ヨーロッパ中世紀の文化とはいろ〳〵な意味で似よつてゐるといはれてゐるが、かの國の中世紀の女達と、わが國の平安朝の女達とを比べて見るがよい。かの國の中世紀の女達は、宮廷詩人のよい加減な、うまい作り話を、あれこれと噂のたねにしたり、思ひ上がつたりする無智な人達であつたが、わが國の平安朝の女達は、平安朝文化を背負つて立つてゐるほどの秀でた文學的、心靈的な素質の持ち主達だつた。

閨の中が、色をあさる公達の、ものずきなあそびに踏みあらされてゐたにも拘らず、女性の魂の汚れてゐる樣子はない。魂は物の本に餘念がなく、明け方には、きのふの呼分のために、いたましくもあれはてた肉體を、うつとり眺める、愛斯的であつても肉にさうであるのではない。肉體的であつても魂はけがされてはゐない。さうであればこそ偉大な文學が、女性の手によつて生みだされたのである。かの國の中世紀文學には全然かの國の女性は寄與してゐない。否寄與し得なかつた。それほどかの國の女性の魂は無智であつたが、わが國の平安朝文學は、まさしく全然女性によつて代表されてゐるのである

かういふことは、一面においては、その時代の客觀的事情にもよるであらうけれど、その根本をなすものは、終始一貫してゐる精神上の富、わが國女性に、より多く與へられてゐる心靈的な美の然らしめるもので、この心靈的な美、換言すれば、感情的でなく、主我的でなく、智見的で、客觀的、な特性こそ、またさらにそれが生むものない愛、調和等の特性こそ、日本婦人獨自のものであり、且つ、今後にありては、世界婦人を指導すべき使命と資格をもつものであります。

崇高な女性、心靈的な女性、それこそは日本婦人の傳統が指し示すものであり、たゞ從來の世界婦人を一變する基礎となるものであります。

四

戀愛に淫し、性慾に淫し、母性愛に淫するやうなことは、それ自身明かな過失であります。人間以外の生物は、盲目的な本能の作用によつて、淫することが不可能であるやうにされてゐる。婦といふことは知性の進歩的な過失である。性が自己を本位に動くときにのみかゝることが起こる。そこにいくと、日本婦人の智性は、全然觀的に、客觀的に、主觀的に目ざめてゐる。もしくば目ざめやすい素質と立場をもつてゐる。

從來の戀愛思想は、ヨーロッパからきたもので、したがつて主觀的なもしくは一方に偏したものであつた。が、いまや日本婦人の生々した智力、大なる客觀が、さういふ自己中心の戀愛を打破し、戀愛を作爲や不自然から救ふときがきたのであります。

單に戀愛のみでなく、あらゆる物に對する批判、もしくは態度などのことごとくを、唯物的平凡主義〈資本主義精神の殘滓〉によらず精神的客觀主義に基づいて考へるやうになるであらう。今後の世界的新興の精神は、まさしく日本婦人の内に潛んでゐるものと合致するのであります。

かういふ性情の持主であつた日本婦人は、おもひ切つて利己的でありうる西洋の女性にくらべると謙がうすいやうにさへ見えることがある。愛はまけるといふことがあるが、愛の所有者は、しば〳〵あつかましい、押しの強い種族や人間の中では、まけたやうにも、卑屈してゐるやうにも見える。しかしこれは決して認むには當たらない。また自ら低く考へるにもおよばない。

日本婦人が支那婦人にくらべて輕快でなく、活潑でないにせよ、一概になげいたり、悲觀したり、まして見すぼらしいなどと卑劣な考へを起す必要はない。さういふ人々は、長い目で見てゐるがよいいまに日本婦人が、いかに獨自のそして朗かな思想と態度によつて今後の世界を席捲するかを。といふと少しうぬぼれが多すぎるやうであるけれど、さうであればあるほど、日本婦人は、まづ日本婦人としての自主的な正しい自負心に目ざめ、それに基づいて、あらゆる知識、思想を取捨し、眞の意味における進歩的な態度と、限りなき自由の精神とを以て眞に當たらねばならない。

『われはやまとの女郎花』と、よく昔の婦人は歌つた。それと今や新しい意味において、私どもは再び高く歌へるであらう。或る自ら時代の先端に立つと稱してゐる一派のごとき、郷土心を目のかたきにしてゐるものがある。郷土心の否定および揚棄によつて彼等は完全な國際主義が成り立つと考へてゐる。だが、國際などといふ言葉そのもの、それは何を意味するかそれはある一個の國家主權を、他の多くのそれらとの關係を意味してゐる。そして、ある國、ある郷土は風俗や、習慣や、環境から決定されてゐるあらゆるものを有してをる。

たとへていへば、日本民族は貴なる皮膚及び日本語から決定されてゐる。かくの如きものは遠い將來にあつては、或ひはにびるであらう。たが、それだからといつて現在既にさうである、或はさうであれといふやうなことは云はれない。多くの觀念論者は、ある普遍的現象が全てであるやうに思つて足元をかへり見ない。ばかりでなく足元のことを口にするものを矢たらに非世界的、非國際的なもののやうにさへいふ。

然し貴なる皮膚や日本語と共に、あらゆる傳統や環境からきてゐる内面的な郷土性もしくは郷土心の存在は、今日において確な事實であるし、事實であるからには、それを正しく肯定し、そしてそれから出發しなければならない。『日本婦人』としての自覺はすなはちそれに外ならないのであります天眞爛々として、我等慄すの勇にあたり日本婦人のあゆむべき道として私はいさゝかその一端即ち——まづ自負せよ。然る後にすべてはある。』といふことを述べました私はわが親愛な日本婦人姉妹にむかつて眞に燃ゆるやうな熱意と敬愛と、愛と、そして祝ひとをさゝげるものであります。

親愛なる姉妹よ。婦人として自覺せよ然して、婦人として自覺する前にまづ日本婦人として自覺せよ（完）

——羽子つき——

天のはらよさし恵みことかしこみて
みのりあげますけふのたうとさ

嘉悦孝子女史筆

新年文藝

短歌

題「春」　尾上柴舟先生選

一等　京城府大門丁字屋　西村直英
春されば沼の水際の溜り泥うち均らされてやはらかに見ゆ

二等　京城府古市町五七　家迫すみ子
國境まだ雪白き早春の山なみさむく北に走らふ

三等　京城府初音町二〇〇ノ三　海谷秀子
日並べて冷えしきるかも春日ながら幾日つゞけむこもり居ならむ

秀逸

○　水原　深田典子
企つる事皆成れと春の土を心強くも踏みつくるかな

○　京城　栗井靜雄
如月の磯夜をひそ〳〵語らひて海女は干潟に提燈を振りつゝ

○　京城　長永貞
たまさかの家居たのしみはゝそはの母と團欒く春の夜かな

○　龍岡　礒上孝吉
裏畑の畝に果てたる鶏舎に倦きてなく春淺き霽を

○　龍岡　礒上榮太郎
礎土のゆるみて匂ふ春の香に寒とりて見ぬ室の花苗

○　京城　今野千代丸
夜に入れど春雨やまずから堀の街燈の灯の一つさびしも

（つゞく）

謹賀新年

守屋榮夫　東京府下瀧野川町西ヶ原七四　電話小石川一、〇五一番

弓削幸太郎　東京府下阿佐ヶ谷

井上孝哉　東京市外雜ヶ谷七四九　電話四谷〇、三六二番

賀田直治　東京市日本橋區本石町一丁目一番地　電話日本橋〇、六八七番

齋藤實　東京市四谷區仲町三丁目　電話四谷三、一〇〇番

大橋新太郎　東京市麴町區上六番町四三　電話九段〇四二一・〇四二二番

中野金次郎

藤山雷太

別府丑太郎　東京市牛込區市谷砂土原町三ノ八　電話牛込〇、〇九七番

光永星郎　日本電報通信社

小松淺五郎　東京市下谷區北稻荷町　東京乘合自動車株式會社　電話下谷五、八八〇番

京城府漢江通一五　盛文堂龍山支店　電話龍山四一四番

慶尚南道　金融組合聯合會　同金融組合

醇良清酒「釜山酒」　釀造元　釜山酒造組合

朝鮮自動車株式會社　大邱出張所

大邱專賣支局　職員一同

慶尚北道　食堂會員一同

蛇……山村耕花畫伯筆

蛇の話
傳說、實話、學說
古今東西蛇いろ〳〵

理學博士　石川千代松

蛇の話を長く書いてくれと頼まれたが、蛇は中々長いものであるから長くといふしやれであらうが蛇たからとて必ず長いとはきまつて居ない。大蛇になると無論長い大きいものもあるが、であつてもそれが五丈も十丈もあるといふ樣なものは中々ない。これは日本でも外國でも同じ事で、大木が倒れて居ると思つて腰をかけた處それが動き出したといふ樣なはなしはいづれの國にもある事で、全體われ〳〵は蛇の樣なものを見ると恐怖それを大きい樣に思ふので、見た話と本統に計つた時とはその長さは大層違ふものである。

動物學上の蛇

さて蛇は動物學の方からは何であるかと聞ふと、それは爬虫類といふもので、これにはトカゲがあるし、カメの類があるし又鰐の類がある。處がトカゲとカメと鰐には一般に手足があるが蛇にはまあそれがない。私がここに一般にとか又はまあとかいふのは、トカゲにも手足のないものがあるし又蛇にも足のあるものがある。であるから足のないといふのが蛇の特徴ではない。しかし蛇には普通足もないし、又手は必ずない。

それからこの爬虫類といふのは如何なるものであるかと聞ふと、それは又われ〳〵も入つて居る脊椎動物といふものゝ一つである。脊椎は魚をたべる時に背の中軸に並んで居る骨を見られるであらうが、アレが脊椎骨といふもので、その前端に頭がある。又脊椎骨の下には大きな空所があつて、それに内臓の諸器官といふものが入つて居る。これ等の内には消化器官もあれば、心臓と腎臓も肺臓もある。脊椎骨の背面には脳と脊髄とがあつて、これが全身の作事を指揮して居るのである。

脊椎動物の内でごく劣等なものはヤツメウナギといふもの類でこれにはまだ本統のアゴがないし又手足しない。この類のもので手足のないのはこれは蛇とは違つてそれがまだ出来ないのである。蛇では私がこゝに改めていふ必要もないが、それが退化してうせたのである。ヤツメウナギ類の上に魚類があつて、それから上が兩生類といふもので、それが兩生類となる。この兩生類はサンセウウオ、イモリ、蛙の仲間で、これ等では幼い時は水を呼吸し、大きくなると肺臓が出来て大氣を直接に呼吸する。

爬虫類の上に鳥類と獸類とが居る。この二つのものは一寸見ると大層違ふ樣だが、その胚胎によく似たもので、今日でも家鶏の胚兒とトカゲの胚兒とは、それを見て専門家でも間違へるくらゐである。それ計りでなく、古い古い地層から出る化石には爬虫類であるか鳥類であるか一寸分らない樣なものもある。

それから脊椎動物の一番發達したものは獸類で、その内でもわれ〳〵人間が最も高等なものである。

毒蛇の種類

しかしかやうなことを余り長く話すと、へびのはなしが少くなるから脊椎動物一般の話はこのくらゐにして置き、これからへびの話に移らう。

へびはいまもいふ樣に爬虫類であるが、足の骨がなく、胸骨もない。それにはまだいろ〳〵の點はあるが、それ等は動物學上の事で一般には余り興味のない事である。

タダその食物を取るときに、これを絞殺するものと、かみこなすものと、鵜呑み込むものとがあるのと、毒牙を持つて居るものとをいふて置から。

前者の一つのものは縞へビで、本邦ではマムシ、ハブ、タイワンコブラ等は有名なものである。毒蛇の内で毒腺が顎になつたものと、管になつたものとがあるが、總て頭に毒腺があつて、噛んだ瞬口から毒が流れ入るのである。この類のものは顎が大層張れて居てアゴが細いので直に他の無毒ものと區別される事が出来る。餌とさるものを嚙み砕いて食ふものは主として熱帯地方の産で、餘りの餌を呑み込むものは一般に無毒の蛇である。

さて蛇は一方には恐ろしい、嫌はれて居るもので、その内でも毒蛇と大蛇とが昔時からよく知られて居る。毒蛇には誰も知るマムシが本州に居るがその害はそれ程でもない。琉球ハブだの臺灣のコブラなどは中々こわいもので、これに噛まれると命を落すことは中々多い。その他毒蛇は澤山あるが、印度地方のコブラ又は眼鏡へびだの北米のガサガサへびなどは誰も少くとも噺には聞いて居るだらう。

ガサガサへびは主として北米産のもので南米に居るものもあつてその種類も多い。その内一番よく知れて居るものはホルリダス（恐ろしい）といふ種類のもので、齢中でも多分最も强い毒を有するものであらうとの事だ。このへびも毒蛇であるから頭の形は普通の毒蛇と同じ樣で別に特異な事もないが、その尾端に角質の環の樣なものが着いて居て、それが通常この種類では八九個くらゐで、前後のものが相互ひに嵌りこんでゐてへびが尾端を動かすと、ガサガサといふやうな聲音がでるのである。しかしこの環が如何にして出来るものであるかは、まだ本統の所はわかつて居ないやうであると。

ガサ〳〵蛇は主として砂地又は石のある處に住ひ、少し離草の生へる處にも居るが、殊に水邊を好むと。

その音は丁度蟋蟀か何かを描き廻す時の樣で、ミゾリー洲にはそれと同じ樣な鳴き聲をするバッタがあるといふ。然し何の爲にそれが又聲を出すかと聞ふと、それは自分を保護するためである。總て蛇類は他のものを殺しても自分が傷つけられることは生存上の得策でないから、自分はこわいものだから他の動物はこの音をきいたなら皆逃げるといふのである。であるからガサガサへびの聲は動物學の方でいふ一つの警戒音といふものである。マムシだのコブラなどに特別なん紋があつたり、蝶が昆虫の内でも外のものと容易に區別されるのと同樣なことと同じである。

その音はいまもいふ樣にバッタがだす音に似てゐるがこれを發する時に尾端を動かすのが、非常にはやいのでその運動はなか〳〵見えないといふ。

でこれが今もいふ樣に警戒の聲であるから、蛇は自分の附近に危險がある時は、それを鳴らして居るもので、例へば人でもそれを見て居る時ははげしくそれを鳴らし、少しでも蛇から遠ざかると、その音は少くなる。

ガサガサ蛇が食ひつく力は實に恐るべきもので、厚い革の靴でも齒が通るといひ、ガイヤー氏はその咬む力につき下の樣にいうて居る「彼が咬む力は堪へられない程强く自分は蛇が飛びつく事が出来ないのを知つて居たから、靜かにその咬む力を回避しやうと思ひ、その咬んで居る杖を回轉しても彼はその杖を放す事はせない。それで彼の全身を空中に揚げてもまだそれを放さうとせない。でそれを放す事があつてもそれはタダ咬み替る處で、放すかと思ふとすぐに又咬みつくのである。二メートルもあつて十二の尾環を有する大きなガサガサへびも三サンチのふとい堅い木の杖を三十回も咬み、杖の皮から心まで咬み切つて仕舞つた。……」

コブラ使ひ

それからコブラだがこのへびは誰も印度洋を經て歐洲へいつたものはセイロン島で土人が籠の内に入れて見せ物にするのを見られたらう。それを見せる時に夫人は、まづ靜かに蓋を取りのけるのである。この時コブラは籠の中にトグロをまいて居るが、興業師は籠から少し離れてシヤガミ笛や太鼓で單調の音樂を初めるのである。この時蛇は頭を持ち上げ、舌を出して胸部を擴げ、段々活潑になり、興業師に向つて咬みつかんとする樣子をするが、興業師は決して眼を蛇から放さないで靜かに音樂を續けて居る。その内蛇は催眠された樣になりその運動は次第に靜かになる。この機を見て興業師は蛇を手で觸れ又はその頭を自分の額に當てたりするが、それは實に驚歎の業で、蛇が再び活動を初むる前に興業師は巧にこれを離すのである」

コブラは全印度から支那の南部、ビルマ、シヤム、マレー群島、セイロン、アンダマン島、アフガニスタン、ペルシヤの東北部等に産し、ヒラマヤ山では二五〇〇米の高處にも居て何れの處にも住するとの事である。また前にもいふた樣に臺灣にもその一種がある。

一層安くなつたメーター附
タクシー
今回三哩一圓に延長致し京城間大略一圓で行けます、お迎へ市内無料、正確安全なるメーター附御愛乘を乞ふ
鍾路 京城自動車
電本一〇四〇・二七四四

コブラの毒はガサガサ蛇とほゞ同じ位で、これに咬まるゝと命を取られるのが常である。であるから土人の間では非常に恐れられて居るが、それが又この蛇を土人をして神の樣に思はしめる一つの原因ともなつて居るのである。然しその害は中々多いので英國政府ではその撲滅を試み懸賞でその蛇を殺してゐるが實際市民はその樣な奴はどこにもをると見え、土人の内には蛇を人工的に繁殖させて金もうけをするものもあるとの事である

大蛇と傳說

しかしこれら毒蛇より蛇として一層面白いものは大蛇である。昔時から本邦でも素戔嗚尊が出雲の簸の川の川上で退治られたといふ大蛇は頭が八つと尾も八つあつたといはれ、ギリシヤのヒドラも九つ頭があつて、そのまん中の頭は不死であつたが、ヘルクレスの爲に退治られた。してそれが面白いことにはこの大蛇もスサノオノミコトの蛇と同じやうに川に居たものである。それから、セイント「ミケール」やセイント、ジョーヂのドラゴン、ジークフリードの大蛇等皆同じ樣な話である。」

如何にしてか樣に大蛇に關する話が多いか、これは一寸考へて見る價値のあるものではなからうか今でも熱帯地方へ行くと中々大きな蛇が居るが、昔時の人又は今でも野蠻人などではその害を受けるものは中々多い。であるから蛇は大いに注意されたものであるし又注意されて居るのである、これ等大蛇はアフリカ、アジア、アメリカ、オーストラリアの熱帯地方に産しその種類には色々違つたものがあるが、本邦に多く持つて来られるのはパイソンといふものである。これ等がわれ〳〵が大蛇といふもので、それは無論大きなものではあるが、はなしにある樣なものではない。例へば印度には牛を丸呑みにする蛇が居るといひ、メトロダスといふ人はカーサゴーの戰ひの時ローマの大將レグルスは一二〇尺の大蛇を打つたといひ、その外大蛇については色々の話はあるがこれ等は皆眉唾もので、別に嘘言をいふ積りでなくても、左樣に信じたものであらう。それは大きな蛇が草原などで遊ぶを見ると、それは大きく見えるもので、殊にそれを深いさびしい森林などで見ると、意外に大きく見へるものである。であるから恐い事が往々あると

ではパイソンの大きなものは何程の長さになるかといふと、六メートルもあるものがあつたらばそれは實に大きいものだらうといはれてゐる。であるから、百尺もの蛇が居るといふ樣な話は本統でない。

大蛇の實體

南米の大蛇で有名なものはボアとアナコンダとである。これ等はパイソンより大きくて、ボアは六から一〇米に達し、アナコンダは七又は八米位までになるといふ。七又は八米といふと一寸三丈位であるから、それが生きて居てさびしい森とか又は沖邊にでもゐると、それは實に十丈余もある樣に見へるのである。シモンといふ坊さんのはなしをラサペードが書いてゐるのに、ベネヅラの森林を十六人のスペイン人が旅行して疲れたから、大木に腰をかけてやすんで居た處、これを見ると大きなボアであつたのに驚いたと。然し斯樣な大きな蛇でも人を襲ふことは誠にまれだといはれて居る。しかし斯樣なものに本統に襲はれて力一杯で打ちつけられるか、又は巻きつけられた日にはそれは堪つたものでない。五十年程前ウォーシで興業師の若い蛇使ひの女が五尺位のパイソンに巻き締られて死んだ事があつた。この蛇はよく馴れて居たが、何かのはずみで、彼はれて居る女を興業中に絞殺したのだ十二支からいふと龍から蛇になるが、その實蛇が先で、それから恐ろしいものにせやうと思つて、これに手足をつけたり、又翼までもつけて、龍が出来たのである。これが又退化の順序で龍が蛇になつたのではそれは退化であらう。私のこの話も蛇が龍で終れば、これも一つの退化ではあるまいか。（終り）

京城岡崎町九二 龍山精米所 電話龍山二七五番
京城府元町一 常盤商會 精米部 電話龍山七四三番
京城府蓬萊町四 東亞牧場 電話本局五一二番
京城府西界洞三二 京城鐵工所 二宮常一 電話龍山弐弐参番
京城府黄金町一 カフエー アカシヤ 電話本局三五〇二番
恭賀新年
京城府本町二丁目 森啓助商店 電話本局一七五九
京城府永樂町二丁目 永樂食堂 電話本局三〇五番
京城府旭町一丁目一〇五番地 門奈鶴丸 電話本局一三二九番
京城本町貳丁目 宮野洋服店 電話本局三五〇七番
京城府本町二丁目 小林呉服店 電話本局二一五九番

京城府本町二丁目 安田疊店 電話本局六七〇番
京城府長谷川町 初田活版製造所 電話本局二四〇九番
京城府本町一丁目 室内装飾品商 株式會社 横山商店 電話本局 二一三三・六七三・七八八番
龍山質屋組合
京城府永樂町一丁目 川島保險事務所 川島琢磨 電本八八五番
井上宜壽堂
京城府櫻井町一丁目 野津集文堂 印刷所 電話本局一七二四番
京城府本町三丁目 伊豆天壽堂 電話本局一三八八番
京城府本町四丁目 下村自轉車商會 下村甘栗店 電話本局二五九一番
京城本町二丁目 清香園 電話本局三六〇番
京城驛前 鐵道指定旅館 大東館 電話本局二六〇七〇番
京城南大門横高臺 笑福旅館 電話本局二五五二・三六一二番
龍山驛前 旅館 太陽館 電話龍山一六番
京城驛前 長野忠商店 電話本局二四一九番

サクラビール
三中井呉服店
京城承認運送店組合
高級醬油 キッコーユウ 宮内省御用達 京城 嶋屋釀造所
時計 寫眞機 貴金屬 大澤商會京城支店 京城府本町一丁目 電話本局二六二番・三三九〇番・四八〇番
京城驛前 國際運輸株式會社 京城支店 電本六七一二・一七〇・一五九七・二三七八〇
京城府水産市場内 京城水産株式會社 京城府營水産市場 京城驛構内 電話本局長一四七八番・一〇八番

二見旅館 京城驛前 電話本局六八八・七二四番
南大門通三ノ八五 共同火災保險會社 京城出張所 電話本局一七七八番
京城府水標町五三 德永商店
京城府黄金町一丁目（日本生命ビル内） 花月食堂 電話本局二五七・三八六〇番
京城府太平町 山本自動車商會 電話本局二一五番
京城府本町三丁目 近藤安吉 電本一五六二番
京城府黄金町二丁目 伊藤商行京城出張所 電話本局七一七番
京城府櫻井町一丁目 合資會社 東洋堂印刷所 電話本局二六二四番
角田被服株式會社 京城鍾路一丁目一九
京城羅紗商組合
京城府本町二丁目 日章堂時計店 電話本局八七六番
京城府南大門通二丁目 冨田屋 電話本局三〇〇三・一九五〇番
京城府南大門通一丁目百六番地 京城運動具商會 藤野敏夫 電話本局一〇一四・二五二一
京城府太平通二丁目 日清生命保險株式會社 滿鮮支社 電話本局一四九六番

試筆　池邊均畫伯筆

蛇飼ひの話

朝鮮の蛇、各國の蛇

吉田雄次郎

朝鮮で蛇を研究した人は外に幾人あるかは知れぬが、私のしれる範圍では新義州の土居寛暢氏、元總督府醫院の醫學博士森谷傳太郎氏、元京城中學の平井俊雄氏位であらうと思ふ、私の蛇飼ひも随分古いもので、ある私が郷里金澤に居つた頃には

各種の蛇を

飼養して飼料と生態などを調べてをつたもので、大正二年の秋の頃石川縣の金澤醫學専門學校（今の醫科大學）内で蛇の展覽會が開かれた時、學校から私の飼養してゐる有毒蛇と無毒蛇を一見して出來る限り出品して貰ひたいとの依頼で出品した事があつた、所がその翌日であつた宿直の小使から大けたゝましき電話で、昨夜大蛇が逃走して見えませぬから直ぐ來て貰ひたいとの事で、早速駈けつけて見るとなる程大切な大蛇がをらぬ、いくら室内をさがしても見當らぬ、その内に職員の者が來て入場者がドシ〳〵押かけて來たが、大蛇が逃げたといふ評判で誰もはいるものがない、やむなくその日はつぎの室とともに閉鎖して御心配なきを得たが、翌日の新聞には大げさにその顛末を書かれて困つたが、その翌日つぎの室のトタンの圍の内にはいつてをつた蛇を發見したので、トタンを切つて漸く元の籠に入れた

飛んだ騒ぎ

をした話も今は古話の一つである。朝鮮へ來てからも相變らず各種の動物を集めたが蛇もその研究の一つであつた。最初は勿論京城であつた。京城道の谷山で蛇の買上げをやつた事が、市日となると近在から蛇を持ち込むは〳〵有毒蛇無毒蛇いつも門前は蛇の市であつた。初め有毒蛇は二三十錢から一圓無毒蛇は五六十錢から五六十錢位に、六尺以上の朝鮮ねづみとりは一圓五十錢位で買取つては飼養したり解剖したりして居たが同じ種類のものは多數を要せないので、追々値下をし遂には持ち込むは有毒蛇が二、三十錢、無毒蛇が五錢から十錢位としたが

それでも持込むのでやむなく無毒蛇は當時飼養して居た肉食獸類の餌、山猫などの飼料に供してをつたが籠の先に首を縊つてぶらさげて來る蝮には閉口した。籠には余裕はなしつないで置けば鷄や鶏と格闘する。遂に猛犬くまの好菜に咬みつき、それこそ、じやが芋のばけ物見たいな面相となつて

目も鼻も口

その存在をめちや〳〵にされ家族一同が徹夜して介抱した事もあつた。そんな動物小屋に育つた關係でもあらうか、目下元山中學校に居る長男正之介が昨年の夏の休暇に歸つて來た時私へのお土産にはバスケットから大事さうにハンケチにつゝんだ、可愛い黒目勝のパツチリした頸の朱色のあざやかに出た山かゞしであつた。『へび』といふ名稱はどうして、いつたか確なことは分らぬが『へび』は古言『へみ』の轉じたもので『へみ』とは延身を約したものとか、又『はみ』より移りし語であるともいはれて居る。『はみ』は『まむし』のことで『食み』の義であるとの説もある。又蛇についてはいろ〳〵の迷信がある。人智の開けなかつた頃には蛇をおそれる余りこれを神聖のものとして神に祀りなどした。現に印度では毒蛇コブラを崇拜してその怒りに觸れることを畏れて居る。ギリシヤ時代の人は蛇を以て

醫藥の神の

使であると信じ、今日でもこれを醫學や藥學の表徴として用ゐられて居るのである。古昔のエジプト人はへびを王國の表徴とし、ヨーロツパでは無智な牧畜業者はへびが小屋の門に這入つて來るのを、幸福の前兆として今も喜んで居るといふことである。内地の農村地方へ行くとへびが庭へ這入ると非常にこれを大切にするこれは迷信や自然物崇拜から來たのではなく、鼠を食する點をとるからである。水原模範場でもへび保護で以前に有名な事件があつた、當時は水原附近の田畑は勿論のこと、宿舍の附近にも盛に

へび族がぞろ〳〵跳梁をなして居たものであつたが、時の場長本田幸介博士は又大の蛇嫌ひで或時場員の總動員を行ひ大々的の蛇退治をやつたものだ。時は恰も盛夏期であつたが

翌日から鼠

が鼠に立つ程被害の甚しく加へて作物の食害されるかてゝ加へて附近に新設された東拓や三菱の倉庫にも鼠族の徹底的蛇征伐の影響を受けて鼠族が跋扈し、遂に猫飼育の必要が起くなつた。不所存ではあつたが猫族もぼつ〳〵輸入されて鼠族討伐を開始する様になつたが、ここに初めて不思議なる進化の妙を發見するに至つた。成る程猫は鼠にとつては強敵であつたに相違ないが、それは猫が自由に活躍るごとの出來る範圍は限られて居た、狹い食堂や倉庫の間では鼠より大きい猫は、鼠がいくら手招きしてもこの方の手が出せぬ、から威つては最早猫の領分ではない。はては斷食斷縄りで初めて有した蛇族がここに至つて初めて有益動物である事が悟られ、本田博士も眼でくならなかつた蛇族を排斥することはならぬぞと場員一同に諭したといふ事であつた蛇の眼はいつも

人を睨んで

居る様に見えるが、これは人間や鳥の眼などにある瞼といふ瞼がないからである。蛇の中には眼が圓く開いて居るものと、細く開いて居るものとがあるが、前者は日中に出る種類に多く、後者は夜陰に活動するものに多い。その眼が細くて陰險なのは多く毒蛇で、無邪氣さうに可愛いまるい眼を有て居るのは多くは無毒の蛇である。蛇は耳を持つて居るがその耳は眼の直後部からは見えない、然して外聽道、鼓膜、鼓室がない、即ち外耳と中耳とが缺如して居る、内耳はたゞ一個の糸状骨と不完全なる補助器から成立して居るのであるから、蛇の耳は退化しつゝある事が判る。これと反對に蛇の舌にはこまかな神經が分布しておつて觸覺を鋭敏にし、かすかな音響の振動でも容易に感知することが出來て耳の代用をなすから耳は左程に必要がないのである。蛇の舌はたゞに

音響を聞く

のみでなく嗅覺をもつかさどつてゐる。然して顎に鋭孔があるから蛇はわざ〳〵口を開かないでも、舌を迅速に出入して物を識別する事が出來る。尖端は二つに分れて細長く糸の様であるから、他の動物の舌の様に物をなめたり又はえん下するには適せないのである。又その舌の出入および振動は蛇の活動が旺盛となればなるに從つてさかんになるのである。蛇がどくろをまくのは敵に對する防禦準備でどくろをまかなければ攻撃をとる事は出來ぬ、だから普通の毒蛇はまづ退いてどくろを卷き、頭を持上げ、尾の端で地面を支へて頭を後に動かして勢ひをつけ、やをら頭を伸して敵に咬みつくのであるが、かの獰猛なるハブの如きは尻尾の一端を木に卷きつけ三、四尺の距離にある相手に向つて上半身を矢の如くに投げて飛びつくと共に咬みつく。台ハブの如きは木の上から飛んで來て

所きらはず

咬みつき毒液を注射し敵が自由のきかぬ様になつてから呑み込むのである、無毒蛇に至つてはその長い體で餌となるべき動物を卷いて筋肉作用でこれを締めつけ、窒息せしめて後ゆる〳〵と呑み込むのが普通である。蛇が自分の體よりズット大きな動物を呑み込むのは、頭の小さい割合ひに口が非常に大きく裂け、又顎は肋骨の外、頭の方には膨らむに妨げとなる骨もなく、かつ皮膚や消化管が非常に伸長するので、口の裂ける程の大きな食物でも、消化管へ送り込むことが出來るのみならず、内部の臓器も他の動物と異つて肺の如きは、元來二つあるべきものが、左の肺は退化して、たゞ右の肺のみが非常に大きく長く伸びて、體腔の後方まで達して居る。この奇妙な肺の前半部は血管の網絡を有し、呼吸作用を營むけれども、後半部は

簡單な袋で

體に空氣を貯へて置くに過ぎないのである。蛇が大食して食道がふくらみ氣管が壓迫されて空氣の供給が杜絶された時には、この肺の後部に蓄へて置いた空氣を呼吸して生を保つのである。つまり蛇の習性に適應して、器官が變化したのである。蛇の斷食する休食期間は種類と季節と周圍の狀態によつて異つて居るが、短くて數日間長きは數月間にわたるものがある。殊に脱皮期と冬眠期には全く食をとらぬのが普通である。爬蟲紀に生存した蛇には足があつてその形は蜥蜴に似たものであつたといはれて居る、しかしてその體が漸々長くなるに從ひ足は體の重さを支へることが出來なくなつて、たゞ體を前進せしむるに過ぎなかつたが、それすら不可能となつて遂には足が無用の長物となつて退化消滅し、現在では、たゞ二、三種の蛇が足部の痕跡を皮肉中に保有して居る位に過ぎないのである、俗に蛇の背に火を點ずれば足を出すとか、又は白紙を燃るときに

足が見ゆる

といふ諺は多く誤聞で、それは排泄孔即ち肛門の後部に二個の鱗の様に見ゆる突起を足と誤認したものである。然らば蛇は如何にして前進するかといふに、胃にその體を左右に波狀形に屈曲せしめつゝ前方へ進むるのみならず、蛇の左右肋骨の下端は癒着して百足の足の如き作用をなし、その運動が腹部のうろこに傳はるから、恐ふ樣に能く前進する事が出來るのである。動物學上現在世界に知られてある蛇の種類は千六百余種である、その中には有毒の蛇も少くはない、殊に熱帶地方にはその種類が多く、印度だけでも年々二萬余の人が毒蛇のために生命を失ふといふことであるから馬鹿には出來ぬ、昔日本には岩見重太郎が大蛇を退治したとかいふ話もあるが、實は内地にも朝鮮にも

青大將より

大きい蛇は恐らくいないのである。殊にこの青大將も今日まで捕獲されたもので最も大きいのが一丈位に過ぎないのであるから、なさけない心地もする。私の所では近藤道の三菱林業部の山に大蛇が現れ、小兒の様なものを呑んで居るとの騒ぎであつたが、捕獲して解剖したら野兎であつた。種類は朝鮮ねずみとりで長さが八尺六寸であつた。大正九年總督府林業試驗場がまだ京城竹添町の裏のイ・・・・・・ンにあつた頃、大蛇が現れて職員女は二人も氣絶したといふ騒ぎで早速出動して捕獲し龍山町の官舎で測定したが矢張り朝鮮ねづみとりで長さが七尺二寸であつた蛇皮は今なほ保存して居る。世界で一番大きい蛇は南洋に居る錦蛇である、蛇のついでに恩賜京城博物館内に起つた錦蛇と鰐へびとの大格闘を紀してみよう。どうした手ぬかりだつたか博物館に飼つて置いた三間余りの錦蛇が夜中おりを拔だして隣の鰐々の檻にはひ込んだらしかして

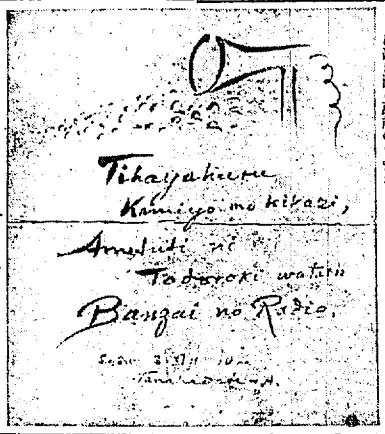
大格闘を演

じたものと見える、翌朝館員が鰐々の檻の前にいつて見たら件の鰐々は影も形もなくなつて其中に錦蛇が悠然とどくろをまいてをつた、しかし腹の中央ははりと蛇腹の三四倍大にふくれ上がつてゐる。あたりをみると鰐々の毛や蛇のうろこが散亂してみる、さすがのへびも余程苦戰したと見えて三間に余る圖體が所きらはずかきむしられてをつた。館員連も大方死んで仕舞ふだらうと噂してをつたら一週間目にやつと動きだして脱皮した。それが何百匁とかあつたといふことであるが檢査して見ると鰐々の毛一本、骨一片さへも發見されなかつたといふ事である。私の經驗によれば如何に錦蛇の消化力が旺盛でも、骨位は出たのではあるまいかと今でも疑問に思つて居る。最近の記録によると錦蛇の大さは二十尺以上で

二十四五尺

稀には三十尺のものもあるといふ事である。又世界で最少の蛇は熱帶アメリカに産するみゝず蛇といつて寧に鉛筆位のものがある。一般蛇の居所生活は種類によつて異り、或る者は樹の上に穴の中に潜むかと思へば、又水陸兩棲の中に居るものもある、又水中に住むものもあるし、更に乾燥した砂地に潜つて居るのもあれば沼地を好むものもあつて一定してゐない。食物は蛇の大小種類風土によつて違ふけれども主として鼠や雀などの小さな鳥類か蛙、蜥蜴などの爬蟲類又は鳥や蜥蜴などの卵および昆虫や魚類であるから有毒蛇でない限りの蛇は有益動物であるから保護こそすれ、みだりにこれを殺すなど以ての外である。私は蛇の發作的に嫌ふする兩親とあの平い舌をチロ〳〵とした舌としかしてあのぬら〳〵した姿態に戰慄して已の斯の義務を殺害するのであろ

今年また思ふ柳の枝のぞみ飛びついては落も落ちても飛ぶにん　澤田正二郎丈筆



ちはやふる神代もきかじ天地に轟き渡る萬歳のラヂオ　田中舘愛橘氏筆

謹賀新年

京城南山町三丁目　京城ホテル　電話本局四一九三・二〇番（旅館部・別館・食堂部）

京城府黄金町一丁目　電機商會　森安一　電話本局二三四八番

京城府朝鮮銀行前　京城ビルヂング内　ゼネラル美粧院

大日本製帽株式會社・澁谷帽子株式會社・日本夏帽子株式會社・婦人帽製造發賣元　特約店　京城府本町二丁目　巴帽子店　電話本局七四二番　振替京城一二三二番

京城府明治町（公設市場前）　カフェーモダン　電話本局二二〇五番

京城府明治町二丁目　紙類・文具商　野口和三郎　電話本局一五八七番

京城府本町四丁目　田村百貨店　電話本局四六・二〇九七番

京城府黄金町十三　時計商　天眞堂　電話光化門五六三番

株式會社　京劇

龍山醫師會

京城府古市町四十三番地　京城繩叺株式會社　電話本局四一六四番

京城府長谷川町　中華料理　金谷園　電話本局一五二五番

京城府旭町一丁目　甘栗商　玄武堂　電話本局一八五二番

山十製絲株式會社　京城出張所

龍山承認運送店組合

京城府黄金町三丁目　綠屋旅館　電話本局二七四八番

京城湯屋組合

京城府岡崎町九二　洋服商　京城綿花合名會社　電話龍山八七〇番

京城府太平通り移動前　宮崎式ペーチカ販賣所　各種天幕　旭テント商行　電話本局一八八九番

當舘儀て三府新築の處落成仕り候間御入京の節は是非御來宿の程願上候　京城府南大門通三丁目（大阪朝日新聞販賣店隣入）　土地高燥眺望絶佳　常盤旅館　電本四〇七〇番

京城府南大門通三丁目　共同火災保險株式會社　京城出張所　電話本局長一七七八番

藤澤商店京城支店　京城府西小門町　電話光化門　一五〇番・四九一・七八三番

京城旅館組合

京取市場　所屬仲買人（登錄番號順）
大林淺市　白井友之助　洪殷柱　正崎長之助　金應龍　古川陸治　田中友吉　京城證券株式會社　成清竹松　松山主計　新田耕市　田中道太郎　立山榮吉　金潤秀　白樂三　市川幸次郎

京城府内官公立中等學校以上　校長會

京城金物商組合

名實共に朝鮮を代表する名産

絶好の贈答品・・・總督府蔘精

絶好のお贈答品はこれ―　體裁優美―　代表的名産―

蔘精（官製の人蔘エキス）
蔘精一函入（優美化粧箱入）　一圓五〇
蔘精二函入（優美化粧箱入）　三圓
蔘精三函入（優美化粧箱入）　四圓五〇

以上幾函入でも御用命次第立派な化粧箱に入れて差上げます

山は金剛　名産は蔘精

朝鮮よりの贈物これに勝るものなし

御電話下さいませ　一函でも即刻御届け致します

元賣捌所　貴生堂　京城本町二丁目　電話本局一三八番

天帝一揆 (46)

佐藤惣之助作　多田毅三畫

尼崎へ（四）

小左衛門のこの話は、かなり要點もありさうなので、實際は老母とその娘と三人で自家蔵役を滿じた者でもあつた。それに彼は滿一成功しない時は老母や娘を暴略にあづけて、たゞおのれと四郎だけが死をもつて一切の結末をつけたい——との望みであつた彼は一切を棄てゝ、渡る船に便り、滿へ…の死罪をうける…やうに仕立て、老母と娘と小者二人を運んで行くだけにした。

この事は智慧も力量も人に勝れてゐる上總三左衛門にのみ打明けた。

「もうかうなつては何か一つ功を立てなくては身が立たぬ。」といつたところでこの身にはそれだけの器量もないので、まづ單身天草へ渡つて一揆を鎮めたいと思ひます。しかし千に一つも無事に歸れる…

…よく激昂してをります。何やかあとの事を」

…は健氣に挨拶した。

その内に、聞きつけて、一揆の人々がバラ／＼と漁港へ駆けてくるので、小左衛門は老母と娘と先へ、自身も船に飛び乗つて、船の上から陸地へ向つて又一揆の事のこと、四郎の事について、種々と頼んだり話したりして、商船を漕がし始めた。

人々は船の後に啞然としてゐた彼等はもう止める術を知らなかつた。そして只三左衛門から聞かされて、萬事成功することのみ考へたものか、其無事に歸るやうにとそれのみ祈つてゐた。

やゝ漕ぎ出た時に、折から港口から溫泉嶽へ入日は落ちかゝつた「母親、もう日納めで御座ります。あの夕日のかゝつたところが村で御座いませうか」

か、あるひは敵の手に落るかして、も、決して力を落して下さらぬやう、職務その他の諸將の評判を受けて、四郎を取立てゝ下さるやうお願ひします」

彼はそれだけしかいはなかつた

「然しそれは一應事打で上總江村にゐる森家殿に相談してからでないと、いかんともお返事が……」

「いや／＼さうしてはゐられないのです。隨分後の事を賴みます」父たくの出來た老母と娘を襲へて小左衛門はすぐ漁港へ來た。小者は心得て、もうそこに船を廻して來てゐた

「ただくれ／＼も四郎がことをお願ひします。たとへ滿成らずして無錄に死すとも、小左衛門生きてここにある如くおもへとおつしやつて下さい。そしてたゞ最後の時が來たら、未練なく人々と共に首をならべよ——と、もうこのほかに申すこともないので、どうか萬事は拙者の自害にお任せ下さるやう……」

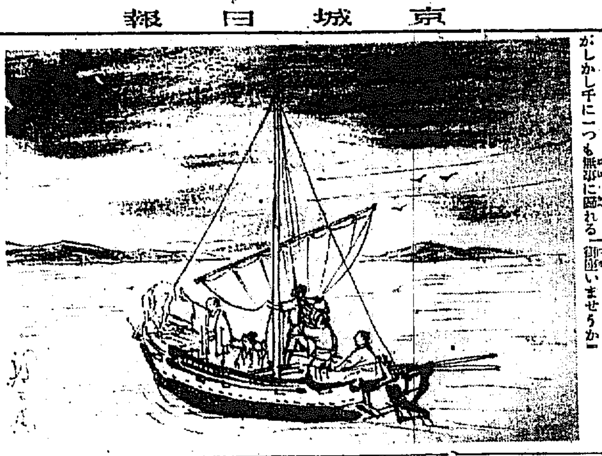
「では、たつておとめ申しませんが、御母、お老母様はさぞ……」「いゝえ、お心配下さいますな、

…妻は船間から滿に陸地を暗みた…

「もうわしは何も見たうない、四郎が大將となつた姿さへ見られぬものを……」

老母はかすかに答へた

「お話し下さい。いづれは彼の世で四郎が本懐を遂げさせ申すまで」小左衛門は突つ伏して淚を絞つた



新年文藝

情歌　題「羽子板」　編輯局選

一等　赤川　木内爲樓
突けば羽子板春風吹いて聲ものどかな唄の主

二等　龍山　稲葉一蝶
たらば最一度島田に結ふて羽子がつきたい今朝の春

三等　京城　石原清吉
思ふ殿御にや眼に物言はせそれと打込む戀の羽子

○京城　水野登実
高田髷にはせねども逢羽子板が上にのびない恥しさ

○京城　よしの
羽子板の太く許嫁はうれしいけれど重くて突けない憎らしさ

○京城　寄野草人
思ひ届けと打つ羽子板の音に島田の根がゆるむ

○裡里　歌庵笑樂
晴れの小袖に摘んだ羽子の板に謎ある戀の羽根

○京城　富田修治
夕日ちら／＼片頬染めて唄に流るゝ羽子の音

○京城　有賀有果
もろた羽子板出先がもごてきずい娘がつき返す

○木浦　さかえ
抱いた似顔の羽子板つゝむ御國模様の振袖に

○淸州　大木夢蝶
似顔撰んで羽子板買ふて抱へて來た門の口

○金堤　國宗鳴芳
めでためでたの羽子板押繪花の五節の姫が舞ふ

○京城　琵水
他所の見る目も誰憚からず主と羽子板向ひ突き

○仁川　山陽軒主人
刺げた羽子板二八の頃の音も淋しい今朝の春

○京城　即興詩人
明日を補ふ羽子板張りも宿地を世間へ立つ技

○大木幽夢
袖で隠した羽子板見れば水もしたゝる殿御振り

○
主が好みの羽子板押繪舞ふて出そ

○溫州　工藤紹代
うな京美人思ふ心かけ揚羽子高く富士と筑波を振分ける

○寄川　栄山　蝶風
いとし可愛と抱く羽子板の放しともない戀心

○寺田みつ春
子供泣き／＼いつしか疑問に羽子板孫兒の夢に入る

○元山　井上柳下
羅被笑ふな又羽子板の裏についた上紅のあと

○府内　寄野　櫻花
身は勝氣な斷髪娘憎らしいほどね上手

○京城　岸　深雨
借つた目した打つ羽子板の音も優しい紅小袖

○南浦　淺月
突いて見やんせ抱く羽子板を二九を迎への赤手絡

○龍山　石田春花
明日を待つ子は羽子板抱いて寢たまま春になる

○龍山　東村
羽子板遊びにそよ風なふて晴た富士羽子音

○龍山　草石
今日は明るき昭和の春よ嬉し羽子板羽子の音

○裡里　河原君江
戀の架け橋羽子板突いて渡る手元に操る汗

○木浦　馮江梵字
つくばねに切ない思ひの數々籠めてカーぱいつきかへす一二三四羽子に數へて樣の來る日を待つわたし

JODK（京城放送局）　松の内三日のプログラム

一月一日（火曜日）

午前七、〇〇　田家の朝（鶏鳴）
瑞祥漲る昭和四年元旦を迎へました。皆さんお目出度うございます。DKの昭和四年の一際は動山に因んで瑞鶏を飼いて勇ましく鶏を告げる鶏鳴によつて放たれます

お話　『御大禮後の新年を迎へて幸ある小國民へ』　櫻井小學校長　朝野菊太郎
鶏鳴に引き續いて櫻井小學校の朝野校長先生が、皆さんがお雑煮を祝はれる前に御大禮後の一の新春に際して小國民へ幸ある新年を迎へての喜びと覺悟をお話し下さいます

九、〇〇　鶯の初音　鶯音　市岡角次
市岡氏愛育の鶯が初音をお聞かせ致します、既に昨職ですラヂオ内に飼つて馴らしてあるのですから頁を小に鳴く事でせう

同九、三〇　年頭の所感　京畿府尹　馬野精一
大京城四十萬府民を代表して馬野府尹が年頭の所感を述べられます

齊唱　一、君が代　二、年の始め　第一高等女學校生徒有志
伴奏　大場勇之助
以上で番組の放送を終りまして六時から夜間放送に移ります

同六、〇〇　童話『お正月の餅』方　小波
囲碁短歌と大拳合奏　一、短歌二、寄港曲三、朴打合四、散調五、雜歌　明　曹　學　朴　錦　珠　孫　大　芳

同七、〇〇　ニュース
同七、一五　年頭の御挨拶　京城放送局理事長　橋川克彦
DKも明けて三歳の春を迎

一月二日（水曜日）

午後六、〇〇　童話「蛇と代官」　佐田至弘
今年の干支に因んだお話です

同六、四五　清元「三千三番叟」
淨瑠璃　小紅家　寿　恵
三味線　大和家　君　勇
　　　　吉田家　お多福

朝鮮民謠　協會理事
時報、天氣豫報、翌日プログラム發表

筝曲「寒月」　竹林軒　佐藤令山
尺八　小原令馨
二、二曲合奏「春の訪れ」　佐藤令山　筝　鈴木民子

一、霧山流尺八獨奏

伴奏のストデニー氏は定評の方が沢山して殺く事が困難でした名手で仲々御忙がしいので放送上野久子夫人は昔日を惜しない勞が容易に聽まれぬ當地で新春の伴奏を飾つて頂く事になつた、

ヴアイオリン獨奏　上野久子
伴奏　J.B.ストデニー
一トーメ作アンダンレギオン二ロデー作エアヴアリエ

長唄　勝富　（曲「田家の曉」）　（小唄）杵屋佐多枝
三絃　杵屋佐代枝
上調子　柿川富士

へました。翻案は當は淺く多端な生音ちですが全員協心努力以て御期待に副ふ事を期してゐます。此の幼兒の前途に多幸あらん事を御愛撫を願ひます。

歌詞は——春霞棚曳にけり遠山の色は紫紺紅さしてこのもかのもに鶯の聲、君が御代をば千代をとぞ鳴く、今年の和も和に廻に廻がさけよさけ、黄金の花さけよ、投もよい春よい／＼新玉よい、いやさ實によい御代に逢ふ竹の直なるみちを心とて瑞穂の國親ひかなでん

同八、一五　ニュース
同八、三〇　歌曲　勸稚
男唱　金　鐘　鉉
女唱　玄　錦　紅
玄琴　趙　彝　淳
楊琴　金　相　淳
短笛　趙　東　奭
長鼓　金　一　宇

同九、二〇　時報、氣象概況、翌日プログラム發表

一月三日（木曜日）

午後六、〇〇　映畫物語「空ゆかば」　金永煥

同六、四〇　講演「ウインタースポーツに就て」　CS作家　朴明錫

同七、一〇　ニュース
同七、二五　常盤津「花姉…」「の猿曳（うつぼ）」
淨瑠璃　太辰中與太郎
同　花茂登小染
三味線　大和家三助
上調子　芳本芳奴

鳴瀬の八幡の祈願に女大名が猿の皮にするために狩つて來た小猿を抽へ伺ふが猿曳は聞かぬ。そこれと頼むが猿曳に弓に矢をつがへて射殺さうとする。猿曳は是非なく承諾して猿と別れの呵をうたふ。子猿は死期の迫つたも知らずに舞清く猿似をして舞ふので哀を催して之に命を助けて遣ると云ふ筋で俚謡や俗謡に取入れて初春の氣分が横溢する眼かな淨瑠璃である。

筑前琵琶合奏「田家の朝」　宗家橘旭翁作曲
江藤旭麓外二名
前の旭翁さんはDKマイクロホンとも御馴染で動物「田家の朝」を放送されます。本春の琵琶の先陣です
西鮮京日紙の一人一藝投票で最高位當選

トリオ　マーチ、オーヴァチユア外四曲
ヴアイオリン　中野秀愛
フリユート　金戴鎬
ピアノ　清水幹三
時報、氣象概況、翌日プログラム發表

四季三番叟　觀世流　秀千代　芳國家　千代
同　同
四季三番叟は式三番に通はせたもので三番は滿元の宗教、此の作曲は非常に好く出來てゐるが此の曲の作者も年代も不明で四季が花を巧みに配して三番叟を三番叟にもじつたのは面白い、所千代迄變らぬ色の緑立つ春、松の花、曾我殿の名も知りて齡草そよやいずくの花の袖も千載の相が香水の月光袖の雅玲々と落ちて露ふ聲も初音ゆかしき歌が宿の竹も直なる一節にうりて四季の三葉草

講談「太閤の歌舞伎」　東京　邑井貞吉

喜多流謠曲「一調鞍之段」
謠　松本正太郎
小鼓　幸　信吉

舞子　養老
謠　松本正太郎
笛　井上直太郎
小鼓　幸　信吉
大鼓　太田黑宣三
太鼓　古城德子

雄略天皇の臣下が與流國養老の瀧が醴水だといふので勅使によつて檢分に行くと山神楊夾の鶴子に化けて醴泉の物語をする曲で、元正天皇の時代に養老の孝子があつて、其孝は天に通じて瀧水が酒となるので靈亀三年に帝が行幸して孝子を國司に任じて泉を養老の瀧と命名される御殿を取り入れてあります。

謹賀新年

仁川濱町　吉金喜三郎　電話一一〇三

仁川宮町　大倉組　有價證券株式現物問屋　岩淵德治商店　電話一一〇四

仁川山手町　中元源五郎　電話六八

仁川本町　藤山明治堂　電話三三三

仁川龍岡町　仁川物産株式會社　電話八五番

仁川宮町　御料理　榮亭　電話四九番

仁川本町　朝鮮殖産株式會社仁川出張所　電話七一二番

全北裡里　裡里小學校職員一同

全北裡里　益沃水利組合職員一同

全北益山郡春浦面　村井留吉

全北南原郡巳梅面　柳時東

仁川府濱町六　藥種貿易　松浦元二商店　電話九五九

仁川府宮町　瓢館　電話一〇

仁川府宮町　由木商會　電話九六八

仁川府宮町　伊藤商店　電話二三八

仁川府濱町一〇　岩崎政介　電話四七五

仁川府本町四丁目　星光商會　電話一二

仁川府本町　松永源次郎　電話一〇二

仁川府　増井運送店　電話八〇〇

仁川府宮町　越智商店　電話七五

仁川府町　荒川眼科院　電話一〇一二

仁川府濱町　劉君星　電話四六七番

仁川府宮町　久木田醫院　電話二〇四

仁川府寺町　館花男商店　電話九八七

仁川府本町四丁目　八木與一商店　電話五三四

仁川府本町　森伊商店　電話七七九

仁川府新町　三木園　電話七八

仁川府花町　丹羽茂三郎　電話五四七

仁川府宮町　清酒ハクツル　電話一〇九

仁川府本町四丁目　福島邦一商店　電話一〇一

仁川府濱町　今井嘉三　電話一〇九

仁川府仲町　張錫佐　電話三五

仁川新町　松本醫院　電話二五

仁川本町五丁目　平野商店　電話四五番

仁川府本町　平岡宇太郎　電話一二七番

仁川府山手町　太田忍　電話三八番

仁川府　仁川呉服商組合

仁川府本町四丁目　河野竹之助　電話三〇八

仁川府本町四丁目　仁川無盡株式會社　電話六八番

仁川府仲町三丁目　南方新一商店　電話一六六番

仁川府　山野井倉次　電話三三三番

仁川府新町　田邊病院　電話四〇九番

仁川府新町　佐藤内科醫院　電話六六三番

仁川府本町三丁目　土居喜七商店　電話六七三番

仁川府仲町　鬼頭兼次郎商店　電話六六番

仁川府本町三丁目　天辰齒科醫院　電話九八番

仁川府仲町　加來次夫　電話九四九番

仁川府花町　玉成鴻　電話四九番

仁川府濱町　旭屋旅館　電話一二五番

仁川府濱町　後藤一郎　電話三三〇番

仁川府廳　生田鐵造　亀田虎市　兵頭義雄

仁川府本町四丁目　同順公司　電話八七

仁川府本町　森信汽船株式會社　電話六三番

仁川府山手町　銀水　電話二二番

仁川府宮町　クケヤ鐵工所　電話六五八

仁川府本町　仁川府質商組合

仁川府本町二丁目　杉野榮八商店　電話二〇〇番

仁川府本町三丁目　平山松太郎　電話一五三番

仁川府本町　件康衛　電話二四

仁川府濱町　仁川自動車商會　電話六六〇番

仁川府濱町　岡本保誠

仁川府　仁川信用組合　電話七一六番

仁川府濱町三丁目　愛敬社　電話四六番

仁川　寺島利久

仁川金谷里　朝鮮燐寸株式會社

阿波國共同汽船會社　第二十六共同丸　乘組員一同　仁川、芝罘、大連、命令航路

仁川穀物協會

仁川　秋山滿夫

仁川税關　井口米治　宮川守要　内河太郎　二河可修

仁川山手町　府立仁川病院　電話一〇六番

仁川敷島遊廓組合

仁川　力武物産株式會社　社長　力武嘉次郎

仁川承認運送店組合員氏名（イロハ順）
仁川府本町三丁目　仁川　仁川支店
同　花町一丁目　原組
同　本町四丁目　中條運送店
同　仲町五丁目　中村運送店
同　濱町一丁目　大和運送店
同　濱町一四　山口運送店
同　本町六丁目　増井運送店
同　新町　慶田組
同　濱町一丁目　福島荷捌部
同　本町二丁目　國際通運仁川支店
同　本町一丁目　朝日組本店
同　支那町三　順發公司運送店

辰馬汽船株式會社代理店　朝日組本店
仁川府濱町一丁目　電話長一九〇番

仁川米豆取引所　社長　荒井初太郎

仁川船航會

仁川金物船具商組合